

## 各団体取組概要 一覧表

団体名	取組名	内容
中国地方整備局	建設産業魅力発信勉強会	関係者が連携して一層効果的な広報活動を展開するため、これからの広報の方向性や具体的な取組を検討
	建設業人材確保セミナー	厚生労働省・国土交通省・県の連携による建設企業の担い手確保促進を支援するための建設企業を対象としたセミナー
	現場百景	現場見学会の対象事業のうち、各事務所おすすめを「現場のイチオシ」として紹介。「インフラツーリズム」といった新たな取り組みも
	災害対応にかかる情報発信	テックフォース活動状況と併せ、地元建設会社による応急復旧活動状況について、ホームページにより情報発信
(一社)日本建設業連合会 中国支部	出前講座『シビルエンジニア(土木技術者)の仕事』	大学などに直接出向いて、学生に日建連が作成した「シビルエンジニア(土木技術者)の仕事」をみてもらい、その後に学生らと質疑応答を行い、学生にゼネコンの仕事と役割を正しく理解してもらう。
職業訓練法人 広島建設 アカデミー	広島建設アカデミーのご案内	型枠施工基礎などの基礎的な技能、知識を習得させ、建築躯体工事に係わる組立作業が出来る人材を養成する。
(公社)土木学会	「豊かな暮らしをこれからも」ー土木学会創立100周年記念事業in 広島	土木学会創立100周年を記念して全国で開催される、『市民交流』部門のイベントの一環として実施。
	夏休み土木実験教室	『土木』について簡単な実験から身近に感じてもらう小中学生を対象とした土木実験教室を夏休みに開催。
	土木学会『夏休み親子現場見学会』(広島新交通1号線新白島駅 (仮称)建設工事)	
	身近な土木を描いてみよう！ 図 画コンクール	身近な土木を理解し親しむための一環として、図画コンクールを実施。市民交流プラザにおいて入賞作品の展示、カレンダー作成。
	土木イメージアップシンポジウム	
鳥取県	土木イメージアップシンポジウム	女性技術者から土木の魅力、やりがいについての講演、報告「女性・若者の就労に向けて」と題して、女性技術者及びマスコミをパネリストとしパネルディスカッションなど
鳥取県建設業青年部交流 会	魅力ある建設業写真展	建設業で働く人々の「いきいきとした姿」「真剣な姿」「活躍する女性の姿」などの魅力ある写真を募集展示
島根県	建設産業魅力発信等研究会の 設置	建設業の魅力発信と若年労働者の入職・定着に向けた取組を業界と行政が対等な立場で検討。
	建設産業の魅力発信・イメージ アップに向けた広報	①Facebook開設 ②県政広報番組の放送 ③イメージアップカレンダーの発行
	「地域人づくり事業」を活用した雇 用拡大と処遇改善	県内及び県外での合同就職説明会の開催、若年技術者等資格取得支援講習会の開催、建設産業新分野進出販路拡大事業など
(一社)島根県建設業協会	高校生の現場見学会	平成3年度より県内産業高校生の現場見学会を開催。終了後には今後の進路に関するアンケート調査を行っている。

## 各団体取組概要 一覧表

団体名	取組名	内容
岡山県	Facebook、HPによる情報発信	情報の速報性というFacebookの利点を活かした土木建築に関する旬な話題を提供。県内の歴史的な土木資産をHPにより紹介。
	「おかやまの土木・建築」魅力発信協議会	国・県・政令市などが終結し、「魅力づくり・魅力発信」の情報交換を行い、連携して他方面に魅力発信できる体制を構築。
	岡山県建設技能者入職促進・人材育成事業	建設業への入職促進と人材育成を支援する。(地域づくり事業)
	合同就職説明会での建設業のPR、就職相談	
(一社)岡山県建設業協会	岡山県建設雇用改善推進委員会の開催	労働局、県関係課、教育庁関係課、県立専門高校、協会役員等で、建設関係従業者の雇用改善、若年者入職支援等について意見交換
	県立工業高校等生徒の現場見学会の実施	現場見学を通じ建設業の魅力の理解を深め入職を促進する
	就職面接会への建設業コーナーの設置	面接会会場の建設業コーナーを設け、パネル等建設業のPR等を実施
	「岡山県建設技能者・人材育成事業」の実施	県からの委託を受け、協会会員企業への体験入社を通じ建設業の人材確保を推進する。
広島県	建設業人材確保セミナー	厚生労働省・国土交通省・県の連携による建設企業の担い手確保促進を支援するための建設企業を対象としたセミナー
	労働環境改善セミナー	建設産業経営戦略アドバイザーによる講演を予定
広島市	ホームページによる広報の充実	、市の主要な事業で、市民等の関心が高い事業について、事業概要や効果、取組状況などの広報を実施
(一社)広島県建設工業協会	新入社員及び若手技術者育成事業	・新入社員研修会 ・若手技術者のための現場対応力講習会
	土木・建築施工管理技士準備講習会	各施工管理技術検定試験合格のための準備講習会を実施し、資格取得を支援。
	高校生現場実習	会員企業の工事現場での実習体験(3日間)
	平成26年8月豪雨災害(広島豪雨災害)に対する災害対応状況	広報活動として①安全ベストの着用、②広報班の現地派遣、③災害復旧ステッカーの作成
広島建設青年交流会	広島工業大学学生との現場見学会及び意見交換会	第一部:国土交通省から出前講座 第二部:現場見学会を開催。配筋検査、測量を体験 第三部:建設業を目指す学生たちと意見交換会

## 各団体取組概要 一覧表

団体名	取組名	内容
山口県	「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」の設立・運営	建設産業の将来の担い手の確保・育成を推進するための協議会を設立。関係団体間での情報交換や連携を実施。
	パネル展示	建設業の役割・魅力等を伝える広報パネル展示を実施。
	プロモーションビデオの制作・活用	県内建設業で働く若者のインタビュー等により、建設業の魅力ややりがいを若者に伝えるビデオを作成してイベント上映、学校等に配布。
	リーフレットの作成・活用	建設業の担い手確保・育成に向けて国・県・団体が実施する取組・制度等を紹介するリーフレットを作成し、個別訪問等で配布。
	土木・建築工事現場見学会	土木建築を学んでいる高校生を対象に建設現場への見学会を実施
	建設企業個別訪問	建設企業を個別に訪問し、企業PRのための魅力情報・求人情報の収集及び各種支援情報を提供。
	建設業若手サポートセミナー	若手社員を対象に職場定着やモチベーションアップを目的とした講習会
	建設業人事担当者サポートセミナー	人事・採用担当者を対象に求める人材の獲得から採用後の職場定着に至るまでのノウハウを伝えることを目的とした講習会
	建設業魅力発見交流会	建設業に対する理解を深まり、就業機会の拡大につながるよう職業説明のための交流会
	建設業合同企業説明会	建設企業を集め、建設業への就職を考える若者への説明会の実施
(一社)山口県建設業協会	現場見学会の実施	山口県土木建築部と連携して、若年者、保護者、PTA等を対象にした建設現場の見学会
	インターンシップの実施	会員企業及び山口県測量設計業協会と連携して、若年者を対象にしたインターンシップ
	イメージアップ広報誌の発行	一般向けの建設業イメージアップ広報誌「Pillar(ピラー)」を作成し、現場見学会や地域イベント等で広く配布する。
	中学生ブリッジコンテストの実施	橋に興味がある中学生を一般公募。構造理解や設計図作成の講義。ブリッジコンテストとして、自作した橋のプレゼンテーションを行い、強度、重量、デザイン性の総合得点で競い合い、入選者を決める。
	地域イベントでのPR活動の実施	建設機械体験搭乗及び写真撮影会、建設機械ラジコンを使った操作やクレーンゲーム、パネル展示等。参加者に社会貢献や災害復旧活動等のチラシ及び広報誌を配布。
	建設業イメージアップポスターの作成配布	高校生を対象にした建設業イメージアップポスターを募集し、最優秀作品を大型ポスターにして、県内全ての高校や関係団体に配布。
	高校生に対する資格取得支援(建設業経理事務士)	高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。
やまぐち建設21の会	山口大学学生との意見交換会(仮称)	本会員(主に若手経営者)と学生との意見交換

◇◇ 建設産業の担い手確保・育成に係る提言、取組等 ◇◇ 国交省関係

『建設産業の再生と発展のための方策2011』

(H23. 6. 23) 建設産業戦略会議



【7の課題とその対策】: 社会保険、ダンピング対策等

『建設産業の再生と発展のための方策2012』

(H24. 7. 10) 建設産業戦略会議



【技術者や技能労働者の確保・育成を積極的に】

担い手確保・育成検討会

『建設産業の魅力を発信するためのアクションプラン』

(H25. 3. 26) 建設業の魅力を発信するための戦略的広報検討会



【建設産業界が一体となった戦略的広報(魅力発信)の推進】

『当面の建設人材不足対策』

建設業の人材不足を改善するため、国土交通省・厚生労働省が連携  
(H25. 6. 21) 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課



【「人材確保」、「人材育成」、「人材移動の円滑化」の対策】

【建設産業戦略的広報推進協議会】

(H25. 8. 28: 第1回会合)

事務局: 振興基金構造改善センター

[総合HP、共通ロゴマーク・キャッチコピー、震ヶ関見学ツアー]



【中国地方における建設産業  
の魅力発信に向けた勉強会】

(H25. 9. 20: 第1回)



中国地区  
建設産業  
魅力発信  
推進協議  
会(仮称)

高齢化、若年入職者の減少、労働環境の悪化

『建設技能労働者の人材確保  
のあり方について』

(H23. 7. 27)

建設技能労働者の人材確保  
のあり方に係る検討会

(労働環境対策・人材確保方策・人材育成方策)

## ◇◇ 中国地方における建設産業の魅力発信に向けた勉強会 ◇◇

建設業界及び関係者が連携して一層効果的な広報活動等を展開するため、これからの広報の方向性や具体的な取組を検討する場として、当面、広島地区において、「中国地方における建設産業の魅力発信に向けた勉強会」を立ち上げる。

### ●参加メンバー

- ・広島県土木局建設産業課 石丸主幹
- ・広島市都市整備局技術管理課 吉原課長
- ・(公社)土木学会中国支部 増村事務局長
- ・(一社)日本建設業連合会中国支部 橋口広報部長
- ・(一社)広島県建設工業協会 寺岡事務局長
- ・広島建設青年交流会 三島副会長
- ・建設産業専門団体中国地区連合会 谷会長
- ・広島建設アカデミー 福井理事長
- ・中国地方整備局 企画部企画課、建政部計画・建設産業課

### ◆『広報実態調査』を実施◆

- ・下記の機関、建設業団体及び団体加入企業に対し、アンケート形式で調査を実施する。
- 中国五県各県
- 土木学会中国支部
- 日建連中国支部
- 中国五県 各県の建設業協会
- 広島県建設業協会連合会
- 建専連中国地区連合会

□ 第1回勉強会 (H25. 9. 20)

- ・「広報実態調査」の結果報告

□ 第2回勉強会 (H25. 10. 7)

- ・各団体等のH25年度広報計画

□ 第3回勉強会 (H25. 10. 16)

- ・(県立・市立)広島工業高等学校の教諭を招いて  
木村教諭(県工)・漆谷教諭(市工)

□ 第4回勉強会 (H25. 10. 30)

- ・ハローワーク及び建設専門紙記者を招いて  
迫田地域雇用対策官・藤井支局長(日刊建設通信新聞社)  
水入編集企画局長(中建日報社)

□ 第5回勉強会 (H25. 12. 9)

- ・まとめに向けて

□ 第6回勉強会 (H26. 3. 14)

- ・まとめ → 『中国地区協議会』設置へ

### ◎まとめ

- ◇協議会設置
- ◇WG (ワーキンググループ)
- ◇当面の取組
  - ・統一ユニホーム
  - ・求人求職ミスマッチ解消
  - ・現場見学情報共有



# 建設産業魅力発信勉強会 意見集約

## コンセプト

### 広報活動実態調査結果

- 各企業・団体が行っている広報活動は様々であるが、現場見学・インターンシップなど、現場が中心である。
- 現場見学で近隣住民の方々と直接話ができ、事業の意義について理解が得られ、工事も円滑に進めることが出来た。
- 現場見学で学生さんに建設業の魅力が伝えられ、学生の建設業への就職意欲が増大した。
- 各人手・資金・準備期間が不足しており、企業・団体単独での広報活動が難しいと感じている。
- 恒例となっている活動もあり、入職へつながったケースもあるが、マンネリ化が懸念される。
- 広報対象者は学生・一般が中心であるが、今後は児童生徒(保護者)向けの広報を増やしたいと考えている企業団体が多い。
- 広報活動(見学会等)の事前告知の期間が短い。告知媒体として、より影響力のある新聞雑誌などのマスコミへ積極的なアプローチが必要。

- 建設産業の魅力は現場にある
- 企業団体の連携
- 工業系学校への進学促進
- 効果的な情報発信

### 勉強会での意見

- 会員企業が施工中の現場で、現場見学会が出来る現場が少なくなっている。
- 生徒に現場実習やインターンシップをさせたいが、受入企業を探るのが難しい。
- 学校(先生)ともしっかりコミュニケーションを図る。
- 若い工業系学校の先生は職人の仕事を知らない。先生向けのPRも必要。
- 先生を対象とした現場見学やインターンシップをしてもらいたい。
- 災害時の地域貢献に興味を抱く学生が多い。
- TEC-FORCEは以前から活動しているが文字ばかりの説明資料だけだったが、活動状況を撮影してポスターを作った。
- 東日本大震災直後の道路啓開をした地元建設業者の働きが世間に認知されていない。
- 自衛隊も広報部門を派遣している。自ら積極的にPRしないど誰も取り上げてくれない。
- 洪水時の排水作業や冬の除雪作業など地域への貢献は大きい
- 学生の意識をしっかりとリサーチする。
- 新卒者の募集をしたが、応募がなかった。(企業側)⇔企業からの募集がない(学校側)
- 短期的な広報(入職者確保)と、長期的な広報(業界のイメージアップ)が必要。
- カッコイイと思わせることが必要。
- ある県の建設業協会では学生向けのビデオを作っている。
- 人が集まる所に少しでもパネルをおくとか、関係ないイベントでもドンドン出て行く必要がある。
- Facebook、Twitterなどを使った学生の情報伝達力は凄いい。

- 現場情報の集約、提供
- 先生へのPR、コミュニケーション
- 災害時の地域貢献
- 求職求人とのミスマッチ
- まずは見てもらう、情報の共有化

# 建設産業の魅力は現場にある・ 企業団体の連携・現場情報の集約、提供

活動内容	目的・効果	検討課題等
現場実習や現場見学の受入可能な現場の情報を共有する。	発注者・受注者・団体が現場情報を共有することで、窓口がどこでも希望者にあった現場見学等を実施することが出来る。	連絡体制、情報集約方法の検討。
統一アンケート用紙を使用して、全ての広報活動の参加者にアンケートを実施する。	各社・各団体が実施する現場見学等の参加者に対して建設産業に対する統一アンケートを実施することにより、より多くの意見を収集することが出来る。	アンケート内容の充実、集約・フィードバック方法の検討。対象別(子ども保護者・学生・一般)に作成。

## 工業系学校への進学促進・先生へのPR、コミュニケーション

活動内容	目的・効果	課題
子ども向けの建設産業ガイドブック・子ども建設新聞を作成し、学校へ配布。	小中学生・保護者に建設産業に興味を持ってもらい、工業系学校への進学を促し、建設産業への入職につなげる。	学校(教育委員会)への要請。
学校の授業に取り入れれやすい出前講座を企画して、学校に提案する。	理科や社会の授業に組み込み易いメニユーを用意することで、子ども向けの情報発信力を強化する。	授業内容とのすりあわせが必要。教育委員会の協力が必要。
先生向けの現場見学・現場実習(小中学校・普通高校も含む)。	学生・生徒と一番接している先生に建設産業の魅力を感じてもらい、先生から学生・生徒・保護者へ建設産業の魅力を伝えてもらう。	先生に集まってもらうためには校長・教育委員会の理解、協力が必要。
子どもが参加・体験できるイベントを実施する。	子どもが建設技術を体験できるイベントを開催することで、建設産業の魅力を感じてもらおう。	イベント情報等を早めに周知。

# 災害時の地域貢献

活動内容	目的・効果	検討課題等
災害対応(被災地支援)時に統一ユニフォームを着用し、活動する。	支援を行う者が建設業者と即分かる。建設業者が地域の守り手であると認識される。	建設産業全体の意思統一が必要。ユニフォームの仕様、着用時のルール等を検討。
リアルタイムで災害対応活動状況を発信する。	防災情報配信時に活動中企業名・活動状況写真を盛り込むことで、地元建設業者が地域の守り手であると認識される。	情報の収集・配信方法の決定、配信時情報の公表可否に関する判断基準を検討。
災害協定・BCP認定制度や各企業をもっとPRする。	災害時に頼れる建設産業であることを知ってもらい。頼れる建設産業のイメージを定着させる。	

# 求職求人ミスマッチ・効果的な情報発信

活動内容	目的・効果	課題
求人方法勉強会	企業向け求人方法勉強会を開催し、求人求職のミスマッチを無くす。	ハローワークとの連携が効果的。
プレスリリース勉強会	効果的なプレスリリースについて、企業向け勉強会を行い、情報発信力を強化する。	新聞社やテレビ局などのメディアへ講演等の要請。
就活ゼミ	建設会社及び行政機関が学校を訪問し、行政・民間各々の仕事の役割や関係などを説明する出前講座(東北地整実施中)	東北地整の実情を把握。
キャッチフレーズ	統一のキャッチフレーズを決めて、業界が一体となって魅力を発信する。	「建設産業戦略的広報推進協議会」の活動も考慮。



# まずは見てもらう・情報の共有化

活動内容	目的・効果	備考
HP開設	情報の共有化を図る	
Facebook	日々の仕事内容をFacebook、Twitter等で発信する。	
どぼくカフェ	土木をテーマに魅力を語り合う。(土木学会開催行事)	
土木図画コンクール・カレンダー	小中学生から図画を募集。優秀作品でカレンダーを作成(土木学会開催行事)	
ドボジョカレンダー	建設業に従事する女性(一部男性)の写真を使った建設産業イメージアップカレンダー(島根県の建設興業タイムス作成)	
カメラの現場撮影見学会	参加者に自由に写真撮影をしてもらう。撮影写真を写真集として出版	
建設産業川柳	建設産業に関する川柳を募集する。外から見たイメージを知ることができる。	
プロモーションビデオ	工事の施工状況や、災害対応状況などのPV作成。クレドビジョンなど街頭ビジョンでの放映や、YouTube,ニコニコ動画などで配信する。	
美人時計(工事現場編)	とび男子、左官女子、作業員1人1人が広告塔として魅力を発信する。	

## 建設業魅力発信に向けた当面の取り組み(案)

1. 中国地区建設産業魅力発信推進協議会 発足
2. 災害対応活動時の統一ユニフォーム着用
3. 求人求職のミスマッチ解消のための求人方法勉強会
4. 見学可能現場情報共有体制の構築
5. 統一項目による現場見学会用アンケートの実施



## お知らせ

記者発表資料

平成26年7月9日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

# 中国地方で初！厚労省・国交省・広島県共催 建設業人材確保セミナー開催！！

## 建設企業の人材確保育成を支援します

- ◆日時：平成26年7月23日（水） 13:30～15:40
- ◆場所：広島労働局職業安定部 会議室  
(広島市中区八丁堀5-7 広島KSビル 4階)
- ◆主催：厚生労働省 広島労働局職業安定部・ハローワーク広島  
国土交通省 中国地方整備局  
広島県
- ◆目的：現在、建設産業においては、技術・技能労働者の高齢化、若年入職者の減少により、担い手の確保・人材育成を図ることが重要な課題となっています。建設企業の皆様の担い手確保促進を支援するため、中国地方では初の試みとなる厚生労働省・国土交通省・広島県の連携による建設企業のための「建設業人材確保セミナー」を開催します。
- ◆内容：○「若年者・新卒者を確保するために」(ハローワーク広島)  
○「建設業の人手不足対策について」(広島労働局)  
○「建設業の処遇改善のために」(広島県)  
○建設産業の雇用改善に向けた取り組み(中国地方整備局)  
○個別相談会
- ◆その他：別紙ちらしをご覧ください。  
取材をご希望の報道機関の方は、事前にお申し込み下さい。

### <問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)

【担当】建政部 計画・建設産業課長 佐藤 篤 (内線6121)

建政部 計画・建設産業課長補佐 立岩 晃 (内線6142)

### 【広報担当窓口】

広報広聴対策官 さかもと しげ ゆき (内線2117)

企画部 環境調整官 坂本 繁 幸 (内線3112)

田尾 和 也

# 中国地方初 厚労省・国交省・広島県共催 建設業人材確保セミナー 開催

建設産業において重要な課題となっている技術・技能労働者の高齢化、若年入職者の減少による、担い手の確保・人材育成を支援するため、中国地方では初の試みとなる厚生労働省・国土交通省・広島県の連携による建設企業のための「建設業人材確保セミナー」を開催しました。

募集開始直後、定員50名を越える応募があり、当日は、40社4団体約60名に参加いただきました。

ハローワーク広島からは、「若者は給与よりも休暇を重視している」「仕事内容も分かりやすく記載する必要がある」など求人の方、特に新卒者・若年者の採用について説明し、広島労働局・広島県からは各種助成事業等の紹介、中国地方整備局からは公共工事設計労務単価の改定をはじめとする技能労働者の処遇改善や建設産業の魅力の発信についての取組について説明しました。セミナー修了後には、参加者の個別相談にも応じました。

また、報道機関もテレビ2局、新聞4紙の取材が有り注目度の高いセミナーとなりました。

参加者に行ったアンケートでは、「大変役に立つ内容だった」「人材確保に必要な情報を得るために、各行政機関が連携したセミナーをまた行ってほしい。」との意見もあり、現在、第2回目のセミナー開催を企画しており、中国管内各県での開催も検討しております。

日時：平成26年7月23日(水)

13:30～15:40

会場：広島労働局職業安定部会議室



若年者・新卒者を確保するために（ハローワーク広島）

自社の魅力や、建設業をアピールする求人票の記載方法等、特に新卒・若年者等を採用するためのノウハウについて、ハローワーク担当者が詳しく説明。



建設労働者確保育成助成金について（広島労働局）

建設労働者確保育成助成金、キャリアアップ助成金等を活用した労働者の処遇改善、能力開発について説明。



地域人づくり事業の概要について（広島県）

若年者の職場定着支援など地域人づくり事業を活用した処遇改善に向けた支援について説明。



建設産業の雇用改善に向けた国土交通省の取組について（中国地方整備局）


公共工事設計労務単価の改定など技能労働者の処遇改善に向けた取組や、建設産業の魅力発信に向けた取組を説明。



個別相談会

人材確保に関する個別企業の相談を受け付けました。

# RCCニュース報道内容



**RCC** 建設業界の人材確保セミナー大盛況

人財不足が深刻な建設業者に、特に若者を確保するコツをつかんでもらおうと、県などがセミナーを開きました。無事開始直後に定員を超過したことで、関心の高さうかがわれました。

広島労働局と中国地方整備局それぞれに県が共同で開催した中国地方で初めての人材確保セミナーには、広島・山口・島根の建設業者などおよそ50人が参加しました。

広島労働局によりますと、東日本大震災以降公共工事が増えるなど建設需要が高まっています。

県内の建設関連の有効求人倍率は3.62倍と1年前に比べて大幅に増加していると言い、人材不足は深刻です。

中でも、とび職など「職人」の不足が顕著だといいます。

待機児童の増加で整備が進む『保育園』でも、人材不足など建設事情の悪化で当初の工期から遅れたところも出ています。

「なぜ人材不足が続いているのか、その背景には高齢化で離職する人が多く増えているのに対して、若い人たちのなり手が少ないことが原因の一つだと言われています」

（業者）「将来的に事業を継続する上で中小企業なので、若手の人材確保は急務の課題かなと思います」

（業者）「なかなか人が集まらないので、どうしても工期が遅れ気味になっています。異常な事態です。今、セミナーでは、若者を採用するためのノウハウが説明されました。

担当したハローワークの職員は、若者は「給与面」よりも「休みが確実に取れるか」を注目する傾向にあると指摘。そして、求人票はよりわかりやすく書くべきだと説明しました。

（ハローワーク広島 担当）「職種等も『作業員』とだけあるとお話ししましたが、そこについても『建設技能職』にされるか工夫をされるようにしたらどうかと…」

今回関心が高かったことから、県などはこうしたセミナーを続ける方針です。 [2014.7.23 19:25]

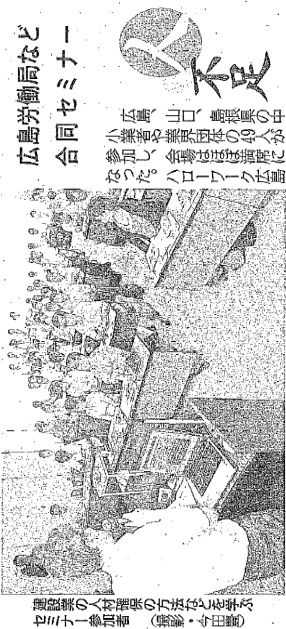
建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

# 中小建設業 訴え切実

## 「外国人実習生頼み」「若者補充進まぬ」



広島労働局など 合同セミナー

**人不足**

広島・山口・島根県の中 小業者の業法研修の49人が 参加し、会場はほぼ満席に ならんだ。

建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

建設業界の深刻な人手不足を憂い、広島労働局と中国地方整備局、広島県と広島市、広島市中区で、中小の業者を支援し、人材確保を助言するセミナーを開催しました。「外国人労働者に頼ることを避ける」「業法研修や資格取得の促進」など、セミナーで業者と現場を隔たつた関係が相次いだ。（川本 隆博）

平成 26 年 7 月 24 日	面
中国新聞	9



## お知らせ

記者発表資料 平成26年10月 3日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

# 広島に続き 岡山でも！ 厚労省・国交省・県共催 建設業人材確保セミナー開催！

## 建設企業の人材確保育成を支援します

現在、建設産業においては、技術・技能労働者の高齢化、若年入職者の減少により、担い手の確保・人材育成を図ることが重要な課題となっています。建設企業の皆様の担い手確保促進を支援するため、厚生労働省・国土交通省・県の連携による建設企業のための「建設業人材確保セミナー」を開催します。

今回のセミナーは、中国地方で初の試みとして7月に広島で開催したセミナーについて、多数の問い合わせや他の地域での開催要望をいただいたことを受け、広島・岡山地区で追加開催するものです。

◆開催日時：○広島会場（広島合同庁舎 2号館 1階 共用第18号会議室）  
平成26年10月20日（月）13:30～

○岡山会場（岡山県立図書館 多目的ホール）  
平成26年10月24日（金）13:30～

◆内 容：別紙ちらしをご覧ください。  
取材をご希望の報道機関の方は、事前にお申し込み下さい。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

【担当】建政部 計画・建設産業課長 佐藤 篤（内線6121）

建政部 計画・建設産業課長補佐 立岩 晃（内線6142）

【広報担当窓口】広報広聴対策官 坂本 繁幸（内線2117）

企画部 環境調整官 田尾 和也（内線3112）

## 中国地方整備局における魅力発信の取り組み

- 社会資本整備の理解向上などを目的として、  
これまでも現場見学会や出前講座などの取り組みを実施
- これを『現場百景』と銘打ち、工事現場等を見て頂くための各種ツールを体系的に統合  
→現場見学会の対象事業のうち、各事務所おすすめを「現場のイチオシ」として紹介  
→「インフラツーリズム」といった新たな取り組みも統合

### 現場百景

～見る・学ぶ・楽しむ～

完成後の姿だけでなく、建設中の状況や建設当時の話、普段は見られない施設内部、周辺の自然と一体となった四季折々の風景などインフラ施設のいろいろな景色(百景)※をご案内します。

※「現場百景」の景色には、見た目の風景だけではなく、インフラ本来の機能も含まれます。

#### ● 景色を見る

現場の様子をご覧いただきながら、インフラ施設の役割や重要性などをご説明します。

現場のイチオシ

#### ● 景色を学ぶ

インフラに関する大きいことから小さいことまで、中国地方整備局職員が直接お伺いして説明します。

出前講座

#### ● 景色を楽しむ

観光ツアーの一環でインフラ施設を訪れ、インフラ施設の役割や重要性などを学んでいただけます。

インフラツーリズム



### 現場のイチオシ

中国地方整備局の現場に  
ようこそ！！

～旬な建設現場をご案内いたします～

開通前などの今しか見ることが出来ない  
土木の現場へ行ってみませんか？

現場の迫力や魅力を皆様にお届



河川・道路・ダムなどの公共施設の役割や重要性について、皆様方へ中国地方整備局では工事現場などへの見学を受け入れています。

### 現場百景

イチオシの現場はこちら！！

○河川整備に興味のある方

- 01. 河川のたもと直道は 笠原川(高松市)
- 02. 河川のたもと直道は 高松川(高松市)
- 03. 河川のたもと直道は 高松川(高松市)
- 04. 河川のたもと直道は 高松川(高松市)
- 05. 河川のたもと直道は 高松川(高松市)
- 06. 河川のたもと直道は 高松川(高松市)

○ダム・特設に興味のある方

- 07. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)
- 08. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)
- 09. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)
- 10. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)
- 11. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)
- 12. 特設のたもと直道は 高松川(高松市)

○環境・自然・体験に興味のある方

- 13. 環境・自然・体験に興味のある方
- 14. 環境・自然・体験に興味のある方
- 15. 環境・自然・体験に興味のある方
- 16. 環境・自然・体験に興味のある方

▼各現場毎に個票を作成  
(例：松江国道事務所)

国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所

### 「出雲路に山陰道のつちおと」

～道路ができるエトセトラ(橋・トンネル)～  
建設現場を見に行こう！

＜概要＞

- 山陰道(多岐・朝山道路、朝山・大田道路、仁厚・温泉津道路)は、一般国道9号の交通隘路区間の解消及び代替路の確保を目的とした自動車専用道路です。
- 建設現場では、橋を造る工事、山を切ったり土を盛ったりする工事、トンネルを掘る工事などを実施しており、道路を建設する過程を見ることができます。

建設中の現場を見るチャンス！  
現場見学会の様子です

現場見学会の内容

- ・橋を造っている状況、山を切っている状況、トンネルを掘っている状況を見ることができ、実際に橋の上へ昇るなど、その時期で知な現場を体験することができます。
- ※見たいもの、体験したいことがあれば、ご相談下さい。
- 例：高い橋の上へ昇ること、トンネルの中に入ることなど

TEL: 0852-60-1345

# インフラツーリズム

## ～中国地方整備局の新たな取り組み～

インフラツーリズムとは、世界に誇るべき土木技術や優れた性能を有する土木構造物など、特徴あるインフラ施設を**観光資源**として活用するものです。

中国地方整備局では、インフラツアーを企画していただけるツアー会社を募集しています。

(インフラ施設の見学は、中国地方整備局が無償で対応します。)

### 大人の教育旅行®〈島根県編〉

11/4 (火)、10 (月)、26 (水)

広島駅北口発着

尾原ダム (島根県雲南市)



案内人付き!

普段入ることのできないダムの内部を係員の説明で見学し、話題のダムカードも貰えます!

ダム周辺の美しい自然や文化にも触れ、奥出雲のすばらしさを堪能

ダムの魅力を探り、奥出雲のすばらしさを堪能



普段は入れない操作室見学も!



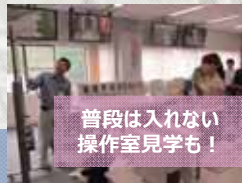
もちろん、ダムカードももらえます

### とまた 苫田ダム特別探検&奥津湖ボートクルージングツアー

10/11 (土)

現地 (苫田ダム) 集合・解散

苫田ダム (岡山県鏡野町)



普段は入れない操作室見学も!

普段は入れない操作室見学と奥津湖ボートクルージング!



堤体内見学室からのダイナミックな眺め!



もちろん、ダムカードももらえます

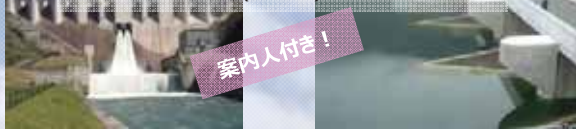
ラビリンスな苫田ダム見学と奥津湖ボートで湖面の風景を楽しむ☆

### とまた ダム博士を目指せ! 苫田ダム探検ツアー

実施済み (H26.8.8)

現地 (苫田ダム) 集合・解散

★ラビリンス型(ジグザグ形)の非常用洪水吐き★ (国内初)



案内人付き!

普段は入れない操作室やダム点検通路に特別に入れちゃう! ひんやり涼しいダムの中で楽しく探検!



普段は入れない操作室見学も!



もちろん、ダムカードももらえます

なぜ“ラビリンス”? →答えは探検ツアーで!

見学施設	催行日	問い合わせ先	キャッチコピー
尾原ダム[島根県雲南市]	11/4(火)、10(月)、26(水)	(株)JTB中国四国旅物語センター TEL:082-542-3489  (10/1より) (株)JTBメディアリテリング 広島旅物語販売センター TEL:082-511-9700	学生時代のあの頃を思い出し、ちよっぴり大人な教育の旅に出かけませんか♪
苫田ダム[岡山県鏡野町]	10/11(土)	かがみのツーリズム研究会 TEL:0868-54-7655	ラビリンスな苫田ダム見学と奥津湖ボートで湖面の風景を楽しむ☆
苫田ダム[岡山県鏡野町]	実施済み(H26.8.8)	かがみのツーリズム研究会 TEL:0868-54-7655	夏休みだ! ダム探検に行こう!

※各ツアーについては、問い合わせ先にお問い合わせください。



## 災害対応にかかる情報発信

○テックフォース活動状況と併せ、地元建設会社による応急復旧活動状況について、ホームページにより情報発信

### 平成26年8月20日 広島豪雨災害における中国地方整備局の対応について

最新情報

- 災害対応の概要
- TEC-FORCE 活動レポート
- 防災に関する報道発表
- 土砂撤去の進捗状況 (緑井・八木地区)
- 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部
- 地元建設会社による応急復旧活動

災害対策本部 | 河川 | 道路 | 港湾空港 | TEC-FORCE等

### 地元建設会社による応急復旧活動

広島市における大規模土砂災害発生を受け、中国地方整備局が行った土砂撤去に協力いただいた地元建設会社の活動状況を紹介します。

※本ページの写真を資料等に使用する場合は、『国土交通省中国地方整備局』または『国土交通省TEC-FORCE』の提供であることを資料等に記載してください。

※オリジナルデータ (jpeg形式) をご希望の場合は、中国地方整備局企画部企画課 までご連絡ください。

メール：[info@cgr.mlit.go.jp](mailto:info@cgr.mlit.go.jp) 電話：082-221-9231 (代表)



1 広島市安佐南区八木  
【H26.8.28撮影】



2 広島市安佐南区八木  
【H26.8.28撮影】



3 広島市安佐南区八木  
【H26.8.31撮影】



4 広島市安佐南区八木  
【H26.9.1撮影】



5 広島市安佐南区八木  
【H26.9.1撮影】



6 広島市安佐南区八木  
【H26.9.7撮影】



7 広島市安佐南区八木  
【H26.9.8撮影】



8 広島市安佐南区緑井  
【H26.9.10撮影】



9 広島市安佐南区八木  
【H26.9.15撮影】



10 広島市安佐南区八木  
【H26.9.16撮影】

## TEC-photo

広島市における大規模土砂災害発生を受け、平成26年8月20日以降、現地で活動しているTEC-FORCE（国土交通省緊急災害対策派遣隊）の活動状況を紹介します。

※本ページの写真を資料等に使用する場合は、『国土交通省中国地方整備局』または『国土交通省TEC-FORCE』の提供であることを資料等に記載してください。

※オリジナルデータ（jpeg形式）をご希望の場合は、中国地方整備局企画部企画課 までご連絡ください。

メール：[info@cgr.mlit.go.jp](mailto:info@cgr.mlit.go.jp) 電話：082-221-9231（代表）

### ●被災状況の調査



1 道路班（広島市安佐南区八木町）  
【H26.8.21撮影】



2 道路班（広島市安佐南区八木町）  
【H26.8.21撮影】



3 砂防班（広島市安佐南区八木）  
【H26.8.21撮影】



4 道路班（広島市安佐北区安佐町筒瀬）  
【H26.8.22撮影】



5 河川班（広島市安佐北区可部東）  
【H26.8.22撮影】



6 道路班（広島市安佐南区八木町）  
【H26.8.22撮影】



7 砂防班（広島市安佐南区緑井）  
【H26.8.23撮影】



8 砂防班（広島市安佐南区山本）  
【H26.8.23撮影】



9 砂防班（広島市安佐南区緑井）  
【H26.8.23撮影】



10 河川班（広島市安佐南区緑井）  
【H26.8.24撮影】



11 河川班（広島市安佐南区八木）  
【H26.8.24撮影】



12 河川班（広島市安佐南区緑井）  
【H26.8.24撮影】



13 砂防班（広島市安佐北区）  
【H26.8.25撮影】



14 砂防班（広島市安佐北区）  
【H26.8.25撮影】



15 砂防班（広島市安佐北区）  
【H26.8.25撮影】



16 砂防班（広島市安佐南区八木）  
【H26.8.26撮影】



17 砂防班（広島市安佐南区八木）  
【H26.8.26撮影】



18 砂防班（広島市安佐南区八木）  
【H26.8.26撮影】



19 砂防班（広島市安佐南区山本）  
【H26.8.27撮影】



20 道路班（広島市安佐北区可部東）  
【H26.8.27撮影】



21 道路班（広島市安佐北区可部東）  
【H26.8.27撮影】



22 河川班（広島市安佐南区緑井）  
【H26.8.24撮影】















( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

(一社)日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称	出前講座『シビルエンジニア(土木技術者)の仕事』
<p>1. 実施時期 平成26年7月29日(要請があれば随時実施)</p> <p>2. 実施場所 広島工業大学</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 都市デザイン工学科1年生約80名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 日建連中国支部による単独</p> <p>5. 事業等の内容 大学などに直接出向いて、学生に日建連が作成した「シビルエンジニア(土木技術者)の仕事」をみてもらい、その後に学生らと質疑応答を行い、学生にゼネコンの仕事と役割を正しく理解してもらう。</p> <p>6. 期待される効果 社会インフラの整備や国土の強靱化に欠かせない産業である土木は、とても魅力ある産業ですが、世の中に十分理解されていません。是非多くの若者が希望をもって、目を輝かせて土木技術者になりたいと思って頂く為に、シビルエンジニアの役割、ゼネコンの仕事と役割をしっかりと理解して頂き、私どもと一緒に働きたいと希望と夢を持った学生さんが我々の業界へ数多く入職して頂ける様になる事を期待している。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p>	

# 出前講座「シビルエンジニアの仕事」

## 広工大生に土木の魅力PR

### 日建連中国支部が開催

日本建設業連合会の仕事と役割を説明が「ゼネコンの特徴は中国支部(矢口則彦支し、正しく理解しても目の前でモノをつく

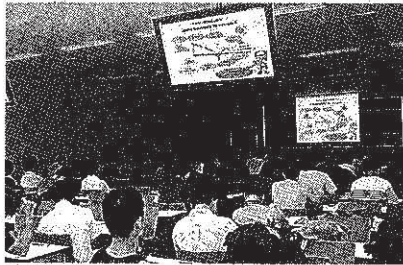
部長)は29日、広島市らしい夢や希望を持ちりあげるライブの臨佐伯区の広島工業大で若者の入職を増や 場感が一番の魅力。東学で学生を対象に出していく取り組み。講 京オリピックや老前講座「シビルエンジニアの冒頭、矢口支部長 朽化問題などで仕事

ニア(土木技術者)の仕事」を開いた。土木を学ぶ都市デザイン工学科の1年生約80人が技術者の説明を熱心に受講し、土木の魅力やゼネコンの仕事と役割を学んだ。

広工大への出前講座は日建連本部や支部が大学に直接出向いて学生にゼネコン



挨拶する矢口支部長



出前講座の様子

は増えている。永劫に 木技術者の1日の仕無くなることはない、事内容、入社後の経常につくり続け、修繕 歴、職場での役割なし続ける。今日の講義 ど、事例を交えて紹介を機会にゼネコンのした。

仕事を理解し、興味を 持ってほしい」と挨拶 員会の丸山昭義委員長、力丸泰英委員長、紀出前講座では、ゼネ 淳委員が大学生らと 質疑応答を行い、それ ぞれの経験談や女性 土木技術者の活躍な 資料「シビルエ

ンジニア(土木 広島工業大学の石井 技術者)の仕事 義裕教授は「建設業は 事(CDR 何をして、どのような OM)を見ても 使命感、やりがいがあるのか。学生の将来活 のプロジェクト 躍の場について話を や今後携わる 聞くことができる。今

かもしれない 後、どのようなことを ロジェクト、土 学び、モチベーション 木の魅力、ゼネ で勉強するのか考え コンで働く土 てほしい」と述べた。

中経日報(H26. 8. 1)

# 平成26年度 広島建設アカデミーのご案内

職業訓練法人

広島建設アカデミー

<http://www.fukuikensetu.co.jp/academy>

## 1, アカデミーの沿革

- ① 昭和55年3月 任意団体 広島建設共同職業訓練協会発足
- ② 昭和58年7月 職業訓練法人となる。
- ③ 平成1年10月 広島建設アカデミーと校名変更
- ④ 平成6年12月 職業訓練法人 広島建設アカデミーと変更
- ⑤ 会員数及び訓練状況

(1) 平成 7年	会員数	51 社	普通訓練課程	RC科、とび科、左官科	65名
(2) 平成10年	会員数	38 社	普通訓練課程	RC科、とび科	21名
(3) 平成13年	会員数	26 社	普通訓練課程	RC科	6名
(4) 平成20年	会員数	23 社	短期課程	建築基礎躯体工科	12名
(5) 平成21年	会員数	24 社	短期課程	建築基礎躯体工科	16名
(6) 平成22年	会員数	26 社	短期課程	建築基礎躯体工科	13名
(7) 平成23年	会員数	25 社	短期課程	建築基礎躯体工科	12名
(8) 平成24年	会員数	25 社	短期課程	建築基礎躯体工科	18名
(9) 平成25年	会員数	23 社	短期課程	建築基礎躯体工科	13名
(10) 平成26年	会員数	24 社	短期課程	建築基礎躯体工科	17名

## 2, 平成26年度 アカデミーの概要

### (1) 名称及び所在地

訓練校	広島建設アカデミー 東広島市八本松町大字吉川5782-58 【東広島地域職業訓練センター内】 TEL 082-429-0810 FAX 082-429-1806
事務局	広島市中区舟入南4丁目14番15号 【福井建設内】 TEL 082-235-1877 FAX 082-235-1878

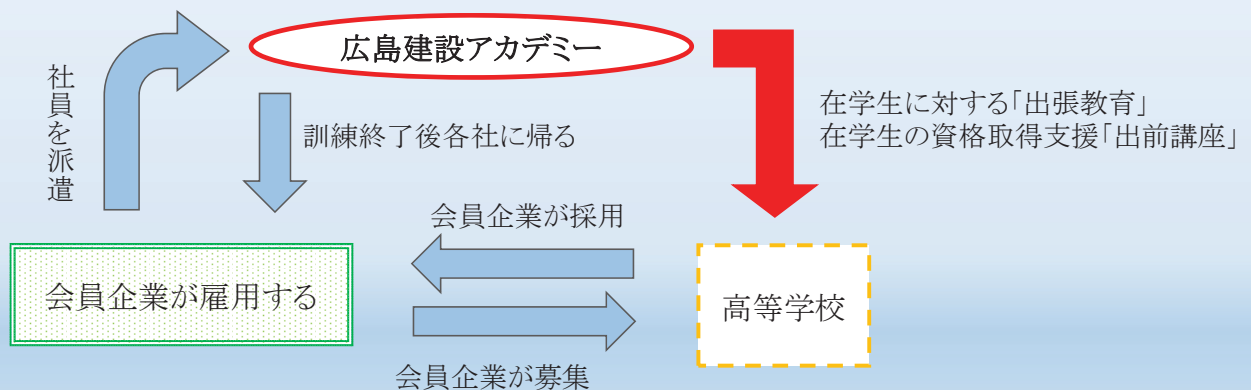
(2) 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第24条第1項規定による「広島県認定」の普通職業訓練 短期課程 建築基礎躯体工科(392時間)の教育訓練を実施している。  
当該認定訓練を利用することにより、キャリア形成促進助成金及び建設教育助成金(賃金助成)の申請・受給が容易になっている。

(3) 経営者研修・中堅クラスの技能者の能力向上教育の実施  
イ、経営者研修会「年1回」開催  
ロ、国家資格「とび技能検定」学科試験事前セミナーの開催  
ハ、資格取得に関する案内の配布

## 3, 訓練生の募集

研修生の募集は、原則として高等学校新規卒業者を対象として、会員企業が雇用した新入社員をアカデミーへ50日間派遣させます。この期間は、原則全寮制で訓練生全員共同生活をします。

近年入校した訓練生の出身校の内訳では、中国地域80%、他地域20%で工業高校「建築系」の卒業生は90%、「建築系科以外」の卒業生は10%となっています。

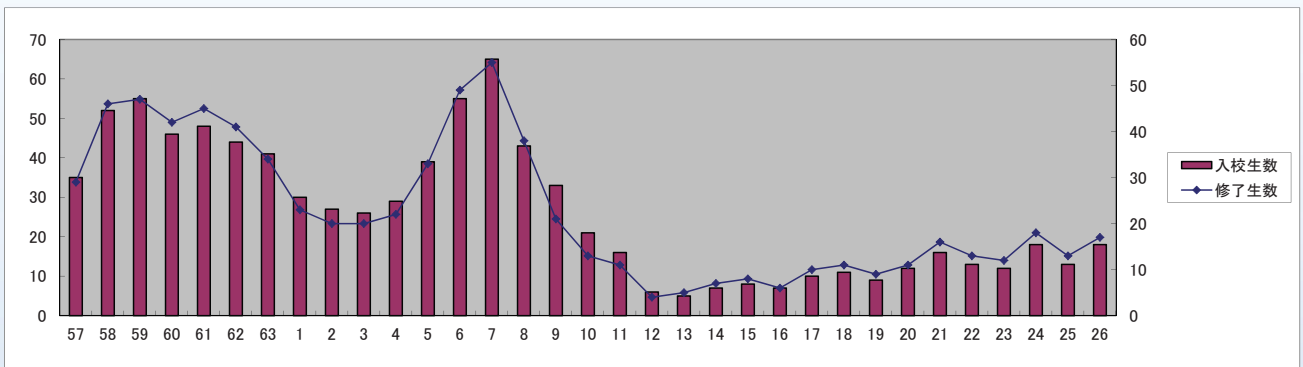


#### 4, 研修生の推移

建設産業の厳しい経営環境の中、各社は従業員の高齢化が進み、新たな新規学卒者の採用意欲が見られます。また少子化対策や技能伝承にも積極的で若年者の確保に力を入れており、近年アカデミーに訓練生を派遣する会員企業が増加しています。

普通職業訓練 短期課程による建築基礎躯体工科(392時間)4コースを約50日間教育訓練を実施し、平成26年度修了生数名を含め現在までに793名が、アカデミー修了生として中国地区の建築現場で活躍しています。

#### 4, 研修生の推移



普通課程 ← 短期課程 →

	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計名
入校生数	25	29	35	52	55	46	48	44	41	30	27	26	29	39	55	65	43	33	21	16	6	5	7	8	7	10	11	9	12	16	13	12	18	13	18	924
修了生数	20	24	29	46	47	42	45	41	34	23	20	20	22	33	49	55	38	21	13	11	4	5	7	8	6	10	11	9	11	16	13	12	18	13	17	793
訓練時間数	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	312	360	360	392	392	392	392	392	392	392	392	392		

## 5, 認定職業訓練（研修計画）

平成26年度

## 建築基礎躯体工科

- 《1》概要 型枠施工基礎、鉄筋施工基礎、とび施工基礎を連続して訓練し、仮設工事、型枠加工組立、鉄筋組立、コンクリート打設、足場組立作業及び安全作業法の基礎的な技能、知識を習得させ、建築躯体工事に係わる組立作業が出来る人材を養成する。
- 《2》対象 初心者(実務経験0～3年)が対象
- 《3》人員 18名
- 《4》期間 平成26年4月2日～平成26年6月7日（入校式4月2日(水)）
- 《5》訓練負担金 230,000円/名(派遣企業が負担します。)

## 《6》訓練内容①

コース	科目	内 容	時間	合計	
建築 躯体 基礎 コース	1	社 会	①社会人の責任と義務 ②挨拶と集団行動	24	216
	2	建築構造	①建築概論 ②生産概論 ③構造概論 ④力学概論 ④計画概論 ⑤設備概論	16	
	3	測 量	①概論 ②水準測量 ③多角測量 ④墨出作業方法	40	
	4	鉄筋組立作業法	①仕様及び積算 ②施工図 ③鉄筋工作機 ④器具の取扱い方 ⑤加工・組立作業法	48	
	5	足場組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤器具の取扱い方 ⑥安全衛生 ⑦関係法規	32	
	6	型枠組立作業法	①種類 ②材料 ③施工図 ④仕様及び積算 ⑤機械操作使用法 ⑥器具の取扱い方 ⑦安全衛生 ⑧関係法規	56	
建築 躯体 工作 コース	1	RC施工安全衛生作業法	①機械操作使用法 ②器具使用法 ③保護具の正しい取扱法 ④整理整頓 ⑤仮設(単管足場)工事施工実習 ⑥型枠工事工作・施工実習 ⑦鉄筋工事工作・施工実習 ⑦クレーン等の知識 ⑧玉掛けの方法及び合図の方法	88	88

## 《6》訓練内容②

コース	科目	内 容	時間	合計	
土工基礎コース	1	土工工事作業法	①掘削の方法 ②湧水の処理・排水の方法 ③砂及び岩石の性質 ④酸素欠乏危険作業法 ⑥安全衛生 ⑦関係法規	16	32
	2	コンクリート作業法	①種類 ②材料 ③構造 ④コンクリート打設法	16	
建築仮設工事施工コース	1	仮設工事一般	①仮設の種類 ②仮設工事の目的 ③仮設材料	4	56
	2	仮設工事計画	①計画概論 ②構造力学 ③仮設計画作成	8	
	3	安全関係法令	①安全衛生 ②用具の選定及び取り扱い	4	
	4	仮設施工実習	①仮設材の種類選定及び取り扱い ②用具の選定及び取り扱い ③重量物の運搬作業法 ④枠組足場組立、解体安全作業法	32	
	5	修了試験	①学科試験 ②実技試験	8	
建築基礎躯体工科時間数				392	

## 教育訓練に関する助成金について

## I. 広島建設アカデミーの場合

## 1. 広島県の助成金

アカデミーの訓練内容は職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第24条第1項規定により、広島県知事の認定を受けている。これによりアカデミーは広島県に本店を置く企業の従業員の訓練に対して、認定職業訓練助成事業費補助金(運営費)の交付を受ける事が可能となっている。金額はその年の県の予算額により変動するが、概ね下記の計算式により交付される。

※参考:平成25年度交付決定額(概算払い) 884,000円(県内9名)

$$5,760\text{円/単位} \times 22\text{単位} \times \text{訓練生数(県内のみ)} \times \text{約75\%}$$

## 2. 厚生労働省の助成金

アカデミーは中小建設事業主団体であり、認定訓練助成事業補助金の交付を受けている認定職業訓練を実施するので、建設労働者確保育成助成金の中の認定訓練コース(経費助成)を受ける事が出来ます。助成金の計算式は下記の通り。

※参考:平成25年度支給決定額 514,800円(13名)

$$1,800\text{円} \times 22\text{単位} \times \text{訓練生数(県の内外問わず)}$$

## II. 会員企業の場合（全て厚生労働省の助成金）

### 1. キャリア形成促進助成金

あらかじめ職業能力開発協会へ職業能力開発推進者の届け出を行い、認定訓練であるアカデミーでの訓練を社内の従業員的能力開発計画に組み入れる事により、キャリア形成助成金を受給することができます。厚生労働省による当該助成金のご案内では助成金の算出方法は下記の通りとなっております。しかしながら、弊社が受けた助成金額は当該算出方法通りではございません（若干下回る）でしたので、この点にご留意下さい。

#### 一般型訓練（Off-JT）

賃金助成 : 受講者1人1時間当たり400円  
 経費助成 : 訓練に要した経費の三分の一

### 2. 建設労働者確保育成助成金（賃金助成）

前述のキャリア形成促進助成金を受給できた事を条件とし、訓練生に対する賃金助成を受ける事が出来ます。助成金額は一日当たり4,000円。（法改正前は7,000円の助成があり非常に助かっておりました）

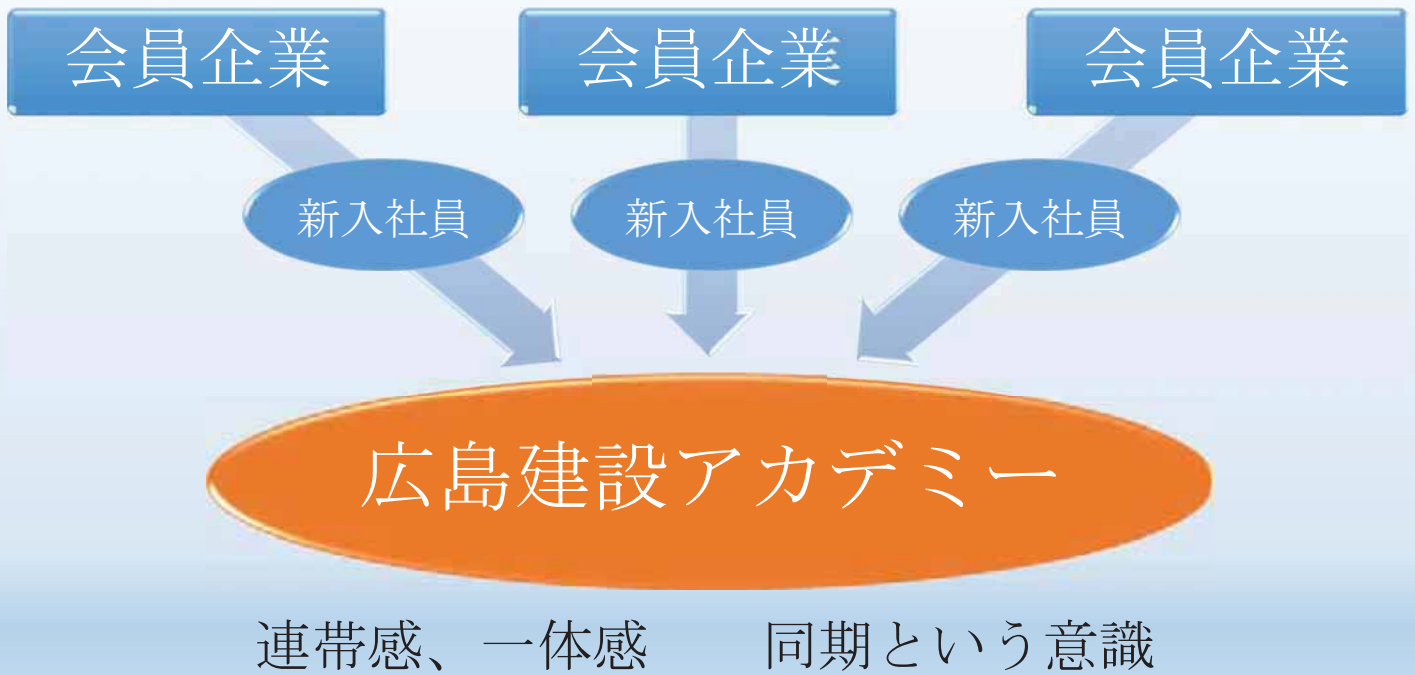
## II. 会員企業の場合（全て厚生労働省の助成金）

### 3. 実質負担（平成25年度、福井建設の場合）

A. 訓練費用	: 250,000円 × 5名 = 1,250,000円
B. 1の助成金受給額	876,120円
C. 実質負担額（A-B）	373,880円（1名当たり 74,776円）
D. 賃金負担額（本年は無し）次年度以降	196,000円（一人当たり 49日 × 4,000円）

厚生労働省の助成金につきましては、詳しくはお近くの労働局にお問合せ下さい。





## ・アカデミーのメリット

中小企業が独自で新入社員研修を行うのは負担が多いものです。

しかし、それぞれの企業がひとつとなって研修を行えば、国からの助成金がありますので、負担が軽くなります。

生徒の連帯感、一体感、同期との意識が芽生えます。

《6》訓練風景



《6》訓練風景



《6》訓練風景



《6》訓練風景



《6》訓練風景



《6》訓練風景



## 《6》訓練風景



## 授業時間割

	時間割			備考
準備作業	8 : 00	～	8 : 25	1時限は50分授業であるが、 担当指導員の任意変更の場合 もある。
1時限	8 : 30	～	9 : 20	
2時限	9 : 25	～	10 : 15	
3時限	10 : 20	～	11 : 10	
4時限	11 : 15	～	12 : 05	
昼食	12 : 10	～	13 : 00	
5時限	13 : 00	～	13 : 50	
6時限	13 : 55	～	14 : 45	
7時限	14 : 50	～	15 : 40	
8時限	15 : 45	～	16 : 35	
後片付け作業	16 : 40	～	17 : 00	

## 職業訓練法人 広島建設アカデミー会員名簿

NO	会 社 名	代表者名	NO	会 社 名	代表者名
1	株式会社 川頭工務店	川頭省三	13	チューケン株式会社	中野勝也
2	有限会社 内浜組	内濱和之	14	株式会社 中組	中光人
3	株式会社 岩崎運送	岩崎大輔	15	中村工業株式会社	中村義次
4	兼澤工業株式会社	兼澤伸至	16	八光建設工業株式会社	宮内輝司
5	株式会社 金岡組	金岡光秀	17	有限会社 花岡組	花岡三夫
6	有限会社 栗栖工業	栗栖龍男	18	株式会社 原田組	原田幸郎
7	株式会社 左官工業 藤原組	藤原透	19	福井建設株式会社	福井正人
8	株式会社 勝栄建工	佐々木勝輝	20	有限会社 藤総	藤田哲也
9	竹井興産株式会社	竹井寅義	21	若槻工業株式会社	若槻一浩
10	株式会社 谷組	谷勝美	22	株式会社 藤谷	藤谷宣勝
11	株式会社 田畑技建工業	田畑智信	23	株式会社 広島ガス圧接	久保達揚
12	株式会社 月森工務店	月森堯助	24	株式会社 松田組	福岡政信
会特別員別	株式会社ロイヤルコーポレーション 広島クレーン学校 広島校	寺岡晋作 担当 森土井			

## ◆職業訓練法人 広島建設アカデミー会員

☆ 平成26年度職業訓練法人広島建設アカデミー会員企業は、24社を予定。各企業も全て専門工事業者です。職種はそれぞれ異なりますが、会社も有能な若手を必要としております。

## ◆業種別企業一覧①

番号	会 社 名	主 な 職 種
1	株式会社 川頭工務店	型枠大工工事業
2	有限会社 内浜組	型枠大工工事業
3	株式会社 岩崎運送	重機(クレーン作業)
4	株式会社 金岡組	とび・土工・コンクリート工事業 コンクリート圧送工事
5	有限会社 栗栖工業	とび工事業
6	株式会社 左官工業 藤原組	左官・タイル工事業
7	株式会社 勝栄建工	とび・土工工事業 土木一式工事業
8	竹井興産株式会社	左官・タイル工事業
9	株式会社 谷組	とび工事業(鉄骨工事)
10	株式会社 田畑技建工業	とび工事業、重機(クレーン作業)
11	株式会社 月森工務店	左官・タイル工事業
12	チューケン株式会社	型枠大工工事、躯体一式工事、建築一式工事業



## 出張教育の実施

広島工業高等学校にて、とび、左官、型枠、鉄筋、圧接の講義や実技指導を行っています。

### 平成25年度 広島県立広島工業高等学校 出張教育実施報告

月 日	1 週 目				2 週 目			
	平成25年9月10日(火)		平成25年9月12日(木)		平成25年9月17日(火)		平成25年9月19日(木)	
2年生 クラス	B クラス (35/36名)		A クラス (38/38名)		B クラス (32/36名)		A クラス (37/38名)	
時 間 割	内 容	担 当 者	内 容	担 当 者	内 容	担 当 者	内 容	担 当 者
午 前 10:55~12:45	左官施工(講義)	左官組合	とび工事施工(講義)	中国躯体	鉄筋施工(講義)	鉄筋組合	型枠施工(講義)	日建大協
鉄筋圧接(講義)					西圧協			
休憩10分有	とび工事施工(講義)	中国躯体	左官施工(講義)	左官組合	型枠施工(講義)	日建大協	鉄筋施工(講義)	鉄筋組合
							鉄筋圧接(講義)	西日本圧接業(協)
12:45~13:25	休憩(昼食)				休憩(昼食)			
午 後 13:30~15:20	とび作業(実技) 4組	中国躯体	左官作業(実技) 壁塗り・洗出し工法	左官組合	型枠作業(実技) 6組	日建大協	鉄筋作業(実技) 10組	鉄筋組合
休憩10分有							鉄筋圧接(実演) 2組	西日本圧接業(協)

## 出張教育の実施

○とび講義





出張教育の実施

○とび実技



出張教育の実施

○とび実技



## 出張教育の実施

○とび実技



## 出張教育の実施

○左官講義



出張教育の実施

○左官実技



出張教育の実施

○左官実技



## 出張教育の実施

○左官実技



## 出張教育の実施

○型枠講義



出張教育の実施

○型枠実技



出張教育の実施

○型枠実技



## 出張教育の実施

○型枠実技



## 出張教育の実施

○鉄筋講義



出張教育の実施

○鉄筋実技



出張教育の実施

○鉄筋実技



## 出張教育の実施

○圧接講義



## 出張教育の実施

○圧接実技





## 出張教育の実施

○圧接実技



## 出張教育の実施

その他にも福山工業高等学校と府中東高等学校にて、とび、左官の出張教育を実施しています。





職業訓練法人  
広島建設アカデミー  
<http://www.fukuikensetu.co.jp/academy>

# 豊かなくらしをこれからも

## 土木学会創立100周年記念イベントin 広島

日時：平成26年7月3日(木)～6日(日)

場所：JR広島駅南口エールエール地下広場



### ☀️ 土木ふれあいフェスタ ☀️

#### ★実験・体験コーナー★

7/3-5：トラス橋・斜張橋・吊橋模型  
 7/3-4：アーチ橋を作ってみよう！  
 7/5-6：液状化実験・トンネル形状の強度実験・橋の模型作り強度実験・ぬりえコーナー  
 7/6：測量ゲーム・レーザー測量



#### ★点検・計測機材実演★



7/3-4：小型無人ヘリ  
 7/4：赤外線カメラ  
 7/5-6：気球空撮システム



#### ★防災・避難グッズ展示★

7/3-6：大規模地震を想定して、家庭備蓄等の展示

#### ★身近な土木を描いてみよう！図画コンクール★

7/3-6：平成23～25年度優秀作品展示

#### ★クイズラリー★

7/5-6：会場を巡ってグッズをプレゼント！

### どぼくカフェ

#### 踏んでもええアート

#### マンホール蓋は路上の芸術

7/3：18：00～20：00

話題提供者：垣下嘉徳さん

(マンホール蓋研究者)



### ▲▲シビル大学▲▲

7/3：小野 武彦 氏  
 (100代土木学会会長)

7/4：米倉 亜州夫 氏  
 (広大名誉教授)

7/5：柳迫 長三 氏  
 (広島市安佐北消防署)

7/6：小路 泰広 氏  
 (ひろしま輪輸プロジェクト)

## どぼくシアター ##

♪♪ どぼくクイズ ♪♪

土木コレクション2014

**HANDS**

土木エンジニア ドローイング展

**+EYES**

土木エンジニア ニューヴォー展

#### HANDS:土木エンジニア ドローイング展

明治期から昭和初期、土木エンジニアは高い志と熱意、プライドを持って国土づくりにとり組んできました。この時代のエンジニアによる手書きの図面一枚一枚からは彼らの意思と当時の技術の高さが伝わってきます。

#### EYES:土木エンジニア ニューヴォー展

環境や技術、デザインなど、はっと目が奪われる、未来を見通した土木事業のこれからの感じてもらえるような新しいコンセプトの現代のプロジェクトを展示いたします。

**入 場 無 料**

※プログラムは裏面参照

主催：公益社団法人土木学会創立100周年事業実行委員会  
 公益社団法人土木学会中国支部  
 国土交通省中国地方整備局

後援：広島県

お問い合わせ先：公益社団法人土木学会中国支部

〒730-0011 広島市中区基町10番3号

電話：082-222-2376 FAX：082-222-2496

E-mail: jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

#### \*会場案内\*



## 豊かなくらしをこれからも

## —土木学会創立100周年記念イベント in 広島—

場所：JR広島駅南口エールエール地下広場

7月3日 (木)	開催時間	14:00～20:00	
	ステージ	○オープニングセレモニー	14:00～
	部門	○シビル大学 「社会インフラ 100年+100年」 土木学会 100代会長：小野 武彦 氏	14:30～15:30
		○どぼくシアター：「太田川放水路」「広島空港大橋」ほか	15:30～17:30
		○どぼくカフェ「『踏んでもええアート』 マンホール蓋は路上の芸術」 マンホール蓋研究家：垣下 嘉徳 氏	18:00～20:00
	土木コレクション	14:00～20:00	
	ふれあいフェスタ	○展示コーナー：避難グッズ・図画コンクール優秀作品	14:00～18:00
		○小型橋梁模型製作：斜張橋・トラス橋・吊橋・アーチ橋	14:00～18:00
		○実演コーナー：小型無人ヘリ	15:30～18:00

7月4日 (金)	開催時間	11:00～20:00	
	ステージ	○どぼくシアター：「豊島大橋」他	13:00～14:00
	部門	○シビル大学 「コンクリートの健康診断から—良いコンクリートでいつまでも美しく—」 広島大学名誉教授：米倉 亜州夫 氏	14:00～15:00
		○どぼくシアター：「太田川放水路」「第二音戸大橋」他	15:00～18:00
		土木コレクション	11:00～20:00
	ふれあいフェスタ	○展示コーナー：避難グッズ・図画コンクール優秀作品	11:00～18:00
		○小型橋梁模型製作：斜張橋・トラス橋・吊橋・アーチ橋	11:00～18:00
		○実演コーナー：小型無人ヘリ・赤外線カメラ	11:00～18:00

7月5日 (土)	開催時間	11:00～20:00	
	ステージ	○どぼくシアター：「豊島大橋」他	11:00～13:00
	部門	○シビル大学 「東海・東南海地震への備え—帰宅困難者を想定して—」 広島市安佐北消防署：柳迫 長三 氏	13:00～14:00
		○どぼく防災クイズ：山下 祐一 氏	14:00～14:30
		○土木シアター「広島高速3号線」「第二音戸大橋」他	14:30～18:00
	土木コレクション	11:00～20:00	
	ふれあいフェスタ	○展示コーナー：避難グッズ・図画コンクール優秀作品展示	11:00～18:00
		○小型橋梁模型製作：斜張橋・トラス橋・吊橋	11:00～18:00
		○実演コーナー：気球空撮システム	11:00～18:00
		○実験コーナー：橋の模型作り強度実験・液状化実験・トンネル強度実験	11:00～18:00
		○クイズラリー	11:00～18:00
		○遊びの広場（図書・ぬりえコーナー）	11:00～18:00

7月6日 (日)	開催時間	11:00～17:00	
	ステージ	○どぼくシアター：「広島高速3号線」	11:00～13:00
	部門	○シビル大学 「道路の賢い使い方—自転車に乗ろう！—」 ひろしま輪輪プロジェクト 小路 泰広 氏	13:00～14:00
		○どぼく輪輪クイズ：BBEGG	14:00～14:30
		○どぼくシアター：「広島空港大橋」「第二音戸大橋」「豊島大橋」他	14:30～17:00
	土木コレクション	11:00～17:00	
	ふれあいフェスタ	○展示コーナー：避難グッズ・図画コンクール優秀作品展示	11:00～17:00
		○実演コーナー：気球空撮システム・レーザー測量	11:00～17:00
		○実験コーナー：橋の模型作り強度実験・液状化実験・トンネル強度実験	11:00～17:00
		○体験コーナー：測量ゲーム	11:00～17:00
		○クイズラリー	11:00～17:00
		○遊びの広場（図書・ぬりえコーナー）	11:00～17:00

## 事業報告書

平成 26年 9月 3日

広島県知事 様  
(道路企画課)公益社団法人 土木学会中国支部  
支 部 長 前 野 詩 朗

事業名称	「豊かなくらしをこれからも」－土木学会創立100周年記念事業 in 広島				
実施時期	平成26年7月3日(木)～7月6日(日)(4日間)				
実施場所	JR広島駅南口 エールエール地下広場				
支部関与	主催	参加人数	約1200名	CPD	なし
事業内容 (プログラム) と感想	<p>土木学会創立100周年を記念して全国で開催される、『市民交流』部門のイベントの一環として実施。</p> <p>橋本鋼太郎第101代会長による挨拶を皮切りに、各支部で展開中の「土木コレクション」(HANDS and EYES)、「どぼくカフェ」(踏んでもええアートマンホール蓋は路上の芸術－/垣下嘉徳氏)に加えて、本部と支部が連携して実施した「どぼくふれあいフェスタ」、「支部企画」のシビル大学(安全・安心で営み続ける社会を目指して/小野武彦氏, コンクリートの健康診断から－良いコンクリートでいつまでも美しく－/米倉亘州夫氏, 東海・東南海地震への備え－帰宅困難者を想定して－/柳迫長三氏, 道路の賢い使い方－自転車に乗ろう!－/小路泰広氏), どぼくシアター, どぼくクイズに加えて、地元企業からの展示・体験イベントなど、数多くの企画を実施した。会場では通行中の多くの市民の方々が足を止められて、土木コレクションのパネルを熱心に観覧される姿や、ラジコンヘリや気球を使った観測技術に目を見張る親子連れのほか、土木フェスタの実験に触れて、楽しそうに談笑されている姿が印象的であった。延べ150名に及ぶスタッフに支えられ、中国新聞やNHKの取材もあった。</p> <p>※チラシ添付</p> <p>主催：公益社団法人土木学会100周年事業実行委員会 公益社団法人土木学会中国支部 国土交通省中国地方整備局</p> <p>後援：広島県</p>				
連絡先	<p>公益社団法人土木学会中国支部 〒730-0011 広島市中区基町10番3号 広島県自治会館3F 電話：082-222-2376 FAX：082-222-2496 H-mail:jsce-chugoku@citurs.ocn.ne.jp 担当：増村</p>				



オープニングセレモニー：橋本前会長挨拶



オープニングセレモニー：前野支部長挨拶



シニア講演会：小野武彦100代会長



ドボクコレクション



点検計測機材展示：小型無人ヘリ↑↓気球空撮システム



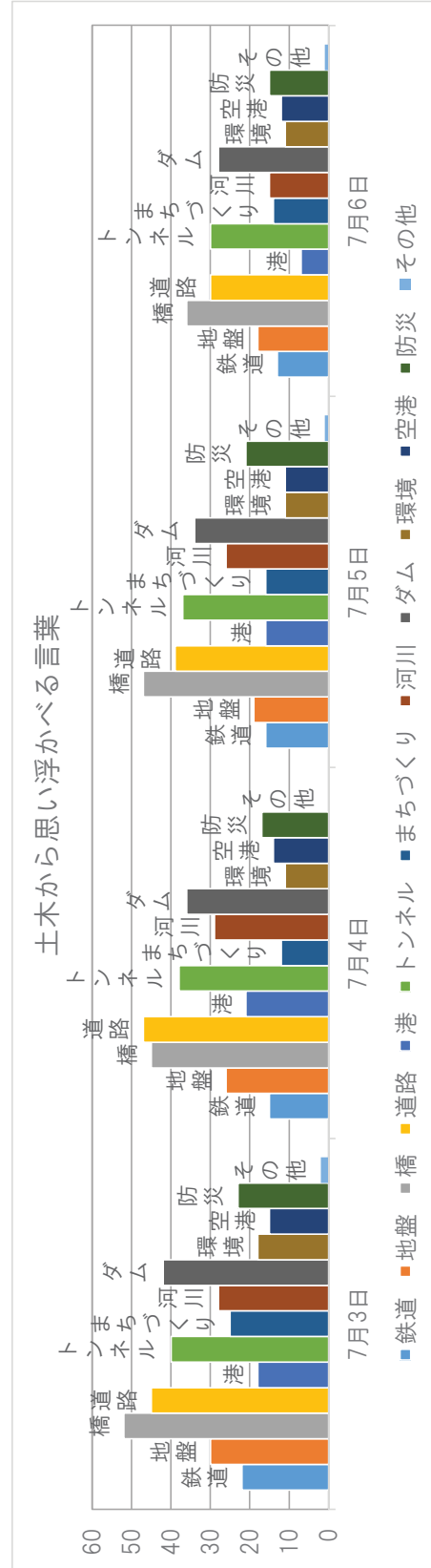
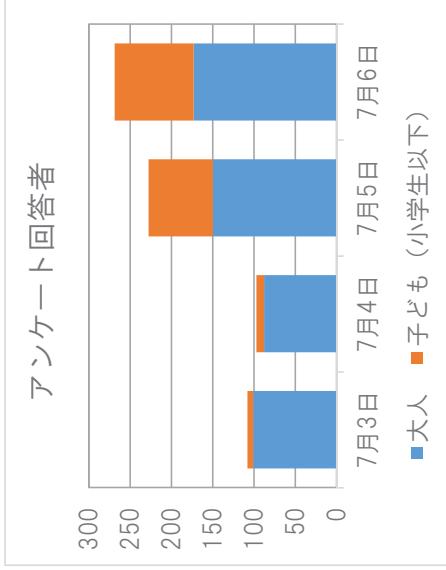
どぼくカフェ↑↓体験コーナー：アーチ橋の体験



土木学会100周年記念イベント「豊かな暮らしをこれからも」～土木学会創立100周年記念イベントin広島

土木ふれあいフェスタ(土木学会中国支部実施) アンケート 開催期間集計(7/3～7/6)

開催日	問1.来場者	問2 土木から思い浮かべる言葉(複数可)													問3 イベントの感想(自由)
	大人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	(⑬ 詳細)
	子ども(小学生以下)														
7月3日	101	7	22	30	45	18	40	25	28	42	18	15	23	2	
7月4日	88	9	15	26	47	21	38	12	29	36	11	14	17	0	
7月5日	150	16	19	47	39	16	37	16	26	34	11	11	21	1	
7月6日	173	13	18	36	30	7	30	14	15	28	11	12	15	1	
期間計	512	66	93	180	161	62	145	67	98	140	51	52	76	4	
合計	702	(ドボクコレクション・講演会・映画会は含まず)													



土木学会100周年記念イベント「豊かな暮らしをこれからも」～土木学会創立100周年記念イベントin広島  
土木ふれあいフェスタ(土木学会中国支部実施) アンケート 結果 自由記述分集計

問1.来場者		問3 イベントの感想(自由記述)
大人	子ども (小学生以下)	
1	2	0 土木カフェは、土木のことを違った視点でみることでできておもしろい。
2	3	0 土木は堅いイメージ。身近だけど日常あまり意識しないかも…おじさん、しかもこわいおじさんのイメージ、職人さん。マンホール先生の話聞いて本当で、旅先で下を向いて歩きそうです。今日、とりあえず下を向いてみます。
4	3	0 見たことは有るけど、何を意味しているのかわからなかったマンホールのデザイン(市町村章)の意味を知れた。
5	3	0 マンホールに普段着目することがなかったのですが、様々な写真や、分かりやすい解説でとても楽しめました。マンホールの写真をたくさん撮ってみたいになりました！
6	3	0 震災の影響で土木に対して世間の関心が高まっているので、積極的に土木のイベントを行うことは良いことだと思う。
7	1	0 どぼくカフェ、面白かったです。また、このような企画を実施してください。
9	1	0 施設見学。
10	3	0 今回のイベントを通してマンホールに興味を持った。外国の方が発展しているイメージだったが、日本だけ絵が描かれていたことに驚いた。時間帯が夕食時だったのでお腹がすいた。
12	3	0 その地域の思いを直径60センチにおさめて伝えるというのがすごいと思いました。ビジュアルを見るだけで伝わるものもあるけど、そうではなくて、ぱっと見、何を表現しているのかわからないものも、そこから読みとる楽しさがあり、おもしろいと思いました。普段は何気なく見ているマンホールですが、今度からは意味を探りながらみてみようと思います。
13	1	0 土木カフェ、お話が楽しかったです。
14	1	0 「国土」を造っていることをもっとアピールされたい。「目に見える国土づくり」
15	1	0 古い図面には大変興味深くみさせて頂きました。
16	1	0 川や港の護岸、景観に配慮した工事のあり方等について知りたいです。最近はおもしろいマンホールが多いので、これについて全国のデザインをたくさん知りたいです。
17	1	0 偶然、このイベントに出会い、再度(今日は)聞き、見に来ました。頭では解っていても実際、聞、視てなおいっそう平常からただニュース出なく孫達にも伝えられたらと思っています。特にマンホールは※※のテレビ以外にも興味があり、垣下氏のお話が聞けて良かったです。(途中から)最後までは聞けませんでした(18時25分くらいから19時までしか)ありがとうございますおめでとうございます。土木については道路の造り方に考えが足りないと思います。海外から帰ると道の造り方、弱者への配慮がないと思う。もっと楽しい、世界が驚くような、土木に関するものをお願いします。
18	2	0 土木は建築の基礎だと思います。ただ、最近工業高校の学科の中に土木科や建築科の学科がなくなって、若い人が技術を習得する機会がなくなっているのが残念です。土木学会100周年ということで、これからも続くよう、願います。
19	2	0 マンホールの蓋は県外によって色々な種類があるのは知っていたし、テレビでも数年前に上映してた。100周年おめでとうございます。今日のようなイベントをして下さると興味、関心が湧きます。話も分かりやすくよかったです。
20	1	0 様々なブースがあり、少し混乱してしまう。日によって内容を変えるのはどうか。展示物に関しては非常に面白いものだった。
21	1	0 人々の命や財産を守る専門のお仕事だと思っています。
23	1	0 このようなイベントで工事前の段階(設計、調査、測量等)、一般の方に興味を持ってもらえるとうれしいです。
24	1	0 おもしろい。
26	1	0 土木が進化しているからなのか、街が便利になってきました。もっと土木についてPRしても良いのではないのでしょうか？
27	2	0 通勤通路のため、イベントをたまたま見かけた。子供に帰って伝えてみる。
28	1	0 小型無人ヘリがとても興味深かった。
29	1	0 一般の方に土木を身近に感じてもらうのに有意義と思う。
30	3	0 どぼくカフェききにきました！
32	1	0 細かいところまでよく説明してあるパネルや流れている映像などから土木に関しての知識が深まりました。とてもわかりやすかったです。ためになるイベントでした。
33	1	0 土木の進化を感じます。
34	1	0 日々の努力に日本一の橋が有るのにびっくり。
35	1	0 素人なのに丁寧に教えていただき勉強になりました。
37	4	0 あまり土木関係には詳しくはないが、展示物はなかなか楽しめた。土木はあまり目立たないが、別の重要な部分であるのは間違いないので今後はより興味深く見る事ができる気がした。
43	1	0 知らないことを教えてもらって大変良いイベントです。
45	1	0 ダム、特に黒部ダムの技術はすばらしい。そして世界中で日本の土木技術が活用されていることは日本人として誇りです。
47	1	0 どの主催者も分からず、見てびっくり！もっと大々的に宣伝してほしい。ロボット等も。
48	1	0 絵を描くのが好きだから楽しかった。
49	1	0 マルチコプターの実機が見れて感激でした。
50	10	0 安全な工事をして欲しい。
52	1	0 普段知るはずもないことを分かりやすく体験出来てお話しも伺いました。とても良かったです。何か定期的イベントがあるとマンホールは喜ぶし、子供も喜ぶかも。
53	1	2 土木は生活基盤、社会基盤となる分野と認識しております。今後の益々発展を祈念しております。ありがとうございます
60	2	0 土木の役割、これまでの成果をPRし、公共投資に対するイメージを変えることに貢献できると思います。
61	2	0 土木は国の基盤。もっとPRを上手に。広島でもこんな催しを何回もやってほしい。
62	2	0 おもしろく見ました。
1	1	0 高速道路等使いやすくしてほしい。
4	1	0 小型無人ヘリを初めて現物を見ました。「土木」はとても広い働きがあるのだなあ…と新しいイメージがわかりました。
8	1	0 ヘリが面白かった。
10	1	0 割と身近にある存在だった。とても楽しかったです。
11	1	0 展示が分かりやすく興味を持ちやってきてよかったです。太田川の映画がとても勉強になりました。
15	1	0 古い物が現存するためによく考えて造られていることを改めて感じた。
16	1	0 すばらしい。
20	1	0 歴史について分かった。
24	3	0 今後の未来で何かの役に立ちそう。
25	3	0 土木には歴史があり、工夫がされていると思った。
26	3	0 何かの実演を希望。
27	1	0 毎年やればいいと思います。
28	1	0 頑張ってはたらいっていると思います。
29	1	0 知らなかったことが分かったようです。ありがとうございました。
30	1	0 橋の設計図の綿密さに興味を持った。
34	1	0 道路が良くなると環境もよくなるのではと思います。
35	1	0 今後もしかり土木のPRを行って能力のある若い人が携わるようにしてください。
36	1	0 このようなイベントを年1回くらい計画してほしい。
37	1	0 汚れのイメージから多少きれいなイメージを希望。
38	1	0 土木学会というのがあるのは知らなかった。橋のアーチに登っても壊れないのにびっくりした。車を子供がもらって喜んでいました。ありがとうございます。
41	3	1 100周年の事業おめでとうございます。土木は社会を支える技術です。頑張ってください。
44	1	0 専門性が強すぎるため、一般の人の関心がないのでは。
49	1	0 コンクリートの中に入れる鉄筋のかわりに竹でも大丈夫なのか知りたいです！！
54	3	0



	大人	子ども (小学生以下)	
55	3	0	楽しかった。すごかった！
56	3	0	今後もお知らせしたらいいな。
57	1	0	良い構造物について積極的に情報を発信するようにしてほしい。
58	1	0	いまいちわかりにくかった。講師による説明の方がいいと思います。
59	3	0	もっとこういうのをたくさんやってほしいです！
60	1	0	駅前の公園広場での盛りだくさんのイベント。土木のPRになって大変良かった。
63	1	0	このようなイベントをもっと開催して土木の良さ等をもっとPRすべきである。
1	1	0	おもしろかった。
6	1	0	中四国の有名な土木施設の青焼凶面など、興味深く見る事ができました。初代の土木学会の会長で2代目の理研の理事長を勤めた古市博士の孫が広島県広島市の職員として西部復興、東部復興の議場に関わったと聞いています。原爆ドームの保存工事も建設局長時代のことだったそうですが、何か資料が残っていないでしょうか。長松太郎といわれる方です。
10	1	0	マンホールのデザインの展示。
13	1	0	年をとっているがこのようなイベントで学ぶことがあるとおもしろい。
22	1	1	夏休みの宿題に役立つ実験などがあつたら嬉しいです。
25	1	0	土木カフェは休日にやってほしいです。
30	3	1	クイズでいろんなことを知った。
36	1	0	なかなか楽しく勉強になりました
37	1	1	偶然立ち寄って見学しました。橋の強度などについて実際にアーチの上を歩いて強さを感じられて楽しかったです。ありがとうございました。
40	1	0	知らないことが多かったので大変勉強になりました。ありがとうございました。鳥取のべた踏み坂も話が聞けて大変安心しました(ギモンに思っていました。CD???とか)期記念品沢山いただいてありがとうございました。さすが100年の実績を感じ
43	1	0	土木のことが少しわかった。
47	1	0	おもしろかった。
53	1	0	もっと展示や子供の興味あるゲームのようなものを増やした方がいいと思う。
55	1	2	身近なものですが、仕事の内容を知ることが少ないので良かったです。
60	1	0	安全第一に防災の予防に尽力して下さい。
62	1	0	毎年1回くらい土木学会(中国支部)がイベントを行って下さい。
66	1	0	自宅の近辺を走る予定の庚午・霞線の道路建設計画がとん挫したままに5、6年放置されている。旧道の小路は道幅が狭い割には交通量が多く、危険なのでできるだけ早急に道路を敷設して欲しい。
67	1	0	市民に対してアピールすることは意味ある活動だと思います。是非続けて頂ければと思います。
77	1	0	様々な説明が聞けて良かった。
79	1	0	一般になじみが少ないだけにこれからもイベントを開いて下さい。
84	1	0	多少、技術的すぎるのでは。一般人にはなじみがない。
85	2	1	土木を一般市民に広める良い機会だと思います。今後も続けて下さい。
88	1	1	分かりやすい実験があつてよかったです。子供がもう、少し大きくなったら興味を持つかな？
89	1	0	細かく見れました。
90	2	1	橋の形状の理由がとても”おおー！！”と思いました！
94	1	0	建築が注目されやすいのに比べて注目度が低い感じがするので、このようなイベントはもっとあっていいと思います。
96	2	0	勉強になった。
97	1	1	身内が土木関連に従事しています。人手が足りない、なかなか仕事がとれない、休めない等、たいへんなことが多いイメージです。環境がよくなるよう、祈っています。
98	1	0	毎年1回くらい土木についてのイベント(全体的に土木について)を行ってほしい。
##	3	2	おもしろいです。
##	1	0	土木と言っても、いろいろなところで役立っているものがある、新しい発見ができました。
##	3	2	庄原であった災害のような身近な災害の詳しい説明。
##	1	0	環境破壊という言葉の思い浮かべます。森林ばっさいや土地開発…知らないからあまり良い印象がありません。正しい知識を持てる機会が無料であればと感じます。何かの楽しいイベントと組んで…とかないでしょうか？(災害に関しては超興味があります。防災等…)
##	2	0	トンネルをつくったりするのでも、くふうしていたり、何度も実けんをしていたりして、すごいと思った。
##	1	0	昔の設計図、貴重な展示に感銘を受けました。
##	2	0	このようなイベントをやしてほしい。土木工学がよくわかるので大変良い。
##	2	1	トラス橋とアーチ橋のしくみが良く分かりました。また、液状化のお話は意外でした。
##	2	0	図面がきれいだった。
2	5	0	いいと思いますが、外国人として少しわからなかった。すみません！それなのにほとんどにわかりやすい。
4	5	0	身近にするものの構造を知ることができて楽しかった。
6	5	0	学問と市民の生活のつながり(親近感)が重要だと思いますが、そのかけ橋としてよかつたと思います。
9	1	0	おもしろい勉強になりました。
10	5	0	土木といわれてもぼんやりしていますが、生活にないと、困るものだと思います。
15	1	0	いままで気づかないことが多く、しくみなどが理解できたように気がします。
19	1	0	親子で楽しめる催しをもう少し多かつたら良い。
23	1	0	ダムを紹介、橋の紹介など、何か1つのテーマに特化したもの。今は使用されていない道(ずいどう)なども面白いかも。
30	6	3	楽しかった。
31	0	3	たのしかった。
32	6	3	楽しかった。わからないのもあった。
33	6	3	Fish Heads、Fish Heads、RollyRolly Fish Heads、Fish Heads、Fish Heads、Eat Them Up Yumi.
34	6	3	I like Japan.
42	3	1	とつても勉強になりました！！
50	3	1	トンネルの実験がおもしろかった。
54	1	0	最近土木からきたないイメージがきえた気がします。
56	1	3	もうすこし、じっけんがしたい。
70	1	0	環境を極力こわさないで、ものを造ってほしい。
71	2	3	色々な模型が見てみたい
72	1	0	参加して大変面白かつたです。
73	1	1	イベントに参加して身近に感じる事ができました。
75	2	1	夏休みの宿題のヒントになりました。橋やトンネルの強度がわかつた。
76	1	1	実験に参加できて子供も楽しそうでした。
81	6	6	「土木」がよくわかるので良いイベントでした。
82	6	6	日本の土木の人々のおかげで、住みよい環境になっているなど、あらためて思いました。
84	1	1	自然や生活に関係する大切な仕事が多いので、子供たちにわかりやすくしたイベントをもつてほしいなと思いました。
91	1	0	住みよい町づくり
98	1	1	実験もあり楽しめました。子供はリモコン操作の気球空撮システムが特に気に入ったようです。
99	1	0	初めて見学に訪れ、有益な情報を入手させて頂きました。
##	1	0	子供が興味を持っている。

2014年小中学生対象土木実験 参加者募集!!!

主催：公益社団法人 土木学会中国支部  
協力：公益社団法人 土木学会関西支部  
後援：広島市教育委員会

小・中学生

参加者大募集!!

## 夏休み土木実験教室

これで自由研究や宿題が出来上がるっ!「土木」を実験で楽しく学んじゃおう!!

夏休みの宿題に自由研究や実験はありませんか?「土木」という言葉は学校の授業では教わらないかもしれないけれど、土木の施設は私たちの生活に密着していて、この役割を知ることは「社会」の勉強です。

また自然現象や土木施設を造る技術は「理科」の応用です。

今回は、素晴らしい夏休みの宿題が一つ完成する、土木に関する実験教室を開催します。私たちと一緒に、実際に作ったり、触ったり、観察してみましょう!作ったものは持って帰れます。みなさんの参加をお待ちしております!!

～～ 実験内容 (予定) ～～

- ① 液状化ってどんな現象?  
好きな色で液状化の実験装置を作ろう!
- ② コンクリートはどうして固まるの?  
いろんなコンクリートを作ってみよう!



参加無料

昨年度の開催風景



部屋の中での実験ですが、動きやすく、汚れても構わない服装、上履きをご持参ください。

1. 日 時 平成26年8月4日(月)
  - ① 13:00~14:30 (定員 30名)
  - ② 15:00~16:30 (定員 30名)
2. 会場 なぎさ公園小学校  
広島市佐伯区海老山南 2-2-30  
(最寄駅:JR 五日市駅・広電五日市駅 徒歩 10分)

3. 参加資格 小中学生(会場までの送迎は保護者が同伴して下さい。未就学児は参加できません。)
4. 応募方法 ①~⑦を書いて、はがきまたはFAX、メールで土木学会中国支部へ連絡。

- ① 定員：60名(先着順)定員になり次第HPでお知らせいたします。
- ② 参加費：無料(会場までの交通費などは参加者のご負担となります)
- ③ 応募方法：①郵便番号・住所②参加者氏名(ふりがな)③学校・学年④年齢⑤電話番号(連絡先)⑥保護者氏名⑦参加希望時間(1回目13時~2回目15時~)第1希望参加時間・第2希望参加時間
- ④ ①~⑦を書いて、はがきまたはFAX、メールで土木学会中国支部までお送りください。(ご希望の参加時間に添えない場合は、ご了解ください。)
- ④ 注意事項：
  - ・寄せられた個人情報、本イベント参加の確認作業及び個人を特定しない形でのイベント参加状況分析以外は使用いたしません。
  - ・当選されたご本人様のみ有効となります。
  - ・お一人様、応募は1回限りとさせていただきます。

※当選者には追って詳しい行程をはがきにてご案内致します。



お問い合わせ 公益社団法人 土木学会中国支部  
電話 082-222-2376 FAX 082-222-2496  
E-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

夏休み土木実験教室 ※写真



前野支部長 挨拶



関西支部の説明



ゴーグルをつけて コンクリートを作成



液状化の実験装置を作成



バイブレーターで地震を起こしてみよう！



お家が傾きはじめた…。



問1参加前に 楽しみだった のは？	問2 今日の実験でよくわかったものは？						問3 実験は 楽しかったで すか？(期待 どおでした か？)	問4実験の内容や説明はよくわかりましたか？				問5参加して 思ったこと、感想	問6見学会について			7.媒体	8.土木 につ いて 興味 がで てき まか い い え			
	①液化化	②コンクリート	一番よかったところ					わかりましたか	よくわかったところ	難しかったところ	質問があれば		○	×	どこから 知りました か			その他		
液化化	液化化のしくみ	液化化装置を作る	コンクリートとは何？	コンクリートを作る	いろいろなコンクリートの実験		とても楽しかった	楽しかったです	よくわかった	わかりました	ほとんどよくわからなかった									
9	○	○		○	○	コンクリートを作ること。	○	○												
10	○	○	○		○	液化化そう置で。見て学べた	○	○	○	○	液化化は何かがよく分かった	○	○							
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートの素材	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	えきじょう化の実験	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートと装置を作ること	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	今日やった実験です。スタッフのみなさんが、わかりやすく、やさしく教えてくださり、楽しくできました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	つくるのがよかったです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートをつくる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートをつくること	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートの作り方がわかったのでよかったです。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートを作る	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	聞いたりするだけでなく、じっさいにさわったりしたところ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	見て体験できたこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ペットボトルがおもしろかった	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工作ができたこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実験の説明	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実験ができること。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	コンクリートの種類があること。一その実験	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	しみ(液化化)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	液化化がわかったところ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計	54	33	#	#	#	#	#	#	#	35	#	7	2	#	#	#	4			

# 土木学会「夏休み親子見学会」

見学現場：「広島新交通1号線新白島駅(仮称)建設工事」

開催日時：

平成26年7月26日(土)

①11時～12時②13時～14時③15時～16時

集合場所：広島市中央公民館

参加者  
募集！

参加無料

近くでみると  
発見がいっぱい！

たくさんの人が  
働いているんだ！

白島にできるアストラムラインの  
新駅の工事現場をのぞいてみよう！

普段は見ることのできない工事現場や最先端の技術を見学して  
土木について考えてみよう！

《応募資格》小学3年生以上の親子各10組 ①11時～12時②13時～14時③15時～16時 先着順(保護者可)

《応募要領》はがきかFAXにて、1.参加者親子氏名 2.学校 3.学年 4.親子の年齢  
5.郵便番号・住所 6.電話番号・FAX番号 7.メールアドレス(あれば) 8.参加希望時間

※①②③は全て  
同じ内容です。

(①11時～12時②13時～14時③15時～16時)第1希望時間、第2希望時間を書いて、  
下記土木学会中国支部へご応募ください。ご希望の参加時間に添えない場合は、ご了解ください。  
参加者には、はがきでご案内いたします。定員になりましたらHPでお知らせいたします。

《注意事項》参加者はズボン、運動靴、汚れてもよい服装、水筒を持参。公共交通機関で集合。

《主催》公益社団法人土木学会中国支部

《共催》一般社団法人日本建設業連合会中国支部 【荒天中止】

《後援》広島市・広島市教育委員会

《協力》フジタ・栗本建設工事共同企業体(工事施工者)

《お問合せ先・応募先》公益社団法人土木学会中国支部

〒730-0011 広島市中区基町10-3広島県自治会館3F

電話(082)222-2376 FAX(082)222-2496 e-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp



土木学会『夏休み親子現場見学会』（広島新交通1号線新白島駅（仮称）建設工事）〈写真〉



土木学会中国支部「夏休み親子見学会」アンケート 平成26年7月26日実施 見学現場：「広島新交通1号新白鳥駅(仮称)建設工事」  
 (土木学会中国支部実施) アンケート 結果集計(11時・13時・15時 3回実施) ※表記についてはアンケート記載(保護者 児童生徒が記載した内容)にそって記入した。

大人用

参加回	年齢	媒体 友人・知人から 学会HP その他	質問① 見学会に参加するまでの「土木」のイメージ					質問② 「土木」のイメージは、見学会後で変わりましたか。			質問③ ご感想をお聞かせください。	問6見学会について 参加した 参加しない	
			良い	普通	悪い	具体的に	変わった		具体的に				
							良くなった	悪くなった					
1	11時	40	○新聞	○				○			普段見ることができないところを見ることができてよかったです。暑い中で働かされている皆様おつかれさまです。		
2	11時	50	○新聞	○					○	暑い中、大変な仕事だと思った。	おおむねよかったです。できれば実際に作業している人と会話ができる子供にとってよいのではないかと思います。	○	
3	11時	38		○				○		駅の建設という普段見られない部分が見学出来て参考になった。	夏休みの宿題の参考にもなり、大変勉強になった。	○	
4	11時	59	○	○					○	時代の流れに応じた技術進歩はすばらしいと思われま	見学も暑かったが、その中で働いている人達のがんばりに感動しました。元気をいただきました。	○	
5	11時	39	○新聞	○				○		白鳥に住んでいるので、新駅の誕生は本当に助かります。暑い中、多くの作業の方により、完成していただくことがよく分かりました。	中に入れなかったのは残念ですが、工事の具体的な内容が説明により少しでも理解できました。	○	
6	11時	36	○新聞	○					○	新しいモノを大勢の方が一生懸命作っているさまが見えて良かった。	日頃見る事ができない場所を見ることができてよかった(あの状態だと中はさすがに難しいですね) 説明が子供には難しい部分があったのかなと。もう少し子供向けにかみ砕いたものであれば...	○	
7	13時	39	○日建連	○					○	このようなイメージアップは必要であり、今後も続けてほしい。	今後も参加したい。	○	
8	13時	42	○	○					○	良いと思うが変わらない	子供が電車が大ききなので、白鳥新駅の工事が一緒に見学出来て良かったです。	○	
9	13時	45	○新聞	○					○	個性のあるデザインが良い。	個性のあるデザインが良い。	完成前が見れて良かった。完成が楽しみです。	○
10	13時	46	○新聞	○					○			春の開業が楽しみになりました。	○
11	13時	55	○新聞	○					○	暑い中、着実に作業を進めていることに敬意を表します。	今後も「夏休み親子見学会」を続けてください。	○	
12	13時	44	○	○					○	色々な役割の担当の人がそれぞれ協力して工事していることが分かった。			○
13	13時	38	○	○					○	完成まではなかなか途中経過を見られないのに、作業途中が見られて良かった。とても充実したもので良かったです。			○
14	13時	41	○新聞	○					○			今回の見学会は、親1人、子1人で小学生3年生以上の応募のはずなのに、人数もバラバラで、子供も3年生以下の子供が参加しているのはなぜ？娘は参加したくても出来なくてあきらめたのに～	○
15	13時	40	○	○					○	大規模工事に携わっている人々の働いている姿がかっこよく映っていた。土木の仕事はすばらしいと思った。	今回のような子供参加型のイベントをもっと増やしてほしいと思っている。イベントの宣伝が弱いと思う。小学校や中学校へチラシや説明会等をするなど土木のコマーシャル、広報部門を強くしてほしい。	○	
16	15時	45	○	○					○	生活基盤のお仕事だとお聞きし、まさしくその通りだと思います。	普段見れない所を実際に子供と一緒に見れてとても勉強になり、あらためて土木の仕事の大切さを学びました。ありがとうございました。	○	
17	15時	76	○新聞	○					○	完成前の見学は子供達にとって良い。	良好(子供にとって...)ホームの一部を見学したかったです。	○	
18	15時	43	○新聞	○					○	整理・整頓がなされており、きれいな職場と感じました。	今しか見学することのできない工事現場を見学させていただきありがとうございました。子供にとっていい時間、財産になったと思います。暑い中大変と思いますが、がんばってください。	○	
19	15時	42	○新聞	○					○	詳しい説明を聞き、現場を間近で見させていただいたことで、工事と僕の建造物の意味がわかり、とてもためになりました。	すごく暑かったですが、普段は入れない区域に入って見る景色はとても興味深かったです。ありがとうございました。	○	
20	15時	51	○新聞	○					○	広く社会インフラを造っていることがわかった。	子供にとって非常に勉強になったと思います。		
21	15時	46	○新聞	○					○	工事中の見学はあまり聞いたことがないので、オープンにさせていただいたところが、イメージがもっとよくなりました。	各方面の方のお話も分かりやすかったですし、各園も子供にも分かりやすく、大人も楽しめました。普段何気なく通って目にしてきた工事現場がこれからは違った目で見る事ができそうです。また安全確保を第一に考えられていることが子供にもよく伝わったと思います。ありがとうございました。	○	
22	15時	39	○新聞	○					○			出来あがった後、建設中の物をみせてもらった思い出ができた。	
23	15時	47	○	○					○	暑い中でも仕事をしなくてはならないので大変だと思います。	現場の中が見たかったので残念。JR側の工事も見えた。普段は入れないところが見れたのでよかったです。	○	

合計 5 0 15 11 11 1  
 ※新聞...中国新聞14  
 日建連...1



土木学会中国支部「夏休み親子見学会」アンケート 平成26年7月26日実施 見学現場:「広島新交通1号新白鳥駅(仮称)建設工事」  
(土木学会中国支部実施) アンケート 結果集計(11時・13時・15時 3回実施)

※表記についてはアンケート記載(保護者 児童生徒が記載した内容)にそって記入した。

## 子ども用

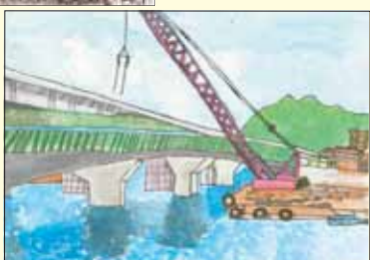
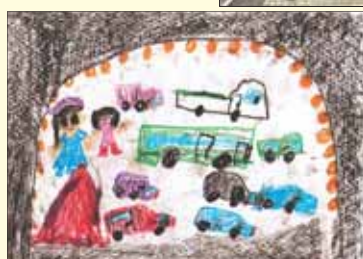
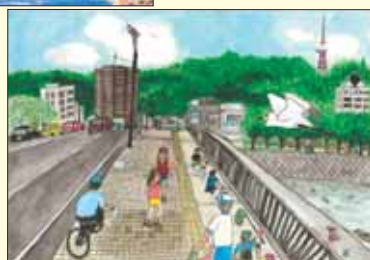
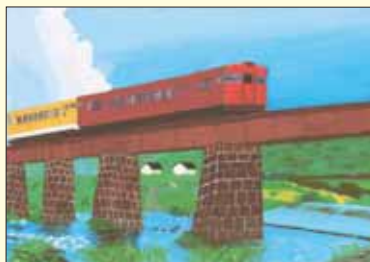
参加回	時間	学校名	学年	①「夏休み親子見学会」は楽しかったですか。		② またこのような見学会がありましたら参加してみたいですか。		③ 今回参加して初めて見た、知った、体験したことは何ですか。感想も書いてください。
				はい	いいえ	はい	いいえ	
1	11時	広島市立白鳥小	1	○		○		りっきょうのうえからこうじげんばをみることができうれしかった。
2	11時	広島市立早稲田小	3	○		○		初めて駅がつくってあるところを見てすごくおもしろかったです。工事をするのは、すごいと思いました。形など、高いところをつくるのはむずかしそうでした。帰るときには、形の部分の1まいが見れたのでよかったです。次の「夏休み親子見学会」も来たいです。いつできるか楽しみです。
3	11時	広島市立早稲田小	1	○		○		行ってみたらすごかったし、いつできるかたのしみです。おもしろかったです。
4	11時	広島市立中筋小	5	○		○		初めてアストラムの上を見た。白鳥新駅ができれば、通きらッシュの時間や交通がどうなるかが、楽しみ、エスカレーターが上り下り両方あるのにびっくりした。
5	11時	広島市立白鳥小	3	○		○		新しい駅ができればやくいってみたいです。どうゆう駅になるか楽しみです。設計図を見るとすごい駅で楽しみです。
6	11時	広島市立伴東小	2	○		○		アストラムのでん車がすごい早さではしているのがすごかった。
7	11時	広島市立伴東小	4	○		○		作業員の人は安全第一に仕事をしていることを知りました。また見学会があつたら来てみたいです。
8	11時	広島市立緑井小	2	○		○		初めて見たことはエジげん場でJRの電車とアストラムラインの電車がこうごに走っていくのがすごかったです。初めて体験したのは白鳥新えきのエジげん場に入れたことです。まず、えきのエジげん場に入れないからです。
9	13時	広島市立大芝小	3	○		○		はじめて体験したのは40人くらいの人がはたらいているのがはじめて知りました。あと、やねのいたは1000キログラムもあるのがすごいなと思いました。
10	13時	広島市立大芝小	3	○		○		出入口(オレンジのところ)の下にアストラムラインが通っていること。はたらく人が40人ぐらい。やねのはばが3mぐらい。一番上のかねのいたはやく、1000キログラムなこと。
11	13時	広島市立皆実小	5	○		○		作っていた人の人数は40人で意外と少ない人数だ。お金は10億2181万円でとてもお金がかかっていた。女性の20代の人が現場かんたくをしているのがすごいと思った。作業員の人は安全のためすごい服の工夫がしてあった。作業員の人の種類などがあつた。
12	13時	広島市立可部南小	5	○		○		地下の工事は初めて見た。
13	13時	広島市立宇品東小	5	○		○		ふだん見ないところから見て位置がちがうと、印象がちがったのでびっくりしました。とても楽しく、勉強になりました。駅のこうぞうも分かったし、どんな駅かも分かったのでよかったです。
14	13時	広島市立亀山小	4			○		質問1 ふつう。 質問3 アストラムラインがトンネルから出てくるしゅんかんを初めて見た。新しい駅を作っているところの近くに行ってみよう。
15	13時	広島市立亀山小	1	○		○		アストラムラインはでんきでうごくんですか？じしゃくでうごいてるんですか？
16	13時	広島市立矢野小	6	○		○		ただ単に作るのではなく、見ためなどにもはいいよしてすごいと思った。
17	13時	広島市立矢野小	2	○		○		
18	13時	広島市立白鳥小	5	○		○		作業現場を見れてよかった。
19	13時	広島市立白鳥小	3	○		○		(知ったこと)なんか一部だけの所にどろ水がたまるところがあつたこと。(かんそう)デザインが細かくてすごい。(イラストあり)
20	15時	安田小	6	○		○		上からアストラムラインをみると、上のアストラムラインの模様はこんな模様だったんだと知りました。私はいつもアストラムラインで学校に行っていますが、上から見てみたのは貴重な体験でした。今6年生なので来年晴、新白鳥駅に止まるかな？と思っています。来年も引き続き工事をがんばって下さい！
21	15時	広島市立安佐南中	3	○		○		①造っている、途中の駅を初めて見ました。 ②身近な土木図画コンクールのポスターを部室にもはって何人が興味をもっていたので部活(美術部)の人たちにも、コンクールの応募をすすめてみたいと思いました。最初で最後の体けんになるかも知れないおじいちゃんもこの体けんにさんかして良かったと言っていたので良かったです。
22	15時	広島市立梅林小	4	○		○		来年の春にかんせいするということ。いろんなこと(来なかつたら分らないこと)が分かってよかった。アストラムラインとアーチがいっしょにカメラで写せてよかった。
23	15時	広島学院中	1	○		○		昼夜関わらず、ずっと工事をしている事に驚いた。白鳥新駅がこれからどう完成していくのか見てみたいと思った。
24	15時	呉市立荏山田小	4	○		○		新駅のかんせい図をはじめて見た。
25	15時	広島市立伴小	5	○		○		近くで電車が見れたのでよかった。もっといろいろな所をけんがくしたい。JRのホームの所を見たい。
26	15時	海田町立海田南小	4	○		○		アストラムラインの駅のつくり方を初めてしりました。はたらいっている人がいっぱいいてびっくりしました。
27	15時	広島市立東浄小	4	○		○		白鳥新駅を工事している様子がすごくがんばっているつたわってきました。JRの駅と新えきが見えてとてもうれしかったです。
28	15時	広島市立白鳥小	4	○		○		安全ぐつはきけんをふせぐためのくつだけどはとどのような感じがするの？できたときはどんなものになるのか楽しみです。早く中に入ってみよう。

合計

27 0 27 1

# 第7回 身近な土木を描いてみよう! 図画コンクール

応募者全員  
に記念品を  
プレゼント!



平成25年度 第6回  
「身近な土木を描いてみよう!」  
図画コンクール優秀作品より

★課題★

くらしの中の身近な土木について描いてください。

★応募資格★

小学生・中学生・高校生(参加費無料)

★応募作品★

四つ切画用紙(54cm×38cm)、画材は油絵具以外自由で、ポスター作品でないもの、1人1点で共同製作でないもの、未発表のオリジナル作品

★応募方法★

作品の裏面に、必要事項を記入した作品応募券を貼って送付ください。  
応募券は土木学会中国支部のホームページからダウンロードできます。  
<http://committees.jsce.or.jp/chugoku/>

★募集締切★

2014年(平成26年)9月19日(金)【当日必着】

★各賞★

- ・優秀賞13件(賞状・副賞:作品を印刷した2015年カレンダー・展示)
- ・佳作50件(賞状・展示)

★参加賞★

参加賞として応募者全員にステキな記念品をさしあげます。

★審査・発表★

教育関係者を交えた土木学会中国支部図画コンクール審査会において、上記各賞を決定し、10月中旬までに各学校が応募券に記載された宛先へ通知します。

★展示・表彰★

2014年11月5日～19日まで広島市まちづくり市民交流プラザにおいて入賞作品の展示を行います。優秀賞者に対して展示期間中に、表彰式を実施します。

★注意事項★

応募作品の著作権・著作権は土木学会中国支部へ帰属し、応募作品は返却しません。入賞作品は展示会やカレンダーの印刷・ホームページ等において、学校名・学年・氏名を記載することがありますのでご了解ください。  
また、この事業で得た個人情報は本事業のために使い、土木学会中国支部が適正に管理し事業終了後に破棄します。

★主催★

公益社団法人 土木学会中国支部

★後援★

国土交通省中国地方整備局 広島県 広島市  
広島県教育委員会 広島市教育委員会  
福山市教育委員会 呉市教育委員会  
東広島市教育委員会 廿日市市教育委員会

★作品の応募先・お問合せ先★

〒730-0011  
広島市中区基町10-3 広島県自治会館3F  
土木学会中国支部図画コンクール係  
TEL(082)222-2376  
FAX(082)222-2496  
E-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

第7回「身近な土木を描いてみよう!」  
図画コンクール

2014 11 November

日	月	火	水	木	金	土
25	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2014年カレンダー

## どぼく 土木ってなあに?

どろろ てつどう こうわん くらこう かいがん がせん はし とんねる  
道路や鉄道・港湾・空港・海岸・河川・橋・トンネル・  
だむ でんきの の みず まいにち とぼく  
ダム・電気や飲み水など毎日のくらしに土木の  
ぎしゆつ やくだ さいがい かせ あんぜん まち  
技術が役立っています。災害を防ぎ安全な街を  
作るのも土木技術に支えられています。便利な  
だけじゃなく、山や川や海の生き物も守りたい!  
す まち とぼく やくめ  
住みよい街をつくるのが土木の役目です。

### ★身近な土木を描いてみよう! 図画コンクール作品応募券

題名				
フリガナ 氏名				
学校名 学年・組	学校	年	組	
住所	〒			
連絡先	電話( )	—		
	FAX( )	—		

## 第7回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール 審査会

日時:平成26年10月7日(火) 16:00～ 場所:広島市立段原小学校 体育館

目的	公益社団法人土木学会では、土木の日（11月18日）を中心に、身近な土木を理解し親しむための一環として、図画コンクールを実施し、次世代を担う子どもたちに「土木(社会資本整備)」を図画に描いてもらうことで、普段生活している場所、何気なく見ている物が土木技術に支えられていることの認識を少しでも感じて、土木(環境含む)に親しんでもらうきっかけづくりを主眼としています。
課題	鉄道や道路、トンネルや橋、それらを作るブルドーザーやダンプカー、空港や港や飲み水、電気も土木の技術が役立っております。災害を防ぎ安全な街をつくるのも土木技術に支えられています。便利だけではなく、山や川や海の生き物も守りながら、暮らしやすいまちづくりを作るのが土木の役目です。私たちの身近にある、暮らしの中の土木について描きます。
応募基準	①四つ切画用紙（54cm×38cm）②画材は油絵具以外自由 ③一人1点(合作不可) ④ポスター作品ではない、未発表の自身のオリジナル作品
選考対象となる土木分野の題材	①道路（高速道路・一般道路・トンネル） ②鉄道（新幹線・電車・駅舎・路面電車・アストラムライン） ③橋梁 ※優秀作品は、土木と建築の違いをはっきりさせる ④港・空港 ※内容物が重ならないよう配慮 ⑤ライフライン（電気：ダム・送電線／水道：浄水場／ガス：タンク） ⑥防災（護岸・防波堤・急傾斜地崩落法面工事・砂防ダム） ⑦街づくり（景観） ⑧選奨土木遺産(近代土木)※ ⑨工事現場・作業風景
案内数	広島県内のすべての小中高等学校(含特別支援学校)郵送案内 965校 広島市内の公民館郵送案内 71館 岡山県・山口県教育委員会はメールで案内
応募数	総数：94校979枚（小学校：69校662枚 中学校：21校312枚 高校：4校5枚）
選考数	①優秀作品：13点 ②佳作作品：50点（学年別の配分は別紙）
表彰	①表彰式：平成26年11月9日(日)11:00～広島市まちづくり交流プラザ 優秀作品13名：表彰状・副賞（優秀作品掲載の平成27年カレンダー）の授与 ②表彰状：優秀作品：13点、佳作作品：約50点（佳作は郵送）
展示	③作品展示：平成26年11月5日～19日 広島市まちづくり交流プラザ 優秀作品：13点、佳作作品：約50点
審査員	広島市小学校教育研究会図画工作部会長 広島市立井口小学校校長 中山 和一先生 広島県造形教育連盟会長 広島市小学校教育研究会図画工作部会 広島市立段原小学校校長 三上 玲子 先生 広島市中学校教育研究会美術部会長 広島市立五月が丘中学校校長 中島 健二先生 広島市小学校教育研究会図画工作部会 広島市立似島小学校校長 永瀬 哲治先生 広島市小学校教育研究会図画工作部会 広島市立三篠小学校校長 市川 博登先生 広島市小学校教育研究会図画工作部会 広島市立日浦小学校校長 宮本 眞弥子先生 広島大学大学院 准教授 塚井 誠人 呉工業高等専門学校 准教授 重松 尚久 国土交通省中国地方整備局 企画部 出路 康夫 南 正治 公益社団法人土木学会中国支部 増村 浩子

注) 選奨土木遺産：橋梁、トンネル、ダム、防波堤、発電所、灯台など私たちの生活を支えている土木構造物のうち、築造後50年以上が経過し、技術的にも歴史的にも価値のあるもの。  
土木学会では平成12年度より、これらの土木遺産の中から毎年全国で20件程度を「選奨土木遺産」として認定しています。

## H26年度 図画コンクール 学校別集計表

応募総数:979枚

小学校69校

662枚

中学校21校

312枚

	学校名・個人名	枚数	
広島 37	広島市立井口台小学校	1	
	広島市立翠町小学校	19	
	広島市立春日野小学校	45	
	広島市立東野小学校	42	
	広島市立広瀬小	3	
	広島市立原南小学校	8	
	広島市立宇品東小学校	22	
	広島市立白島小学校	1	
	広島市立亀崎小学校	3	
	広島市立吉島小学校	2	
	広島市立伴東小学校	12	
	広島市立観音小学校	17	
	広島市立五日市小学校	51	
	広島市立山本小学校	58	
	広島市立古田台小学校	32	
	広島市立井口小学校	83	
	広島市立己斐上小学校	4	
	広島市立比治山小学校	27	
	広島市立安北小学校	25	
	広島市立倉掛小学校	1	
	広島市立温品小学校	9	
	広島市立段原小学校	12	
	広島市立落合小学校	6	
	広島市立久地小学校	3	
	広島市立五日市中央小学	11	
	広島市立牛田小学校	11	
	広島市立大林小学校	1	
	広島市立安西小学校	3	
	広島市立飯室小学校	6	
	広島市立安小学校	1	
	広島市立福木小学校	31	
	広島市立早稲田小学校	9	
	広島市立原小学校	2	
	広島市立可部南小学校	1	
	広島大学附属小学校	1	
	三育小学校	2	
	なぎさ公園小学校	1	
	海田町1	海田町立海田西小学校	4
	熊野町1	熊野町立熊野第2小学校	1
	東広島3	東広島市立三ツ城小学校	8
		東広島市立平岩小学校	6
		東広島市立高屋東小学校	3
	江田島1	江田島市立切串小学校	1
	呉7	呉市立内海小学校	3
		呉市立昭和南小学校	2
		呉市立和庄小学校	8
		呉市立明立小学校	1
		呉市立川尻小学校	2
		呉市立昭和北小学校	5
		呉市立阿賀小学校	1

	学校名・個人名	枚数
広島市8	広島市立亀崎中学校	37
	広島市立早稲田中学校	18
	広島市立安佐中学校	8
	広島市立五日市南中学校	1
	広島市立亀山中学校	1
	広島市立可部中学校	29
	安田女子中学校	1
	広島城北中学校	1
東広島1	東広島市立福富中学校	1
府中町1	府中町立府中緑ヶ丘中学校	117
呉市1	広島県立広島南特別支援学校	4
福山1	福山市立神辺西中学校	1
三次1	三次市立三次中学校	17
庄原1	広島県庄原特別支援学校	7
山陽小野田1	山口県山陽小野田市立高	1
下松2	下松市立下松中学校	3
	下松市立末武中学校	11
岩国2	岩国市立周東中学校	2
	岩国市立灘中学校	35
周防大島1	周防大島町立安下庄中学	13
岡山笠岡1	笠岡市立新吉中学校	4
		312

## 高校4校

	学校名・個人名	枚数
府中町1	広島県立安芸府中高校	2
海田町1	広島県立熊野高等学校	1
広島1	広島県立広島国泰寺高等	1
庄原1	広島県庄原特別支援学校	1
		5

## 小学校続き

三原1	三原市立三原小学校	4
尾道2	尾道市立瀬戸田小学校	1
	尾道市立久保小学校	3
三次3	三次市立君田小学校	1
	三次市立布野小学校	5
	三次市立仁賀小学校	1
庄原4	庄原市立永末小学校	1
	庄原市立総領小学校	3
	庄原市立東城小学校	3
	広島県庄原特別支援学校	3
安芸高田1	安芸高田市立小田小学校	3
安芸太田2	安芸太田町立殿賀小学校	1
	安芸太田町立加計小学校	3
山口防府2	山口県防府市立佐波小学	7
	山口県防府市立富海小学	1
山口美祢1	美祢市立綾木小学校	2
山口周南1	周南市立遠石小学校	4
岡山備前1	備前市立片山小学校	2
岡山津山1	津山市立誠道小学校	3
		611

# ～今、女性が語る 生活を支え 文化を築く土木～

土木建設業界で活躍されている女性技術者が、一般に男性社会とされている土木建設のことについて、私たちの生活に身近で密着した仕事であることややりがいを中心に、女性や子どもたちにもわかりやすくお話しします。

土木建設に興味や関心をもっていただき、将来の担い手として活躍していませんか。

## 10月25日 土

午後1時～午後5時

会場／県民ふれあい会館



※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

開 会(13:00)

講 演(13:10～14:10)

### くらしを支える、まちをつくる ～土木の話～

一般社団法人 土木技術者女性の会 西日本支部長 村上 育子氏  
西日本副支部長 古谷 祥恵氏

報 告(14:10～15:20)

### ドボジョの日々!～女子力が現場を支える～

一般社団法人 土木技術者女性の会 大成建設株式会社 広野 彩氏

### 現場は楽しい～自分らしく働くということ～

一般社団法人 鳥取県土木施工管理技士会 株式会社大山緑化建設 阿部 香織氏

### 未来のT&IコンテストI(アイデア)部門優秀賞「未来のふくごうどうろ」

倉吉市立小鴨小学校 2年 山田 桐哉さん

パネルディスカッション(15:30～16:50)

### 女性・若者の就労に向けて

#### ◎パネリスト

(一社)土木技術者女性の会 大成建設株式会社	広 野 彩 氏
(一社)鳥取県土木施工管理技士会 株式会社大山緑化建設	阿 部 香 織 氏
(一社)鳥取県測量設計業協会 アイコンヤマト株式会社	池 谷 有 希 氏
BSS山陰放送テレビ制作部	森 広 智恵子氏
鳥取県中部総合事務所県土整備局	向 井 かおり氏

◎コーディネーター 鳥取県地域振興部 男女共同参画推進課長 小林 加代子氏

#### 展示・催し

■平成25年度優良工事写真展／鳥取県 ■選奨土木遺産写真展／(公社)土木学会  
■「魅力ある建設業」写真展／鳥取県建設業青年部交流会 ■土木クイズ・防災スゴロク／鳥取県

お問い合わせ／鳥取県県土整備部技術企画課

TEL 0857-26-7499 FAX 0857-26-8189

<http://www.pref.tottori.lg.jp/gijyutsukikaku/>

# 土木が未来を支える

土木イメージアップシンポジウム

輝く女性活躍加速化とっとり会議協賛

とっとり県民カレッジ連携講座

入場無料

申込不要

手話通訳あり

[主 催]



公益社団法人土木学会中国支部

[後 援]

輝く女性活躍加速化とっとり会議  
鳥取労働局  
一般社団法人鳥取県建設業協会  
一般社団法人鳥取県土木施工管理技士会  
一般社団法人鳥取県測量設計業協会  
一般社団法人鳥取県造園建設業協会

シンポジウム終了後、鳥取駅前  
パードハットにおいて、ミニコン  
サート・「土木カフェ」を行います。  
どうぞお立ち寄りください。

☆土木カフェとは、土木に関する話題と社  
会との間の「新しい気づき」を提案し、交  
流しようとするものです。

# 講師・パネリスト紹介



**村上 育子氏**

(一社) 土木技術者女性の会西日本支部長

大学では、土木工学を専攻。就職は「ものづくり」に携わりたくゼネコンを志望し、1993年に鹿島建設㈱入社。

大阪府内で公共工事を中心とする4現場を経験し、監理技術者も勤める。現在、国土交通省発注の和歌山県内の紀北西道路雄ノ山高架橋上下部工事(京奈和自動車道の一区間)の現場に従事。



**古谷 祥恵氏**

(一社) 土木技術者女性の会西日本副支部長

大学では、土木工学を専攻、1992年清水建設㈱入社。現場勤務を含む社内土木部門の業務を広く経験し、現在は、管理部門で、営業支援や受注管理全般を担当。



**広野 彩氏**

(一社) 土木技術者女性の会会員

大学では、都市環境工学科(土木工学科)を専攻。大学3回生の時に経験したインターンシップが、ゼネコン就職の決め手となる。2008年に大成建設㈱に入社。

公共工事、民間工事ともに経験し、様々な工種に携わる。現在、民間工場の土木の現場に従事。



**阿部 香織氏**

(一社) 鳥取県土木施工管理技士会

大学では造園学科(緑地工学コース)を専攻。自然に学び、自然と共生することに魅力を感じ、2000年(株)大山緑化建設入社。現在、主に公共工事の法面工事に携わり、県道の法面工事の主任技術者として従事。



**池谷 有希氏**

(一社) 鳥取県測量設計業協会

大学卒業後、鳥取市にあるアイコンヤマト㈱に入社。コンサルタント業務に携わり、鳥取県東部地区を中心に、河川・砂防事業など公共事業の土木設計業務を担当。

現在、3児の母として、仕事と家庭を両立し、業務に従事。



**森広 智恵子氏**

BSS山陰放送テレビ制作部ディレクター

大学卒業後、(株)山陰放送に入社。営業部門を経験後、3年前からテレビ制作部に勤務。

「ぐっジョブ!」のほか「ミニミニ告知板」などの営業販促番組を担当。現在、高校生と中学生の3児の母として、仕事と家庭を両立し、業務に従事。

## 「ミニコンサート」・「土木カフェ」のご案内

シンポジウム終了後、鳥取駅前「バードハット」において、土木技術者がメンバーのクラシックギター合奏団「一音会」によるミニコンサート、また土木に関する話題について新しい気づきを提案する「土木カフェ」を開催します。是非、こちらにもどうぞ!

### プログラム

ミニコンサート — 17:15~17:45      土木カフェ — 18:00~20:00

出演: 一音会アンサンブルベアーズ  
(会長/足立正文氏)

主宰者 / 高橋良和(京都大学准教授)  
話題提供者 / 萩原雅紀氏  
話題 / はじめてのダムマニア

## 「土木遺産ツアー」のご案内

鳥取県内の土木遺産や普段見ることのできない施設を巡るツアーです。土木構造物の役割を知ったり、歴史を訪ねる絶好の機会です。どうぞご参加ください!

行程▶10月26日(日)

9:00 鳥取駅南口 集合  
~安長土手・美歎水源地~

12:00 鳥取駅南口 解散

○参加費/無料

○申込方法/はがき又はファクシミリに下記事項を記載の上、お申込みください。

①参加者氏名(フリガナ) ②年齢(保険加入のため) ③郵便番号・住所

④電話番号・ファクシミリ(メールアドレスもあればお願いします)

先着順

当日参加不可

\*1週間前に集合場所等を記載した参加券をお送りします。 \*お申込時に記載していただいた個人情報は、保険加入及び参加券発送以外の目的には使用いたしません。

申込先

〒730-0011 広島市中区基町10-3 広島県自治会館3F  
公益社団法人 土木学会中国支部「土木遺産ツアー」係  
問合せ先/TEL.082-222-2376 FAX.082-222-2496

( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県

事業等の名称	土木イメージアップシンポジウム
1. 実施時期	平成26年10月25日
2. 実施場所	鳥取県立生涯学習センター「県民ふれあい会館」
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	約200～300名を想定
4. 共催・単独等の状況	鳥取県、(公社)土木学会
5. 事業等の内容	女性技術者から土木の魅力、やりがいについての講演、報告 「女性・若者の就労に向けて」と題して、女性技術者及びマスコミをパネリストとし討議
6. 期待される効果	土木のイメージの改善を図り、女性、若者が土木への就労 女性（母親）の意識変化による子供の就職の選択肢として期待
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	対象者（女性・若者）の出席 男女共同参画の取組に組み込み、女性（子供）の参加を促す。
8. その他	

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

土木イメージアップシンポジウム

# 土木が未来を支える (仮称)

～今、女性が語る 生活を支え 文化を築く土木～

土木建設業界で活躍されている女性技術者が、一般に男性社会とされている土木建設のことについて、私たちの生活に身近で密着した仕事であることややりがいを中心に、女性や子どもたちにもわかりやすくお話します。土木建設に興味や関心をもっていただき、将来の担い手として活躍してみませんか。

## 講演

くらしを支える、まちをつくる～土木の話～

一般社団法人 土木技術者女性の会  
西日本支部長 村上 育子氏  
西日本副支部長 古谷 祥恵氏

10月25日(土)

午後1時～午後5時

会場：県民ふれあい会館

入場無料、申込不要

## 報告

ドボジョの日々！～女子力が現場を支える～

一般社団法人 土木技術者女性の会  
大成建設株式会社 広野 彩氏

現場は楽しい～自分らしく働くということ～

一般社団法人 鳥取県土木施工管理技士会  
株式会社大山緑化建設 阿部 香織氏

パネルディスカッション

女性・若者の就労に向けて

(パネリスト)

(一社)土木技術者女性の会  
大成建設株式会社 広野 彩氏  
(一社)鳥取県西部土木施工管理技士会  
株式会社大山緑化建設 阿部 香織氏  
(一社)鳥取県測量設計業協会  
アイコンヤマト株式会社 池谷 有希氏  
株式会社山陰放送 森広 知恵子氏  
鳥取県中部総合事務所 向井 かおり

(コーディネーター)

鳥取県地域振興部  
男女共同参画推進課長 小林 加代子

展示・催し

平成25年度優良工事写真展 鳥取県  
選奨土木遺産写真展 (公社)土木学会  
「魅力ある建設業」写真展  
鳥取県建設業青年部交流会  
土木クイズ・防災スゴロク 鳥取県



主催  
鳥取県  
公益社団法人土木学会中国支部  
後援  
一般社団法人鳥取県建設業協会  
一般社団法人鳥取県土木施工管理技士会  
一般社団法人鳥取県測量設計業協会  
一般社団法人鳥取県造園建設業協会



シンポジウム終了後、鳥取駅前バードハットにおいて、ミニコンサート・「土木カフェ」を行います。どうぞお立ち寄りください。

土木カフェとは、土木に関する話題と社会との間の「新しい気付き」を提案し、交流しようとするものです。

お問い合わせ

鳥取県県土整備部技術企画課

電話 0857-26-7499

ファクシミリ 0857-26-8189

<http://www.pref.tottori.lg.jp/gijyutsukaku/>



## 【講師・パネリスト紹介】



村上 育子 氏

(一社)土木技術者女性の会  
西日本支部長。  
大学では、土木工学を専攻。就職は「ものづくり」に携わりたくゼネコンを志望し、1993年に鹿島建設(株)入社。

大阪府内で公共工事を中心とする4現場を経験し、監理技術者も勤める。現在、国土交通省発注の和歌山県内の紀北西道路雄ノ山高架橋上下部工事(京奈和自動車道の一区間)の現場に従事。



古谷 祥恵 氏

(一社)土木技術者女性の会  
西日本副支部長。  
大学では、土木工学を専攻、1992年清水建設(株)入社。  
現場勤務を含む社内土木部門の業務を広く経験され、現在は、管理部門で、営業支援や受注管理全般を担当。



広野 彩 氏

(一社)土木技術者女性の会会員。  
大学では都市環境工学科(土木工学科)を専攻。大学3年生の時に経験したインターンシップが、ゼネコン就職の決め手となる。200

8年に大成建設(株)に入社。  
公共工事、民間工事ともに経験し、様々な工種に携わる。現在、民間工場の土木の現場に従事。



阿部 香織 氏

(一社)鳥取県土木施工管理  
技士会

大学では造園学科(緑地工学コース)を専攻。自然に学び、自然と共生することに魅力を感じ、2000年(株)大山緑化建設入社。現在、主に公共工事の法面工事に携わり、県道の法面工事の主任技術者として従事。



池谷 有希 氏

(一社)鳥取県測量設計業協会  
大学卒業後、鳥取市にあるアイ  
ヤマト(株)に入社。

コンサルタント業務に携わり、鳥取県東部地区を中心に、河川・砂防事業など公共事業の土木設計業務を担当。現在、3児の母として、仕事と家庭を両立し、業務に従事。



森広 智恵子 氏

山海放送(株)番組製作担当

## 「ミニコンサート」・「土木カフェ」のご案内

シンポジウム終了後、鳥取駅前「バードハット」において、土木技術者がメンバーのクラシックギター合奏団「一音会」によるミニコンサート、また土木に関する話題について新しい気づきを提案する「土木カフェ」を開催します。是非、こちらにもどうぞ！！

## プログラム

17:15～17:45 ミニコンサート

出演：一音会 アンサンブルペアーズ(会長：足立 正文氏)

18:00～20:00 土木カフェ

主宰者：高橋 良和 京都大学准教授

話題提供者：萩原 雅紀 氏

話題：はじめてのダムマニア

## 「土木遺産ツアー」のご案内

鳥取県内の土木遺産や普段見ることのできない施設を巡るツアーです。土木構造物の役割を知ったり、歴史を訪ねる絶好の機会です。どうぞご参加ください！

----- 行 程 -----

10月26日(日) 9:00 鳥取駅南 集合  
～安長土手・美敷水源地～  
12:00 鳥取駅南 解散

参加費：無料

申込方法：.....

(詳細未定につき、変更の場合あり)

主催・問い合わせ先

公益社団法人 土木学会中国支部 電話082-222-2376

( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	魅力ある建設業写真展
<p>1. 実施時期 8/1～9/30 応募期間 10/25 写真展（鳥取県、土木学会主催のシンポジウム会場）</p> <p>2. 実施場所 応募：発注者（国交省、県）の各事務所、建設業協会各支部へチラシ配布。</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 国交省、鳥取県、建設業協会員の職員、鳥取大学生、一般の方の応募があり、64枚の作品が集まった。</p> <p>4. 共催・単独等の状況 主催：鳥取県建設業青年部交流 後援：国土交通省各事務所、鳥取県、鳥取県建設業協会</p> <p>5. 事業等の内容 建設業で働く人々の「いきいきとした姿」「真剣な姿」「活躍する女性の姿」などの魅力ある写真を募集し、写真展を開くという内容。</p> <p>6. 期待される効果 建設業への就職希望者の増加。 高校生、大学生とその保護者へのイメージアップ。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 テーマが働く人ということで、一般の方は現場に入れず参加しにくい。 作品の応募が思ったよりも少なかった。</p> <p>8. その他</p>	

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

島根県 土木部 土木総務課

事業等の名称	①建設産業魅力発信等研究会の設置
--------	------------------

## 1. 背景

- 近年の公共投資の大幅な減少を背景に、技能労働者を取り巻く労働環境が悪化し、技能労働者の高齢化、若年入職者の減少等の問題が顕在化。
- 特に若年入職者の減少は、熟練工から若年労働者への技術継承が進まず、将来的な建設業の存続が危惧される。
- 若者が建設業への就職を避ける理由としては、給与水準の低さや労働時間の長さに加え、いわゆる「3K」に象徴される建設業に対する負のイメージが大きな要因の1つ。

## 2. 目的

○建設業の魅力発信と若年労働者の入職・定着に向けた取組を業界と行政が対等な立場で検討する。

## (1) 建設産業の魅力発信・イメージアップに向けた取組

例：県の広報媒体、ソーシャルメディア等を活用した魅力発信

## (2) 若年労働者の入職・定着に向けた取組

例：「地域人づくり事業」を活用した雇用拡大と処遇改善の取組

## 3. 構成員

- ・県内建設企業の若手経営者
- ・県土木部の若手技術者
- ・必要に応じて、専門的知見又は経験のある者、その他の関係者を招請

## 4. 実施スケジュール

5月 研究会の発足

6月～8月 取組内容の検討

9月～ 実行可能な取組から順次展開

※資料：別紙1 「建設産業魅力発信等研究会 中間とりまとめ」

平成26年8月28日

## 建設産業魅力発信等研究会 中間取りまとめ

島根県は、建設産業の魅力発信と若年者の入職・定着に向けた取組を業界と行政が対等な立場で検討し、建設産業の担い手の確保・育成に向けた施策に反映するため、県内建設企業若手経営者と県土木部若手技術者等で構成する「建設産業魅力発信等研究会」を設置した。

本研究会では、第1回（5月28日）、第2回（6月19日）、第3回（7月15日）、第4回（8月18日）、第5回（8月27日）に渡る議論の成果を踏まえ、関係者が取り組むべき課題と対策を下記のとおり取りまとめ、提言を行う。

### 記

#### 1. 現状と課題

- 近年の公共事業の急激な減少により、建設産業の経営環境は悪化し、離職者の増加、若年入職者の減少、技能労働者の高齢化といった構造的な問題が顕在化している。
- 特に、若年技能労働者の減少は、熟練工から若年技能労働者への技能継承が進まず、将来的な建設産業の存続が危惧されている。
- 若者が建設産業への就職を避ける理由には、給与水準の低さや労働時間の長さに加え、「3K」に象徴される建設産業に対する負のイメージが大きな要因と言われている。
- 今後も建設産業が地域の経済と雇用を支える重要な役割を維持していくためには、建設業界関係者と行政機関が一丸となり、建設産業の魅力と「若年者を大事に育てる業界」であるというメッセージをしっかりと伝えていく必要がある。
- なお、建設産業が安定・継続した雇用を実現していくためには、公共事業予算の安定的・持続的な確保並びに適正な利潤を確保できる予定価格の設定が必要である。

#### 2. 基本的考え方

若年者の入職・定着を促進するため、①建設産業の魅力発信・イメージアップ、②若年者の処遇改善、③若年者の早期活躍の推進、④若者や女性が活躍できる職場環境づくりに、建設業界と行政が一丸となって取り組む必要がある。

#### 3. 実施すべき取組

若年者の入職・定着を促進するため、今後、建設業界と行政が一丸となって実施すべき取組を、次の4つのテーマについて、それぞれ具体的に提示する。

##### (1) 建設産業の魅力発信・イメージアップ

- ①県の広報媒体や業界団体のホームページ、フェイスブック（Facebook）等ソーシャルメディアを活用した建設産業の役割や魅力の戦略的広報
- ②現場見学会や出前講座、インターンシップの実施による建設産業の理解・体験機会の提供
- ③中学・高校・専門学校・大学など学校関係者との定期的な意見交換会の開催
- ④県内及び県外での合同就職説明会の開催による建設産業への理解の醸成と求人求職のミスマッチの解消
- ⑤若者や女性にとって魅力的で、現場での視認性が高いユニフォームの導入
- ⑥災害対応等の映像を、新聞やテレビなどマスメディアに積極的に情報提供
- ⑦農業や福祉、環境分野への進出など、地域経済の活性化に取り組む姿をアピール
- ⑧戦略的広報に関する全国的組織との建設的な連携

##### (2) 若年者の処遇改善

- ①若年層の賃金水準の引き上げ
- ②社会保険加入の徹底
- ③週休2日制の実現、土日閉所の促進

**(3) 若年者の早期活躍の推進**

- ①若年者の資格取得支援（資格取得支援講座の開催など）
- ②若手技術者の早期登用（技術者配置要件の見直しなど）
- ③キャリアパスの提示（入職後の経験年数に応じた職位・責任・技能、資格取得など、キャリアアップの道筋や基準・条件の明確化）
- ④職業訓練施設、専門学校、高等教育機関等と連携した教育訓練システムの構築

**(4) 女性が活躍できる職場環境づくり**

- ①女性を活かせる職種の掘り起こし
- ②女性技術者の積極的な配置と管理職への登用
- ③週休2日制の実現、土日閉所の促進〔再掲〕
- ④各種休暇制度の充実と積極的な運用
- ⑤トイレ、更衣室、託児所などの職場環境の整備
- ⑥女性の活躍の発信（広報誌の女性特集、「女子会」活動の支援など）

**4. 速やかに実施すべき取組**

速やかに実施すべき（実施可能な）取組として、以下の取組を提示する。

- (1) フェイスブック（Facebook）の立ち上げによる建設産業の魅力の継続発信
  - ・時期：平成26年9月
  - ・実施主体：建設産業魅力発信等研究会
  - ・キーワード：「現場」「かつこいい」「感動」「共感」「誇り」
- (2) 県政テレビ番組「もっと×もっとしまね」を活用した建設産業の魅力発信
  - ・時期：平成26年9月
  - ・実施主体：島根県土木部
  - ・テーマ：『建設現場で活躍する若い力』
- (3) 「地域人づくり事業」（厚生労働省）を活用した雇用拡大と処遇改善の事業
  - ・時期：平成26年9月～平成27年度
  - ・実施主体：島根県建設業協会ほか
  - ・事業内容：合同就職説明会、資格取得支援講習会、新分野の販路拡大

**5. 推進体制**

- 各取組の実施に当たっては、建設業界関係者並びに行政（教育）機関の理解と協力が不可欠であることから、建設業団体並びに行政（教育）機関の関係者等で構成される「島根県建設産業人材確保・育成推進協議会」を通じて、建設業団体と行政（教育）機関のコンセンサスを形成しながら推進していく必要がある。
- また、各取組を具体化し、機動的に実行していくためには、実務者レベルのワーキンググループを設置するなど、推進体制を強化する必要がある。

**6. 研究会の今後のあり方**

- フェイスブック（Facebook）による建設産業の魅力を継続的に発信する体制を構築する。
- 中間取りまとめで提言した取組の進捗状況と施策への反映状況をフォローしていく。
- 今後の人材確保・育成の動向を注視し、建設産業の魅力発信、若年者の処遇改善と早期活躍、女性が活躍できる職場環境づくりについて、必要な調査・研究を継続する。

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

島根県 土木部 土木総務課

事業等の名称

②建設産業の魅力発信・イメージアップに向けた広報

## 1. Facebook ページの開設

- ・ 名 称：『ご縁の国しまねの建設』
- ・ 開設日：9月17日（水）
- ・ 運営者：建設産業魅力発信等研究会
- ・ 内 容：建設現場や施工技術、現場見学会など、建設産業の役割やそこで働く人々の魅力を映像とコメントで迅速かつ継続的に発信する。
- ・ URL：<https://www.facebook.com/shimane.no.kensetsu>



## 2. 県政広報番組の放送

- ・ 番組名：TSK「情報広場 もっと×もっとしまね」
- ・ 放映日：9月24日（水）9:54～10:00
- ・ テーマ：『建設現場で活躍する若い力』
- ・ 内 容：県内の建設現場で活躍する若者取材し、大きなものづくりに挑む姿を紹介
- ・ URL：<http://www.tsk-tv.com/?m=mottolist>（過去の放送分を公開中）

## 3. イメージアップカレンダーの発行

- ・ 名 称：『建設産業イメージアップカレンダー2015』
- ・ 発行日：10月1日（水）
- ・ 制作者：しまね建設産業イメージアップ女子会
- ・ 発行者：建設興業タイムス社（松江市）
- ・ 内 容：建設企業で働く女性技術者をモデルに、「土木女子」の魅力を紹介  
※資料：別紙2「建設産業イメージアップカレンダー2015」チラシ

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

島根県 土木部 土木総務課

事業等の名称	③「地域人づくり事業」を活用した雇用拡大と処遇改善
--------	---------------------------

## 1. 県内及び県外での合同就職説明会の開催【雇用拡大プロセス】

## (1) 事業内容

## ア. 県内での合同就職説明会

失業者等を対象とする合同就職説明会を県の東部、西部の2箇所で開催（各会場2日間）することにより、求人・求職のミスマッチの解消と県内建設業への入職の促進を図る。

- ・内容：県内建設業紹介冊子の配布、プロモーションビデオの放映、個別就職相談

## イ. 県外での合同就職説明会

島根県へのU I ターンを希望する失業者等を対象とする就職相談会を東京都内で開催（2日間）することにより、県内建設業への就職の促進を図る。

- ・内容：県内での合同就職説明会に同じ

## (2) 実施団体

（一社）島根県建設業協会

## (3) 実施期間

平成26年度、平成27年度

## (4) 実施場所

ア. 松江市、浜田市

イ. 東京都内

## (5) 雇用創出目標

20人

## 2. 若年技術者等資格取得支援講習会の開催【処遇改善プロセス】

## (1) 事業内容

将来の担い手である若手技術者の育成、定着、処遇の改善（賃上げ等）を図るため、県の東部、西部の2箇所で開催する。

## ア. 受講対象者

県内建設企業に勤める常勤従業員で、平成26年9月30日時点で29歳以下の者

## イ. 講習対象資格

2級土木施工管理技士、2級建築施工管理技士、2級建設機械施工技士

ウ. 講習生を参加させる建設企業は、処遇改善の目標値（賃上げ率又は定着率）を記した「処遇改善計画」を作成し、実施団体の審査を受けること。

- (2) 実施団体
  - (一社) 島根県建設業協会
- (3) 実施期間
  - 平成 26 年度、平成 27 年度
- (4) 実施場所
  - 松江市、浜田市
- (5) 処遇改善目標
  - 2%の賃上げまたは10%の定着率アップ

### 3. 建設産業新分野進出販路拡大事業【処遇改善プロセス】

- (1) 事業内容
  - 建設企業グループが取り組む新分野進出事業の販路拡大のために、大型見本市・商談会に出展する取組を支援する。
  - ・見本市の名称：健康博覧会 2015（オーガニック&ナチュラルプロダクツ展）
  - ・会場：東京ビックサイト（東京都江東区有明）
  - ・会期：平成 27 年 3 月 11 日（水）～ 13 日（金）
- (2) 実施団体
  - 奥出雲エゴマの会（生産者、建設企業、愛好者による団体）
- (3) 処遇改善目標
  - 3%の賃上げ



( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人島根県建設業協会

事業等の名称	高校生の現場見学会
<p>1. 実施時期 毎年9月～12月</p> <p>2. 実施場所 島根県内工事現場（土木・建築工事現場）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 島根県内産業高校（建設系学科）6校 平成25年度 生徒 175名（1年134名 2年36名 3年5名） 教師 14名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独</p> <p>5. 事業等の内容 平成3年度より県内産業高校生の現場見学会を開催。 終了後には今後の進路に関するアンケート調査を行っている。</p> <p>6. 期待される効果 建設業に関する関心と学習意欲の向上</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 効果を高めるため、現場を見るだけでなく、生徒が測量や重機試乗など体験できる場の提供やアイデアを模索している。</p> <p>8. その他 特になし</p>	

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

# 島建 会報

2014 Vol.130



**雇用改善特集号**  
高校生の現場見学会

一般社団法人 島根県建設業協会

松江市西嫁島1丁目3番17-101号 TEL 0852(21)9004 FAX 0852(31)2166

平成26年3月1日発行

# 高校生の 現場見学会 contents

## 3 松江工業 (建築都市工学科 2年)

- ①山陰自動車道 朝山・大田道路 (波根川橋下部工事／波根地区改良工事)
- ②出雲工業高校 教室棟・管理特別教室棟新築工事

## 6 松江農林 (環境土木科 1年)

- ①山陰自動車道 朝山・大田道路 (波根川橋下部工事／波根地区改良工事)
- ②日本庭園 由志園

## 10 出雲工業 (建築科 1年)

- ①県庁耐震化工事
- ②出雲工業高校 教室棟・管理特別教室棟新築工事

## 15 出雲農林 (環境科学科 1年)

- ①山陰自動車道 朝山・大田道路 (波根川橋下部工事／波根地区改良工事)
- ②日本庭園 由志園

## 18 江津工業 (建築科 1年)

- ①大田市消防本部庁舎 新築工事
- ②出雲工業高校 教室棟・管理特別教室棟新築工事

## 25 益田翔陽 (生物環境工学科環境土木コース 3年)

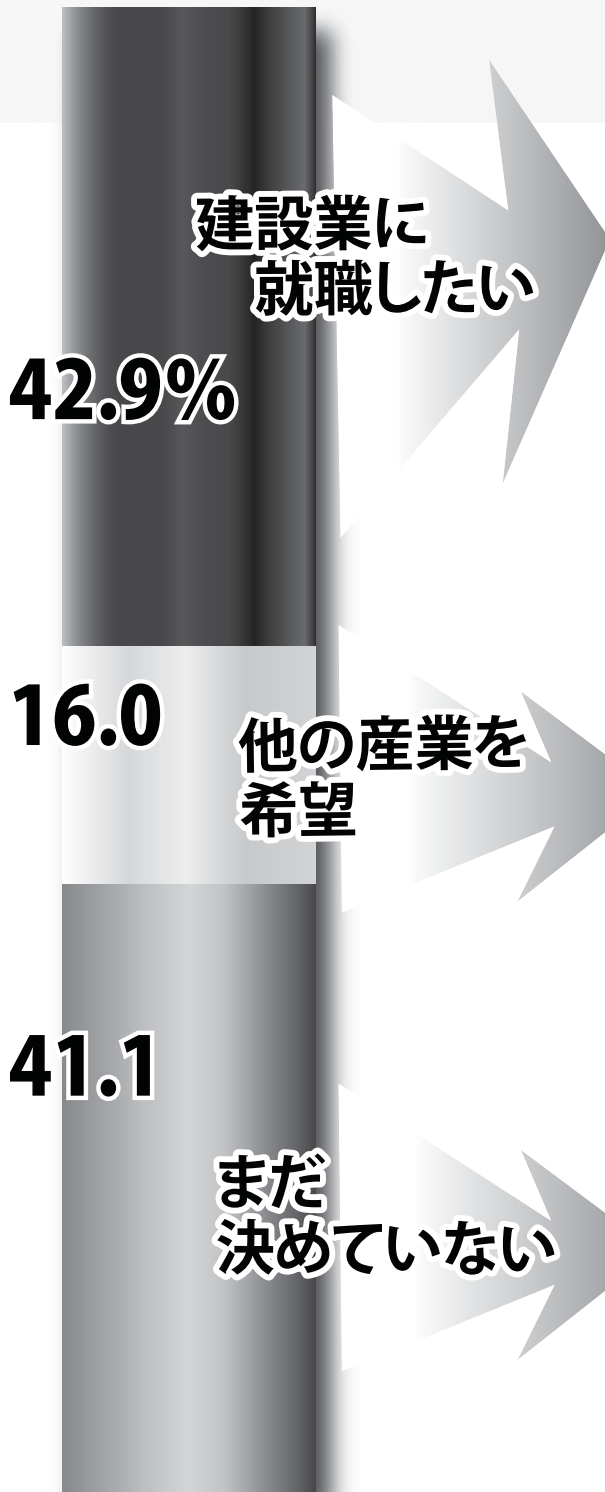
- 浜田三隅道路建設工事

## 28 就職希望アンケート

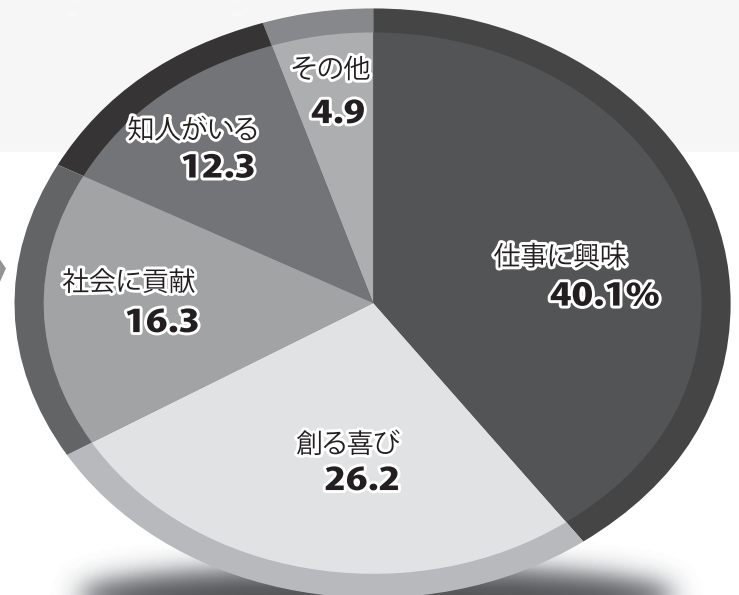
当協会では、建設系学科に学ぶ高校生を対象に建設業に対する関心と学習意欲を高めるため「現場見学会」を実施しておりますが、本年度は23回目になりました。このたびの見学会は、生活の基盤である社会資本整備を担う建設産業を理解してもらうと共に、若者に直に建設現場を見て触れていただき、新しい発見と貴重な経験を積んでいただくことを目的に実施いたしました。この現場見学会に参加した生徒からの感想文と、今後の進路等についてのアンケート調査の集計結果を取りまとめて編集いたしました。見学会実施にあたってご協力賜りました関係機関、現場の関係者の方々に対し心から厚くお礼申し上げます。

# 現場見学会参加の高校生175人に聞きました 就職希望アンケート

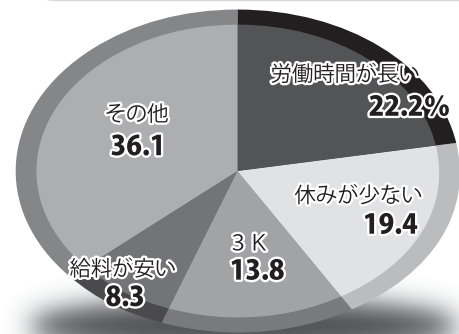
Q 1. 就職希望について  
教えてください



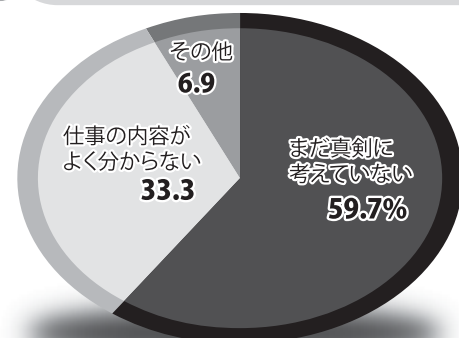
Q 2. 建設業に  
就職したい理由



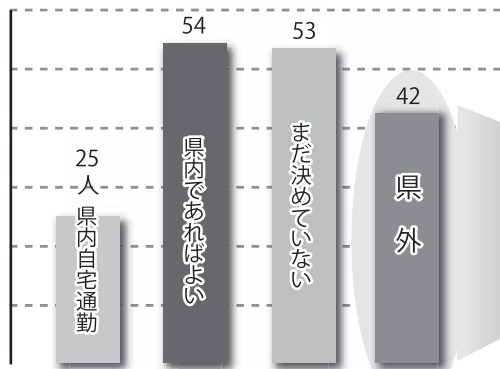
Q 3. 建設業関係の仕事に  
就きたくない理由



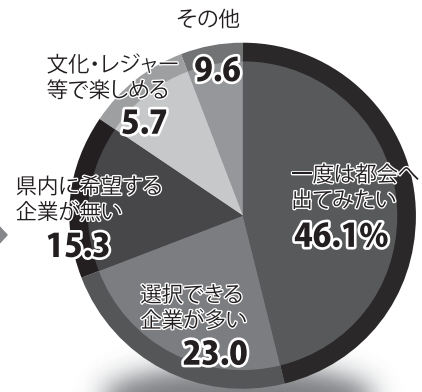
Q 4. まだ決めてない理由



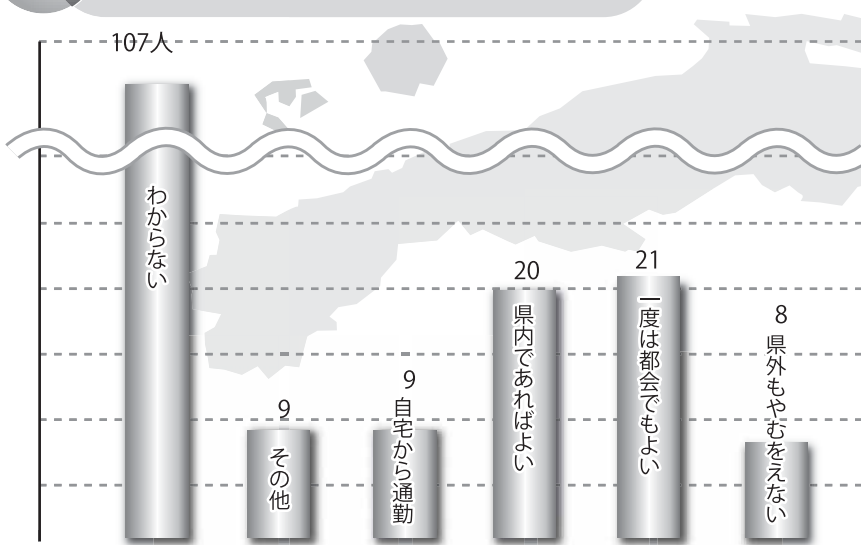
Q 5. 生徒の就職希望地域



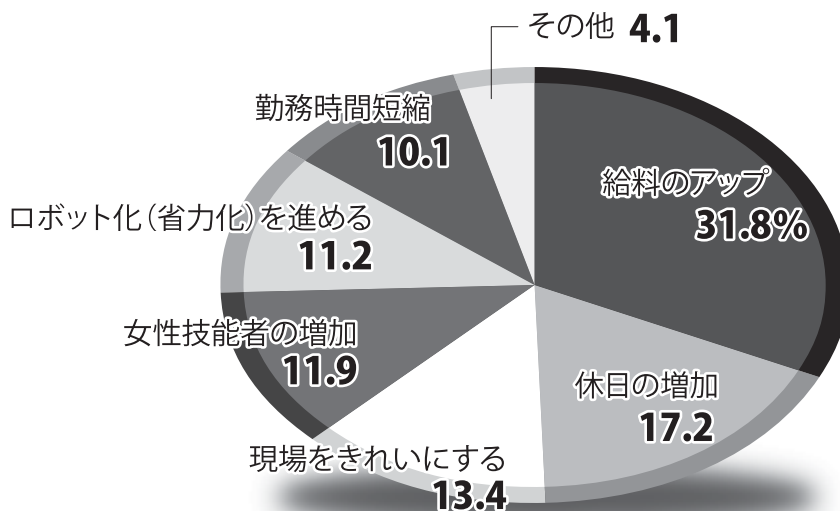
Q 6. 県外を希望する理由



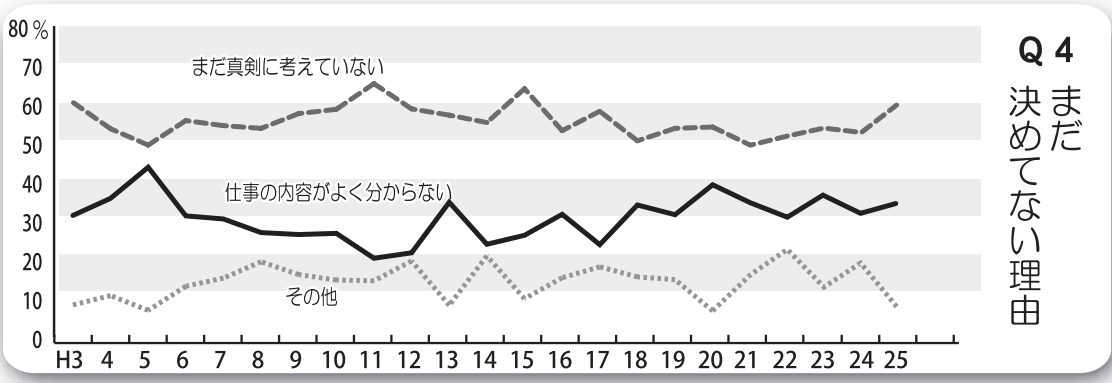
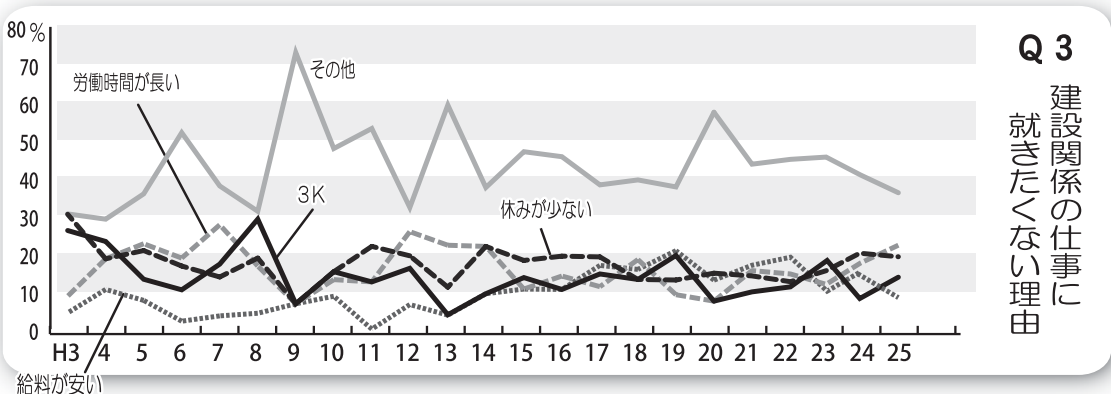
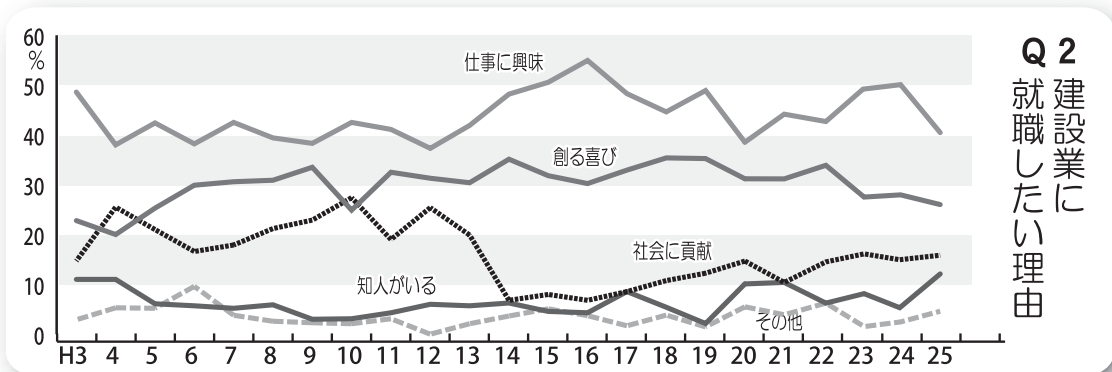
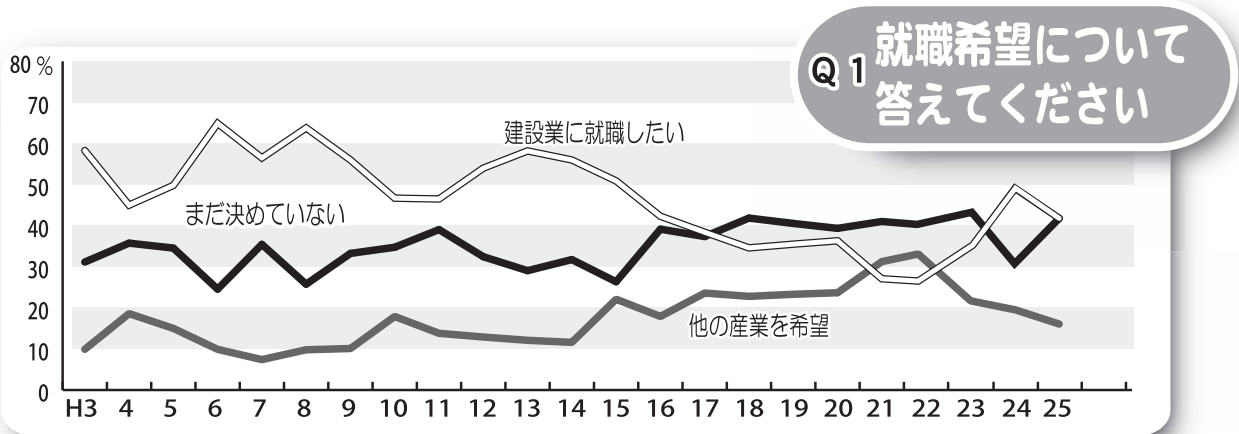
Q 7. 家族が希望する就職地



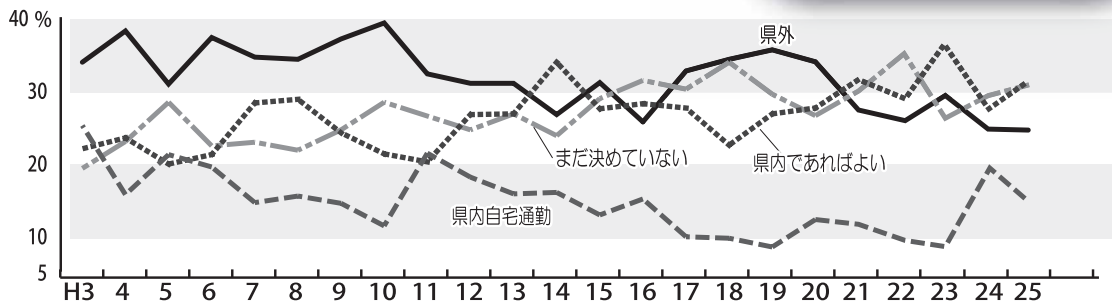
Q 8. 建設業界の改善には何が必要と思うか



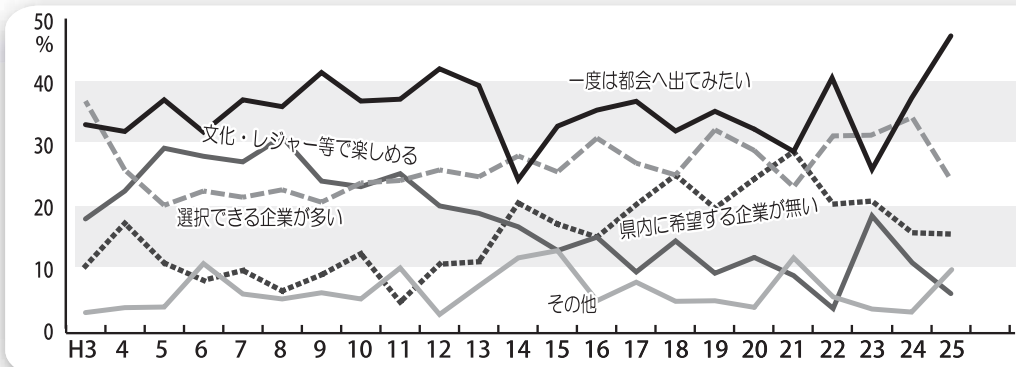
# アンケート調査（平成3～25年度）



Q5 生徒の  
就職希望地域

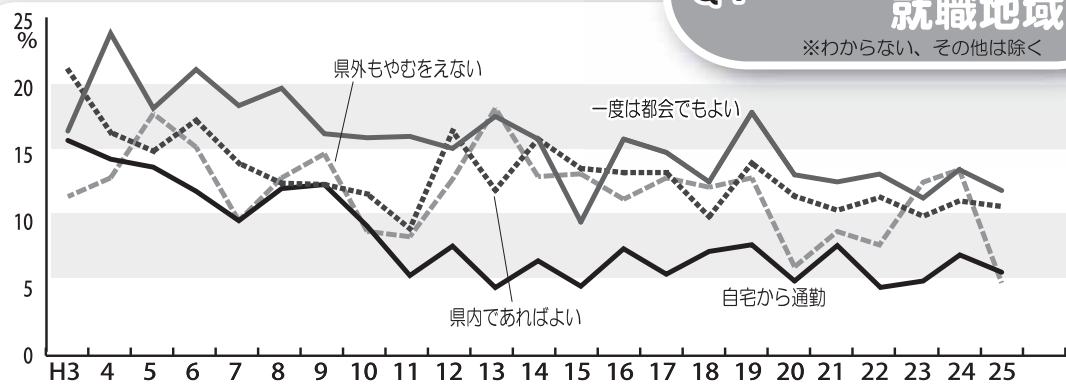


Q6 県外を  
希望する理由

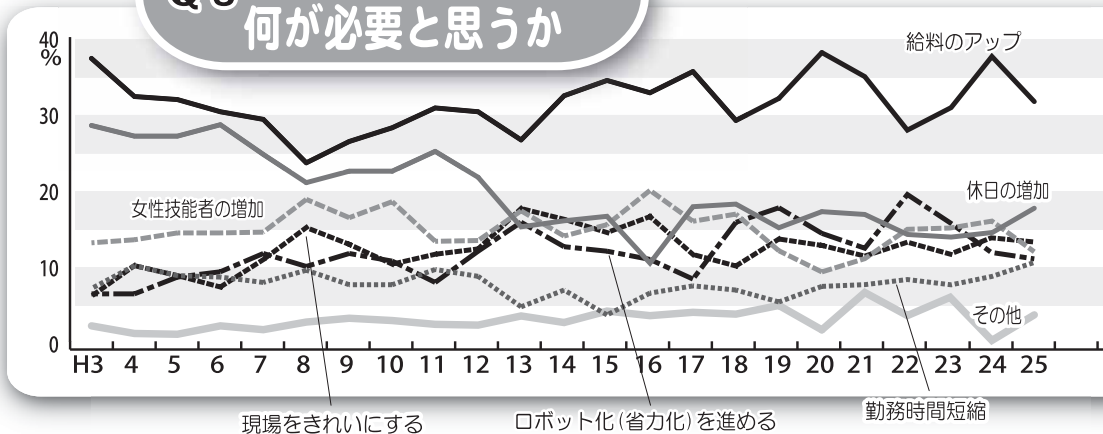


Q7 家族が希望する  
就職地域

※わからない、その他は除く



Q8 建設業界の改善には  
何が必要と思うか



## 岡山県土木部監理課

## 建設業の人材確保及び魅力アップのための取組

## ◆ フェイスブック（おかやまの土木・建築）による情報発信

【平成26年2月25日運用開始】

土木部が担当している業務の情報等を発信し、県民に県の土木行政を身近に感じてもらうことで、魅力ある建設産業への理解と若年者の入職促進に結びつけていく。

## ◆ ホームページ（おかやまの歴史的土木資産）による情報発信

【平成26年3月25日公開】

次世代を担う子どもたちに先人たちが知恵と工夫で造り上げた歴史的土木資産の役割や歴史を楽しみながら学んでもらい、地域への理解を深めてもらう。

## ◆ 「おかやまの土木・建築」魅力発信協議会【平成26年6月27日発足】

国・県・政令市など（16組織）、公共工事の発注者等が集結し、各組織で実施する「魅力づくり・魅力発信」事業の情報交換を行うとともに、協力・連携しながら多方面に魅力発信できる体制を構築。

協議会のホームページを活用して、工事現場や建築物等の紹介や見学会の案内などを行い、広く一般に向けて情報発信する。

土木・建築学科を有する県立高校（1・2年生）を対象とした工事現場見学会を開催。（11月頃実施予定）

岡山河川事務所、岡山国道事務所、苫田ダム管理所、岡山営繕事務所、宇野港湾事務所、岡山県（備前・備中・美作）県民局建設部、岡山県企業局、岡山市都市整備局、岡山市下水道局、岡山県広域水道企業団、西日本高速道路株式会社岡山高速道路事務所、本州四国連絡高速道路株式会社岡山管理センター、一般社団法人岡山県建設業協会、岡山県土木部

## ◆ 岡山県建設技能者入職促進・人材育成事業【平成26年7月1日事業開始】

未就職の学卒者など40歳未満の若年求職者を対象に、県内の建設業者において6か月間の有期雇用を行い、職場実習や集合研修などを組み合わせて、就職するために必要な知識や技能を習得させ、建設業への入職促進（有期雇用契約終了後の正規雇用化）と人材育成を支援するもの。入職促進により次世代への技能伝承を図る。

財 源：緊急雇用創出基金事業（地域人づくり事業）

委託先：公募により、（一社）岡山県建設業協会と（株）キャリアプランニングによる共同企業体を選定

## ◆ 合同就職説明会での建設業のPR、就職相談

【実績】開催日 平成26年8月6日（水）

会 場 コンベックス岡山（岡山市北区大内田）

企業数 269社（うち建設関係企業28社）

求職者 559人

【予定】開催日 平成26年11月19日（水）・28日（金）

会 場 津山・岡山



～現場の最新情報やイベント情報などを発信しています～

県民の皆さんに県の土木行政を身近に感じていただくため、フェイスブックを開設しています。

情報の速報性というフェイスブックの利点を生かし、県内各所の土木・建築に関する旬な話題の提供を心がけています。また、話題も幅広く掲載することとしており、現場の最新情報やイベント情報などを随時発信しています。

橋梁の夜間架設の現場レポートや現場見学会の状況、さらに建築女子による建物紹介やマルチコプターによる上空からの動画など盛りだくさんです。

皆さんの現場もアップされる（されている）かもしれませんので、ご家族や知人の方へご紹介をお願いします。

アドレス：

<https://www.facebook.com/pref.okayama.doboku>

【問い合わせ先】

県庁 監理課 TEL 086-226-7463



～歴史的土木資産の役割や歴史を紹介しています～

土木部では、県内の歴史的な土木資産を紹介するホームページ「おかやまの歴史的土木資産」を開設しています。

このホームページを通じて、次の時代を担う子どもたちに先人たちが知恵と工夫で造り上げた歴史的土木資産の役割や歴史を楽しみながら学んでもらうことで、土木施設や地域への理解を深めてもらうことを目的としています。

これからも、内容の充実に努めてまいりますので、このホームページについて、ご家族や知人の方へのご紹介をお願いします。

アドレス：

<http://www.civil.pref.okayama.jp/>

【問い合わせ先】

県庁 監理課 TEL086-226-7459





おokayamaの土木・建築  
魅力発信協議会

- ▼ ホーム
- ▼ 工事情報提供サイト
- ▼ 関連リンク

🔴 このサイトの目的

建設産業は、道路や河川などの社会インフラを支え、災害時の初動対応から応急復旧活動を行うなど重要な産業ですが、近年の建設投資の減少などにより、若年入職者の減少や就職者の高齢化が進んでいます。

このため、県民の皆さんに土木・建築の魅力や社会資本整備の重要性を知っていただき、理解を深めていただくことを目的として「おokayamaの土木・建築」魅力発信協議会を平成26年6月27日（金）に立ち上げました。

このサイトは、建設産業の魅力は現場にあると考え、国、県、岡山市など公共工事の発注者等16組織（※1）の工事現場等の情報をまとめています。

※1 公共工事の発注者等16組織

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所	国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所
国土交通省中国地方整備局 苫田ダム管理所	国土交通省中国地方整備局 岡山宮繕事務所
国土交通省中国地方整備局 宇野港湾事務所	岡山県 備前県民局建設部
岡山県 備中県民局建設部	岡山県 美作県民局建設部
岡山県 企業局	岡山市 都市整備局
岡山市 下水道局	岡山県広域水道企業団
西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所	本州四国連絡高速道路株式会社 岡山管理センター
一般社団法人岡山県建設業協会	岡山県土木部・都市局

🔴 工事現場を見学したい場合

各組織で受入体制が異なります。必ず詳細を確認した上で、直接申し込んでください。

🔴 最近の投稿

2014年9月29日  
水島港水島玉島地区臨港道路(11月15日中学生対象見学会)

2014年9月24日  
湯原ダムバックヤードツアー

2014年9月24日  
旭川ダム完成60周年記念ダム見学会

2014年9月17日  
苫田ダム

2014年9月4日  
中国運輸局 岡山運輸支局

🔴 工事情報提供サイト

- 国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 (1)
- 国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所 (1)
- 国土交通省中国地方整備局 苫田ダム管理所 (1)
- 国土交通省中国地方整備局 岡山宮繕事務所 (1)
- 国土交通省中国地方整備局 宇野港湾事務所 (2)

おかやまの土木・建築  
魅力発信協議会

[ホーム](#)
[工事情報提供サイト](#)
[関連リンク](#)



❖ 工事情報提供サイト

中国運輸局 岡山運輸支局

2014年9月4日
 国土交通省中国地方整備局 岡山営繕事務所



場所	岡山市北区高吉5301-5他
概要（見所など）	庁舎（鉄筋コンクリート造地上2階建て）新築 検査場（鉄骨造地下1階地上1階建て）新築
見学の可否	可
見学時間・お問い合わせ先	工期は平成27年2月末まで 中国地方整備局 岡山営繕事務所 技術課 TEL086-223-2271
見頃（お勧めのポイント）	検査場 大スパン鉄骨建て方施工時の10月頃
URL	<a href="http://www.cgr.mlit.go.jp/info/genba/pdf/e02.pdf">http://www.cgr.mlit.go.jp/info/genba/pdf/e02.pdf</a>
添付ファイル	<a href="#">現況写真（庁舎棟）</a> <a href="#">現況写真（検査場）</a>

❖ 最近の投稿

2014年9月29日  
[水島港水島玉島地区臨港道路\(11月15日中学生対象見学会\)](#)

2014年9月24日  
[湯原ダムバックヤードツアー](#)

2014年9月24日  
[旭川ダム完成60周年記念ダム見学会](#)

2014年9月17日  
[苫田ダム](#)

2014年9月4日  
[中国運輸局 岡山運輸支局](#)

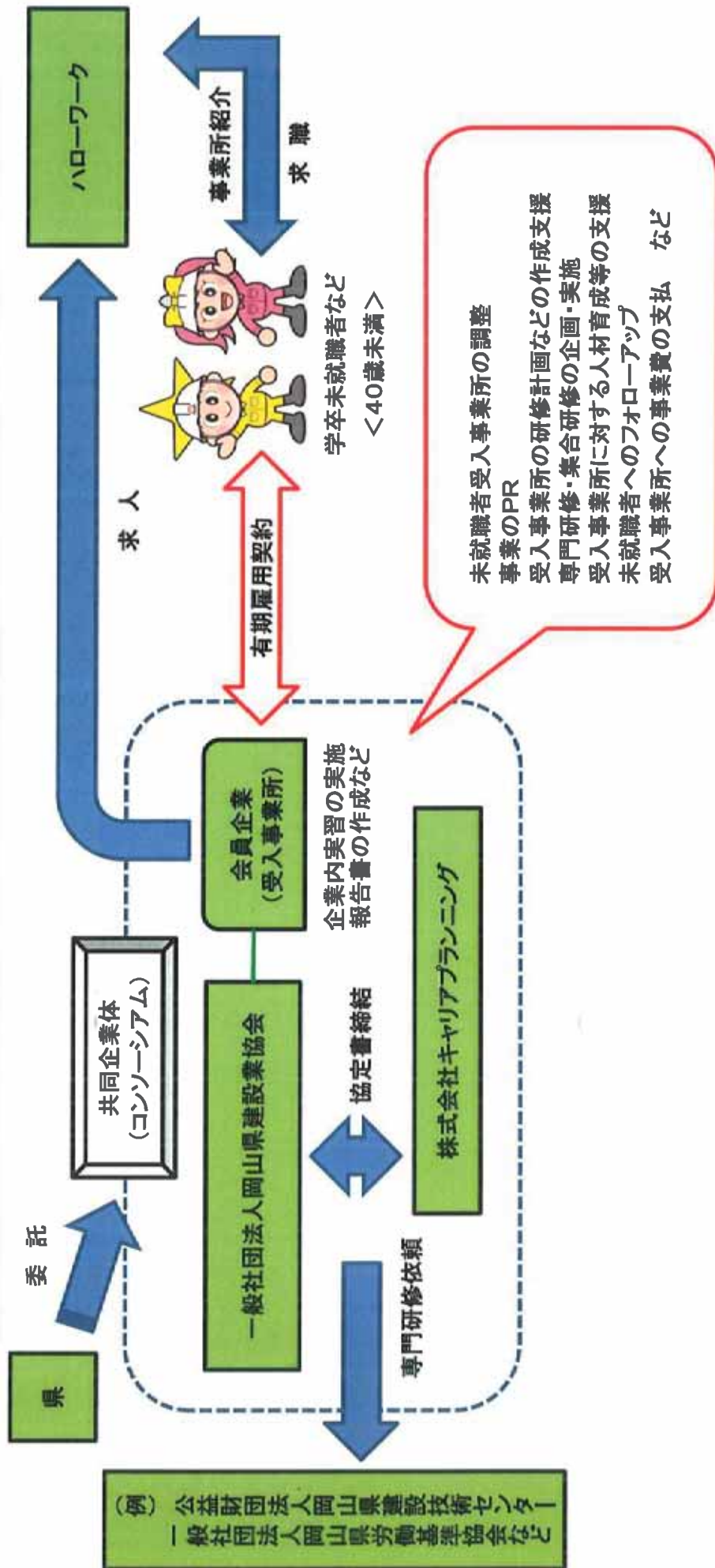
❖ 工事情報提供サイト

- [国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所（1）](#)
- [国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所（1）](#)
- [国土交通省中国地方整備局 苫田ダム管理所（1）](#)
- [国土交通省中国地方整備局 岡山営繕事務所（1）](#)
- [国土交通省中国地方整備局 宇野港湾事務所（2）](#)
- [岡山県 備前県民局建設部（2）](#)
- [岡山県 備中県民局建設部（3）](#)
- [岡山県 美作県民局建設部（0）](#)
- [岡山県 企業局（0）](#)
- [岡山市 都市整備局（3）](#)
- [岡山市 下水道局（0）](#)

# 岡山県建設技能者入職促進・人材育成事業

## 事業内容

県内の建設業者において、学卒未就職者などを一定期間(最長1年)雇用し、企業内実習や集合研修を受講させることにより、社会人としての基礎的な素養や建設業において必要となる技能・知識を習得させ、建設業への入職促進(有期雇用契約終了後の正規雇用化)と人材育成を支援するもの。



## 大学等就職面接会での建設業のPR

- 日時:平成 26 年 8 月 6 日(水)13:30~16:00
- 場所:コンベックス岡山(岡山市北区大内田)
- 参加企業数:269 社(うち建設関係企業数28社)
- 参加求職者数:559 人



建設業相談コーナー



建設業情報コーナー



建設関係企業の面接の様子



平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称  
（一社）岡山県建設業協会

事業等の名称 岡山県建設雇用改善推進委員会の開催

1. 実施時期 平成26年7月
2. 実施場所 岡山市内
3. 対象者 労働局、県関係課、教育庁関係課、県立専門高校、協会役員等13名
4. 単独開催
5. 事業等の内容 建設関係従業者の雇用改善、若年者入職支援等について意見交換

事業の名称 県立工業高校等生徒の現場見学会の実施

1. 実施時期 平成26年11月
2. 実施場所 建設現場
3. 対象者 県内県立高校の土木・建築関係学科（8）の生徒
4. 県との共催
5. 事業等の内容 現場見学を通じ建設業の魅力の理解を深め入職を促進する

事業の名称 就職面接会への建設業コーナーの設置

1. 実施時期 平成26年8月、11月、27年2月
2. 実施場所 合同就職面接会会場
3. 対象者 求職者等
4. 県との共催
5. 事業等の内容 面接会会場の建設業コーナーを設け、パネル等建設業のPR等を実施

事業の名称 「岡山県建設技能者・人材育成事業」の実施

1. 実施時期 平成26年10月～
2. 実施場所 県下
3. 対象者 建設業協会会員と建設業への求職者
4. 県からの委託事業
5. 事業等の内容 県からの委託を受け、協会会員企業への体験入社を通じ建設業の人材確保を推進する。

( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

広島県

事業等の名称	建設業者向けセミナー
<p><b>1 建設業人材確保セミナー</b></p> <p>(1) 実施時期 第1回 平成26年7月23日 第2回 平成26年10月20日</p> <p>(2) 対象者（参加見込又は参加者数） 約50名</p> <p>(3) 共催・単独等の状況 厚生労働省，国土交通省，広島県</p> <p>(4) 事業等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「若年者・新卒者を確保するために」（ハローワーク広島）</li> <li>・「建設業の人手不足対策について」（広島労働局）</li> <li>・「建設業の処遇改善のために」（広島県）</li> <li>・「建設産業の雇用改善に向けた取り組み」（中国地方整備局）</li> <li>・「個別相談会」</li> </ul> <p><b>2 労働環境改善セミナー</b></p> <p>(1) 実施時期 平成26年11月19日</p> <p>(2) 対象者（参加見込又は参加者数） 約200名</p> <p>(3) 共催・単独等の状況 広島県，（一財）建設業振興基金，国土交通省</p> <p>(4) 事業等の内容 建設業者による法定福利費の確保と元請業者の役割（予定） 講師 建設産業経営戦略アドバイザー（中小企業診断士，社会保険労務士）</p> <p>(5) その他 建設業取引適正化月間講習会の中で実施</p>	

( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

広島市

事業等の名称	ホームページによる広報の充実（白島新駅設置の取組状況）
<p>1 概要</p> <p>本市ホームページにおいて、市の主要な事業で、市民等の関心が高い事業について、事業概要や効果、取組状況などの広報を実施している。</p> <p>その中でも、白島新駅設置の取組状況については、地域住民等への事業理解を図るため、ホームページの内容を充実させるとともに、完成イメージパースや工事進捗のわかる定点画像を継続掲載するなどにより、土木施設の魅力や完成への期待感が高まるような工夫を行っている。</p> <p>2 共催等の状況</p> <p>土木学会が主催する「夏休み親子見学会」の白島新駅建設工事現場見学を後援し、親と子供の世代に対して建設業の魅力を伝える取組を共同で実施。</p> <p>3 期待される効果</p> <p>土木施設のスケール感や完成への期待感などを、将来、建設産業の担い手となる可能性のある子供とその親たちに情報発信することにより、建設産業への理解や建設産業の担い手の確保に繋がるものと考えている。</p> <p>4 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>担い手の確保・育成については、政令市のスケールでは取組効果も限定的で、直接的な取組は困難であるため、産学官が一体となって業界の問題点などを改善しつつ、建設産業の魅力を高めていく取組を継続する必要がある。</p>	

- ※ ・資料があれば添付してください。  
 ・様式の修正、既存の資料を活用していただいて結構です。



( 別添様式 )

## 平成 26 年度 建設産業魅力発信 (担い手確保・育成) 取組概要

機関・団体等の名称

一般社団法人 広島県建設工業協会

事業等の名称	新入社員及び若手技術者育成事業
<p>1. 実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 新入社員研修会</li> <li>・ 10 月 若手技術者のための現場対応力講習会</li> </ul> <p>2. 実施場所 広島市内</p> <p>3. 対象者 (参加見込又は参加者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員研修会 参加者 28 名</li> <li>・ 若手技術者のための現場対応力講習会 定員 35 名</li> </ul> <p>4. 共催・単独等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般社団法人広島県建設工業協会 単独事業</li> </ul> <p>5. 事業等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入社員研修会 建設業の概要と仕組みの説明及び施工ゲームを通じた仕事の流れ理解</li> <li>・ 若手技術者のための現場対応力講習会 工事現場の運営に必要な能力・想定外の事態への対応 (グループディスカッション)</li> </ul> <p>6. 期待される効果</p> <p>新入社員研修では、建設業の仕事の流れを理解し、仕事の面白さ、やりがいを感じるきっかけを作り、次の段階として現場において若手技術者が直面する想定外の事態等に対する対処を事例を基に学び、現場での対応力を習得することで、今後の仕事に対する不安を解消する。また、グループ学習がメインとなるので、他社の職員との交流し情報交換の場ともなる。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>今年度からの事業となるので、実施後に今後の課題等について検討し次年度以降の事業に繋げていきたい。</p> <p>8. その他</p> <p>今後の予定 「設計変更・変更提案場面に強くなる講座」 中堅社員向け</p>	

事業等の名称	土木・建築施工管理技士準備講習会
<p>1. 実施時期 4月～10月まで</p> <p>2. 実施場所 広島市内</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 1・2級土木・建築施工管理技士技術検定試験予定者 29名（H26）</p> <p>4. 共催・単独等の状況 （一財）地域開発研究所との共催事業</p> <p>5. 事業等の内容 各施工管理技術検定試験合格のための準備講習会を実施し、資格取得を支援。</p> <p>6. 期待される効果 若手職員等が施工管理技術の資格を取得しすることで、本人のモチベーションのアップ、待遇のアップにつなげ建設業界への定着を図る。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 特になし</p>	

事業等の名称	高校生現場実習
<p>1. 実施時期 8月～3月まで</p> <p>2. 実施場所 広島市内</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 工業系高等学校 建築・土木科 生徒 12名（予定）</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独事業</p> <p>5. 事業等の内容 会員企業の工事現場での実習体験（3日間）</p> <p>6. 期待される効果 建設業の現場を体験することで、職業観の育成、建設業の魅力を体験し、将来を担う人材の確保に繋がるものと考えている。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 ・実習現場の確保が難しい。 ・現場実習の受入を勧奨するようなシステムの導入が望まれる。</p>	

# 平成26年8月豪雨災害（広島豪雨災害）に対する災害対応状況

- 平成26年8月に広島市北部を襲った豪雨により大規模な土砂災害が発生。**広島県建設工業協会の会員企業（地元建設企業）**は、土石流により道路や河川内、家屋内に流出した土砂・がれきの撤去および運搬、災害地域への進入路整備、土留め応急対応、ポンプ車・散水車の出動等の災害復旧支援活動を実施。
- 広島県建設工業協会では、8月20日に災害対策本部を設置し、会員企業の災害出動状況を情報収集し、全国建設業協会を通じて国土交通省へ報告（継続中）



<b>広島県建設工業協会 会員企業による災害対応出動状況</b> (8月20日未明～10月4日) ※印は延べ数			
出動会員企業	<b>33社</b>	建設機械等	<b>3,486台 ※</b>
出動作業人員	<b>※16,687人</b>	ダンプ・トラック等	<b>6,509台 ※</b>
		特殊車両	<b>537台 ※</b>



# 平成26年8月豪雨災害（広島豪雨災害）に対する災害対応状況

建設業広報活動として

- 安佐北区・安佐南区からの支援要請により、ボランティア用仮設トイレ15棟設置
- 広報活動として①安全ベストの着用、②広報班の現地派遣、③災害復旧ステッカーの作成

## ボランティア用仮設トイレの設置



- 設置場所  
安佐北区 三入公民館5棟・新建団地 5棟  
安佐南区 梅林駅裏3棟・梅林小学校2棟

## 協会安全ベスト・災害復旧ステッカー



## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称 広島建設青年交流会

事業等の名称	広島工業大学学生との現場見学会及び意見交換会
<p>1. 実施時期 平成25年10月17日、18日</p> <p>2. 実施場所 広島工業大学（第1部 17日開催、第3部 18日開催） 広島南道路天満川床版工事現場（第2部 18日開催）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 広島工業大学学生約70名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 広島建設青年交流会（共催） 広島県建設工業協会（共催） 国土交通省中国地方整備局企画部（講演会開催） 広島県土木局技術企画課（出前講座開催）</p> <p>5. 事業等の内容 第1部 国土交通省の方から学生に対して、土木行政、社会インフラ、テックフォース等について出前講座を実施。 第2部 広島南道路天満川床版工事現場にて現場見学会を開催。現場では、配筋検査、測量実習を体験。 第3部 国土交通省中国地方整備局、広島県土木局、広島建設工業協会の方、並びに、建設青年交流会会員企業の経営者、若手技術者が参加し、建設業を目指す学生たちと意見交換会を開催。</p> <p>6. 期待される効果 見るだけの現場見学ではなく、実際に稼働している現場を発注者、施工者両者の立場からの説明を受けた上で見学し、また、配筋検査や測量実習などを若手技術者から直接指導を受けることで、建設現場の魅力を体験できる。また、意見交換の機会を設けることで、学生が持つ建設業に対する疑問を丁寧に答え、建設業の正しく良いイメージを理解できる。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 会員企業が施工する現場にて現場見学を実施しているが、今後本事業を継続していく際、適切な立地、工程の施工現場がないことが考えられる。また、現場見学を行う施工業者にとっては、事前準備や当日の安全確保など工程や作業への影響などがあるため、発注者から実施業者への配慮（工事評定点等）があればより望ましいと思われる。</p> <p>8. その他 平成23年から3年継続している事業であり、平成26年度も実施予定。本事業がもとになり広島工業大学と広島建設青年交流会の連携により、平成26年度は学生インターンシップの受け入れを実施した。</p>	

平成25年度 第1回事業  
「広島工業大学学生との現場見学会及び意見交換会」  
10月17日・18日実施

未来の建設産業の担い手を目指す若者を通し、そのバックグラウンドに広がる家族や多くの友人の方々に建設産業に対する理解を深めてもらう事を目的とし開催

第1部 国土交通省の方から学生に対しての出前講座



第2部 広島南道路天満川橋床板工事現場見学会



移動中のバスの中でも広島国道事務所の方から実施施策の説明を受け、現場では見学だけではなく、配筋検査、測量実習なども経験してもらった。

第3部 学生と企業と行政による意見交換会



国交省中国地方整備局、広島県並びに広島県建設工業協会からも出席いただき、建設業を目指す学生たちと意見交換会を開催。広島県の施策説明、会員企業の紹介、そして、本題の学生たちの疑問に本音で答える意見交換が3時間にわたり展開された。

### 広島市中心部の出張や観光

JR広島駅近くの「アライオン広島エグゼクティブ(東区)は、客の多い時期に宿泊料を上げる制度を始めた。上半期は前年同期より平均単価が約8%上がった。3週間以上先の予約が入る日は約3割増えている。

同ホテルの運営会社「赤井克彦副総支配人」は「今後も駅周辺の開客の増加で予約が好

### 医療連携システム輸出

テクノプロジェクトベトナムへ来年

システム開発のテクノプロジェクト(松江)は来年1月、独自に開発した医療情報共有システム「まめネット」のベトナムへの輸出に乗り出す。医療機関が全真的に情報共有する仕組みとして、根拠に採用されたシステムで、実績をアピールして成長市場を開拓する。

まめネットは病院・診療所や薬局同士がカルテや投薬履歴をインターネット上で共有する。昨年11月に島根県に採用され、この7月未時点で県内23



今月8日、ホーチミン市のIT企業リンクスと業務提携した。両社で2016年までに、北部ゲアン省内の公立医療機関約600カ所への導入を目指す。リンクスは独自の電子カルテシステムを販売しており、まめネットの普及に合わせ売り込めるメリットがある。

### いいね 瀬戸内の食

イオンリテールとマックスバリュ西 中四国でキャンペーン



香川県産のハマチなどが並ぶキャンペーンの会場

イオングループのイオンリテール(宇治市)とマックスバリュ西日本(広島市南区)は18日、瀬戸内海の食の特産品をPRする「瀬戸内いいねキャンペーン」を中四国地方の店で始めた。

広島は瀬戸内海沿いの7県の食品を、中四国のイオン全店と兵庫県を含めたマックス

イオン広島府中店(広島県府中町)は「瀬戸内産のハマチをPR」と強調し、香川県産のハマチを試食した広島市東区の主婦海野美智子さん(61)は「知らない商品も多く、楽しく見て回れる」と話していた。(山本賢一朗)

「瀬戸内産の味」と「発売」の味噌(呉市)は、広島県産レモンを使った「広島れもん鍋のもと」を発売した。広島の特産品を生かした鍋を手軽に作る。

自家製の塩こうじにレモンの果汁と皮、和風だしを加えた。鍋のだしとして、お湯で5倍に薄めて使う。さっぱりとした味わい、来月3月末までに2千

「広島れもん鍋のもと」を紹介する副社長。新分野の開拓を図る。9月中旬に発売した業務用と合わせ、来月3月末までに2千

「既には...」のコーナー。1.やが、す口店が的。6呼み、年い積。11月7日、ものづくりセミナー「ヒット商品に学ぶ成功法則」と製品開発事例を市まちづくり市民交流プラザ(中区)で開く。

さびたつづれたりしたやが、ポルトを簡単に外せる「工具」スズアルルを発売した。工具メーカー、エンジンニア(大阪府)の高崎充次社長が講師。新商品の開発に至った経緯やヒットのための仕掛けについてを話す。

パネル討論では、広島修造大商学部の高原達夫教授(経営戦略論)の「インターネット、高崎社長や地元企業の商品を成功させた事例やノウハウを語る。

午後2時5分、受講料1千円。定員30人。先着順。フアックスなどで申し込む。振替(銀行口座)160802(276)8000。

「建設業 現場で理解深めて」 広島 業界団体と広工大生交流

観音大橋の工事現場を視察する学生



観音大橋の工事現場を視察する学生。高橋建設を視察したり、工学部3年平田剛之さん(21)は「橋の内部を見たのは初めて。将来、大きな構造物を建設する仕事に就きたい」と話していた。(根本直樹)

来年度事業の助成先を募集 エネルギア財団

中国電力グループが運営するエネルギア財団は、地域の文化、スポーツ活動を支援する来年度の事業助成先を募集している。財団のホームページに掲載している申込書で、11月20日までに郵送申請し込む(印刷費42,000円)。

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を



調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

調整池で水上市太陽光発電所 設置事業者募る

安来市土地改良区は、東約3.5時。11月20日まで募集し、同月中に事業者を決める。2014年度中の稼働を

中国経済

シャンプーついでに 白髪を少しずつ染め

使うたび、白髪が

ナチュラルブラックの仕上がりイメージ

5分 自然な黒髪 自然な黒髪

白髪が気になりだしたら

ナチュラルブラック



# このJV結成へ

代表企業は、  
 広島建設青年交流会  
 と、  
 現市民会館昭和41年建築  
 の延床面積2630㎡、  
 ホール

（表）  
 1、素康人代表は、既存工場（所在地同）の隣接地への工場増築を計画しており、さよふ23日に島根県安来市との間で工場等立地に関する計画だ。

（中）  
 9300万円、土地代が2760万円としており、新工場の操業開始は平成26年9月を予定。操業開始3年後には現在の75人の従業員を5人増強し、80人とする計画だ。

（下）  
 加団体の支部、中国5県の行政書士会・社会保険労務士会、中国四国厚生局、中国5県労働局（各県）、日本年金機構、中国地方整備局などから合計74団体が参加する予定だ。

計プロポ  
 精密機械部品製造の秦精工（安来市黒井田町699）  
 1、素康人代表は、既存工場（所在地同）の隣接地への工場増築を計画しており、さよふ23日に島根県安来市との間で工場等立地に関する計画だ。

大型特殊鋼部品の加工を担う最新の生産設備を導入し、航空機部品などの受注拡大を目指すもので、増設する建物の面積はS造平屋一部2階建660㎡。既存工場と合わせて

9300万円、土地代が2760万円としており、新工場の操業開始は平成26年9月を予定。操業開始3年後には現在の75人の従業員を5人増強し、80人とする計画だ。

## 現場見学・意見交換会 広工大生70人が参加

### 広島建設青年交流会から開く

広島建設青年交流会（加島俊次会長）と広島県建設工業協会（榎山典英会長）は18日、広島工業大学の学生約70人を対象にした交流イベントを開き、「広島南道路天満川橋床版工事」（施工・伏光組）での現場見学や測量体験を通じて触れ合うとともに、就職に臨む際の

心構えや待遇面など、学生が抱える率直な疑問等について意見交換した。イベントは、未来の建設業を担う学生たちに建設業への理解を深めてもらうと毎年開かれていたもので、今年で3回目。主催者側は青年交流会の幹部や各社の若手社員、国・県の担当者など約50人が

出席し、今回からはより学生との交流が図られるよう、4〜5人ずつに分かれて学生の班に交ざり、終日とも行動した。午後、広工大内で開かれた意見交換会の冒頭で榎山会長は、「建設業は建物や道路をつくるだけでなく、災害復旧やインフラ維持などの役割も担っており、ものづくりを通じて社会を形成し、地域の安全・安心を支える仕事。担っていくのは皆さん自身だ。建設業と公共事業への理解を少しでも深めてほしい」とあいさつ。

意見交換会では、青年交流会の各社が簡単な企業紹介を行ったのち、学生側から「企業が求める能力」や「今のうちにやっておくべきこと」から「給料や休みはどれくらいか」「辞めたいと思つたこと」など、企業説明会では聞けないようなもので様々な質問が投げかけられ、経営者、若手社員、



榎山会長



加島会長



南道路での見学会



意見交換会のもよう

広工大のOBでもあり、イベントを企画した加島会長は「せっかく大学で土木を学んでいるので、土木の道に進んでもらうのが一番。きついイメージで建設業を敬遠される学生さんも少なくないが、そのような人にこそ入ってほしいし、考えるより行動してほしい」と話していた。

文教施設の設計・施工に携わられる方へ

【特別教室】造作家具・黒板 / 電子黒板 (ICT環境)・アクセスフロア  
 【体育館 / 柔剣道場】鋼製床・耐震天井システム・体育施設器具

「地域材」の活用を含めてのご提案をさせていただきます！

私たちは環境にやさしい企業をめざします

株式会社 **三知**

本社 光市：0833-71-0251  
 広島オフィス：082-555-8891  
 岡山オフィス：086-958-5961

(賛) 山口県建築士事務所協会 (賛) 広島県建築士事務所協会 (賛) 山口県設備設計協会

株式会社 **三知エンジニアリング**

本社 山口市：083-933-1333  
 【建設業許可】(般23)第12521号

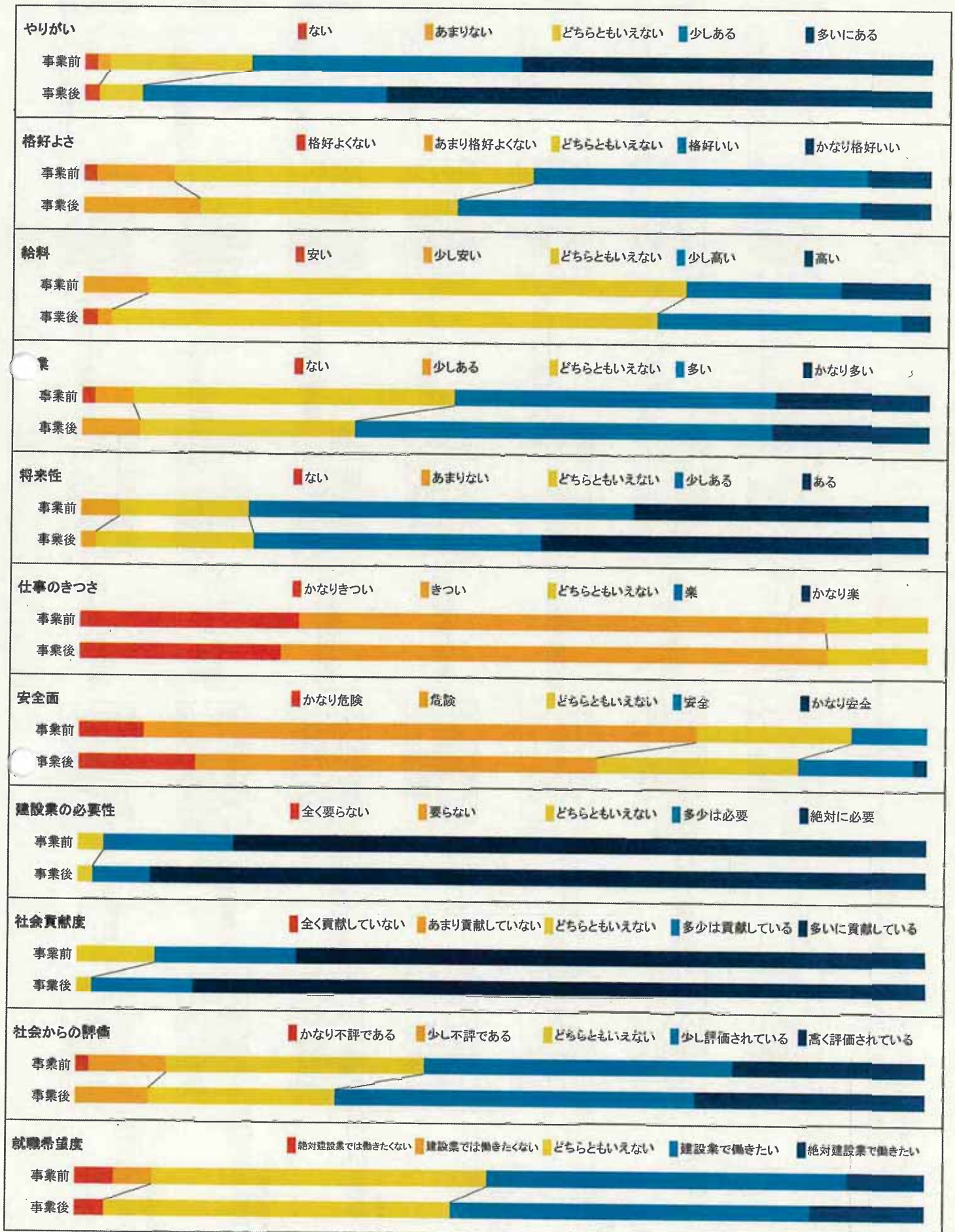
安心 安全 快適

CO2 削減 地産地消

ISO14001 JPN000021

10/18実施、広島工業大学との交流事業におけるアンケート結果集計

- ・事業実施前(9月)と事業実施直後(10/18)に全く同じ内容のアンケートを実施
- ・有効回答数 事業実施前:66、事業実施直後:59
- ・各質問項目の全体回答数におけるそれぞれの回答の率にて表示



10/18実施 広島工業大学の交流事業におけるアンケート結果集計

実施アンケートのうち、本事業の主目的である、イメージアップ、若手技術者確保に関するアンケート項目について、事業実施前と事業実施後の同一人物における、回答の移動についてとりまとめました。  
(前後のアンケートとも回答しているもののみ掲載)

やりがい

1	ない	1	あまりない	1	ない	0	あまりない	0	ない	0	あまりない	0	ない	0
0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	1	どちらともいえない	2	どちらともいえない	2	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0
0	少しある	0	少しある	0	少しある	2	少しある	2	少しある	9	少しある	9	少しある	5
0	多いにある	0	多いにある	0	多いにある	4	多いにある	4	多いにある	10	多いにある	10	多いにある	23

格好よさ

0	格好よくない	0	格好よくない	0	格好よくない	0	格好よくない	0	格好よくない	0	格好よくない	0	格好よくない	0
0	あまり格好よくない	0	あまり格好よくない	2	あまり格好よくない	4	あまり格好よくない	4	あまり格好よくない	2	あまり格好よくない	2	あまり格好よくない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	3	どちらともいえない	12	どちらともいえない	12	どちらともいえない	3	どちらともいえない	3	どちらともいえない	0
0	格好いい	0	格好いい	0	格好いい	9	格好いい	9	格好いい	15	格好いい	15	格好いい	2
0	かなり格好いい	0	かなり格好いい	1	かなり格好いい	0	かなり格好いい	0	かなり格好いい	2	かなり格好いい	2	かなり格好いい	2

将来性

0	ない	0	あまりない	0	ない	0	あまりない	0	ない	0	あまりない	0	ない	0
0	あまりない	0	あまりない	1	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0	あまりない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	2	どちらともいえない	3	どちらともいえない	3	どちらともいえない	5	どちらともいえない	5	どちらともいえない	1
0	少しある	0	少しある	0	少しある	4	少しある	4	少しある	13	少しある	13	少しある	2
0	ある	0	ある	6	ある	2	ある	2	ある	7	ある	7	ある	17

建設業の必要性

0	全く要らない	0	全く要らない	0	全く要らない	0	全く要らない	0	全く要らない	0	全く要らない	0	全く要らない	0
0	要らない	0	要らない	0	要らない	0	要らない	0	要らない	0	要らない	0	要らない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	1	どちらともいえない	1	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0
0	多少は必要	0	多少は必要	0	多少は必要	0	多少は必要	0	多少は必要	3	多少は必要	3	多少は必要	1
0	絶対に必要	0	絶対に必要	0	絶対に必要	1	絶対に必要	1	絶対に必要	3	絶対に必要	3	絶対に必要	48

社会貢献度

0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0	全く貢献していない	0
0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0	あまり貢献していない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	1	どちらともいえない	1	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	0
0	多少は貢献している	0	多少は貢献している	0	多少は貢献している	2	多少は貢献している	2	多少は貢献している	2	多少は貢献している	2	多少は貢献している	3
0	多量に貢献している	0	多量に貢献している	0	多量に貢献している	2	多量に貢献している	2	多量に貢献している	8	多量に貢献している	8	多量に貢献している	41

社会からの評価

1	かなり不評である	0	かなり不評である	0	かなり不評である	0	かなり不評である	0	かなり不評である	0	かなり不評である	0	かなり不評である	0
0	少し不評である	0	少し不評である	3	少し不評である	2	少し不評である	2	少し不評である	0	少し不評である	0	少し不評である	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	1	どちらともいえない	7	どちらともいえない	7	どちらともいえない	3	どちらともいえない	3	どちらともいえない	0
0	少し評価されている	0	少し評価されている	1	少し評価されている	8	少し評価されている	8	少し評価されている	12	少し評価されている	12	少し評価されている	3
0	高く評価されている	0	高く評価されている	0	高く評価されている	0	高く評価されている	0	高く評価されている	9	高く評価されている	9	高く評価されている	7

就職希望度(建設業で)

2	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0	絶対に働きたくない	0
0	働きたくない	0	働きたくない	0	働きたくない	0	働きたくない	0	働きたくない	0	働きたくない	0	働きたくない	0
0	どちらともいえない	0	どちらともいえない	3	どちらともいえない	15	どちらともいえない	15	どちらともいえない	4	どちらともいえない	4	どちらともいえない	1
0	働きたい	0	働きたい	0	働きたい	7	働きたい	7	働きたい	16	働きたい	16	働きたい	1
0	絶対に働きたい	0	絶対に働きたい	0	絶対に働きたい	1	絶対に働きたい	1	絶対に働きたい	4	絶対に働きたい	4	絶対に働きたい	3

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

山口県

## (1) 関係団体等との連携

	事業名等	実施時期	事業概要
①	「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」の設立・運営※	4月～	建設業界、行政機関、就業支援機関が一体となって建設産業の将来の担い手の確保・育成を推進するための協議会を4/30設立。総会・作業部会を通じて、関係団体間での情報交換や連携を実施。

※地域建設産業就業支援総合対策事業。

## (2) 戦略的な広報の展開

	事業名等	実施時期	事業概要
①	パネル展示※	6月～	建設業の役割・魅力等を伝える広報パネル展示を、岩国工業高校（6/14）、県庁（7/28～8/8）、徳山駅ビル（8/22、23）等で実施。
②	プロモーションビデオの制作・活用委託※	9月～	県内建設業で働く若者のインタビュー等により、建設業の魅力ややりがい等を若者に伝えるビデオを作成してイベント（(3)－⑤⑥）上映、学校等に配布。※別添参照
③	リーフレットの作成・活用委託※	9月～	建設業の担い手確保・育成に向けて国・県・団体が実施する取組・制度等を紹介するリーフレットを作成し、個別訪問等で配布。※別添参照

※地域建設産業就業支援総合対策事業。

## (3) 人材確保・育成支援事業の実施

	事業名等	実施時期	事業概要
①	土木・建築工事現場見学会	5月～10月	土木建築を学んでいる高校生を対象に建設現場への見学会を実施。今年度は徳山商工、岩国工業で保護者も参加。
②	建設企業個別訪問委託※	7月～	建設企業を個別に訪問し、企業PRのための魅力情報・求人情報の収集及び各種支援情報を提供。（8月末時点216件）
③	建設業若手サポートセミナー委託※	7月	若手社員を対象に職場定着やモチベーションアップを目的とした講習会。下関、周南、山口の3会場で37名が参加。
④	建設業人事担当者サポートセミナー委託※	8月・10月	人事・採用担当者を対象に求める人材の獲得から採用後の職場定着に至るまでのノウハウを伝えることを目的とした講習会。8月は下関、周南、山口の3会場で29社が参加。
⑤	建設業魅力発見交流会委託※	10月	建設業に対する理解を深まり、就業機会の拡大につながるよう職業説明のための交流会。下関、周南、山口で開催。
⑥	建設業合同企業説明会委託※	11月	建設企業を集め、建設業への就職を考える若者への説明会の実施。（11月13日開催 於：山口グランドホテル）

※地域建設産業就業支援総合対策事業。

(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社)山口県建設業協会

事業等の名称	現場見学会の実施
	<p>1. 実施時期 5月～12月(年20回程度)</p> <p>2. 実施場所 山口県内の建設工事現場(1回につき、2～3現場)</p> <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数) 若年者、保護者、PTA等400名程度</p> <p>4. 共催・単独等の状況 山口県土木建築部</p> <p>5. 事業等の内容 山口県土木建築部と連携して、若年者、保護者、PTA等を対象にした建設現場の見学会を行う。</p> <p>6. 期待される効果 普段見ることのできない生の建設現場を体験することで、3Kイメージの払拭とスケールの大きさ、仕事のやりがいを実感して頂き、建設業への入職率を高める。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 見学に適した大型工事現場等の減少により、箇所選定が困難になってきた。イメージアップビデオを作成し、見学前のモチベーションを上げたい。</p> <p>8. その他 参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号12頁</p>

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

現場の生の声に土木の必要性を知る!

現場見学会

萩商工高等学校 / 機械土木科・土木科コース



(一社)山口県建設業協会では、土木・建築分野を学ぶ高校生に建設業の魅力を感じ、理解を深めてもらうため、毎年県内各地で建設現場見学会を実施しています。今回は平成25年6月6日、萩商工高等学校・機械土木科土木科コースで学ぶ2・3年生16名が参加した現場見学会取材しました。

最初に訪れたのは、山陽小野田市厚狭の大正川排水機場です。施設がある厚狭川周辺は、平成22年の豪雨により川が氾濫し、多数の家屋の浸水や断水など甚大な被害を受けました。その後、国の「河川激甚災害対策特別緊急事業」に指定され、5年間をめどに緊急に河川改修が進められています。大正川排水機場にも、平成25年3月に2基のポンプが増設されており、事業の説明を受けた後、実際に新しいポンプを見学しました。県内最大規模のポンプを見上げ興奮ぎみの生徒の皆さんは、内部の様子を見に行ったり、「一基の値段はいくらですか?」などの質問をしたりしていました。

次に向かったのは、山陽小野田市の有帆川河口部にかかると小野田湾岸線「新有帆川大橋」(仮称)の建設現場です。「新有帆川大橋」は全長約480m、幅13mのコンクリート橋で、平成26年度の開通を目前に控えて作業も大詰めを迎えています。生徒の皆さんは、現場を担当しておられる宇部土木建築事務所職員の説明に熱心に耳を傾け、実際に橋の上へ上がると、普段見る事の出来ない大がかりな機材や海を望む壮大な景色に目を奪われていました。

昼食後、最後の見学地となったのは美祿市にある「鍋倉大橋」の耐震補強工事現場。東北地方太平洋沖地震を受け新しい耐震性の基準が策定された折、今のままでは耐震性能が満足でないことが判明し、補強の工事を行っています。

現場担当者さんの「世界で発生した地震のうち、20%が日本近辺で発生している。大きな地震の被災を教訓とし、先端の知見を盛り込みながら基準の見直しがされている」とのお話に、生徒の皆さんも頷き、真剣なまなざしで工事風景を見つめていました。

見学を終えた生徒さんからは「工事のスケールやかかる費用の大きさにびっくりした。まだ漠然としているが、自分も土木の仕事

水などにおいて改めて土木も注目を浴びています。現場見学ではその必要性や規模を間近で体感でき、特に3年生にとっては、具体的な進路を描いて役立つと思います」とおっしゃっていました。

また同じく引率された山根先生は「自分たちも普段入れない現場なので、大変貴重な経験をさせてもらえて有難いです。生徒が興味をもって土木の道に進んでもらえれば嬉しいですし、社会人となって味わう仕事の責任感や達成感を、現場の生の声を通じて知って貰えればと思います」と、生徒の皆さんの未来を楽しみにしておられました。

この経験が生徒さんの意欲や希望につながることを願っています。



山根先生



鎌田先生

2013年度 高校生現場見学 参加校(延べ11校 351名)

工事名	実施日	対象生徒	学校名
彦島大橋橋梁補修工事 国道435号(美祿豊田バイパス)道路改築工事	5月29日	43名	徳山商工高等学校
	6月6日	16名	萩商工高等学校
厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業 妻崎開作小野田線道路改築事業 国道435号鍋倉大橋橋梁補修工事	6月10日	40名	田布施農工高等学校
	8月22日	13名	宇部西高等学校
	8月23日	40名	山口農業高等学校
	9月19日	26名	下関中央工業高等学校
国道437号大島大橋橋梁補修工事 田布施川流域下水道浄化センター 反応タンク施設増設工事	6月18日	35名	岩国工業高等学校
合計		7校	213名

工事名	実施日	対象生徒	学校名
平成24年度東岐波県営住宅新築工事 維新百年記念公園陸上競技場	6月4日	38名	柳井商工高等学校
	6月6日	30名	下関中央工業高等学校
	6月13日	30名	萩商工高等学校
	6月18日	40名	岩国工業高等学校
合計		4校	138名

土木系学科

建築系学科

(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社)山口県建設業協会

事業等の名称	インターンシップの実施
	<p>1. 実施時期 8月～2月(年8回程度)</p> <p>2. 実施場所 山口県内の建設企業又はコンサルタントの本社及び工事現場</p> <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数) 若年者 100名程度</p> <p>4. 共催・単独等の状況 (一社)山口県測量設計業協会</p> <p>5. 事業等の内容 会員企業及び山口県測量設計業協会と連携して、若年者を対象にしたインターンシップ(現場実習)を行う。</p> <p>6. 期待される効果 実際の企業で就業体験をすることで、3Kイメージの払拭とスケールの大きさ、仕事のやりがいを実感して頂き、建設業への入職率を高める。 また、就職前に現場を体験することにより、雇用のミスマッチを防ぎ、離職率を下げる効果も期待される。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 夏休み中の実施を希望する学校が多いが、この時期は工事現場が少ないので、生徒を受け入れたいが現場がないため断る企業が増えている。 そのため、10月以降に時期をずらしたり、実習日程を短縮するなどして対応している。</p> <p>8. その他 参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号13～14頁</p>

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

## インターンシップ

山口県立田布施農工高等学校  
環境土木科・参加生徒15名

井森工業(株)へ・松本龍大

1日目は、座学で土木についての話を聞き、その後に田布施川流域下水道浄化センター反応タンク施設増設工事を見学させていただきました。滅多に見ることができないという、2台同時にポンプ車を使う大がかりな工事を偶然にも見ることができ、その迫力に驚きました。

午後からは土質実験を見学させていただきました。農業鑑定にも出題されていたスランブコーンが使われているのを見て、感動しました。スランブコーンの中にコンクリートを入れて一気にコーンを引き抜き、中に入れたコンクリートがどれだけグシャツと潰れるか確かめる試験や、重量の確認をしてみました。運ばれてくるコンクリートが基準値を合格しているか確かめるこの作業を、朝と昼の一日二回も行うっていると聞いて、この先ずっと地域のために役立つものを作り上げるために徹底されているのだなと思いました。

2日目は、久賀港海岸侵食対策工事第三区を見学させていただきました。久賀港海岸にあるブロックを増やして幅を広げるために、海上でチェックボーリング試験が行われていました。現場の方が黙々と作業をされている姿を見てとても感動しました。

会社の方々から丁寧なご指導をいただき、とても楽しく充実した現場実習となりました。勉強の大切さも教えていただいたので、残りの学校生活もより一層努力していきたいと思えます。

(株)浜田組へ・田中理史

1日目はまず、周防



現場に行き、作り方を丁寧に教えていただきました。

2日目は、海での作業の仕方と、潮の高さの重要性について教えていただきました。潜水士が海に潜って作業をするとき、指示を海の中で行い、どこに土を入れるかなど様々な場面で活躍しているということを知ることができました。海での作業は潮の満ち引きが重要であり、時間を確認しながら潮の高さを考えて作業しているということも知りました。

今回現場実習をさせて頂いて、海での作業の大変さや安全に気を付けて行うことの重要性を学ぶことができました。

(有)泉土木コンサルタン  
トへ・中光雅芳  
1日目は、山口市佐  
山の北ノ江の池周辺を



大島町沖浦  
西港河岸高  
潮対策現場  
を見学しま  
した。現場  
では捨石投  
入をしてい  
ました。こ  
の行程は、  
消波プロッ  
クの土台を  
置いたため  
と教えてい  
ただきまし  
た。昼から  
は、消波プ  
ロックを作  
っている

トータルステーションで測量を行いました。トータルステーションの据え付けは、学校の授業で実際に使ったセオドライトとほぼ変わりはなく、スムーズに据え付けをすることができました。測量をする際に、標尺やピンボールに付いてある反射プリズムにレーザーを当て反射させる事により距離や角度、高さをすぐに測ることができるので、測量時間がとても短縮できると実感できました。また、タブレットのようなタッチパネル式で、トータルステーションから得たデータの基に図面の作成、位置情報や測点、測線のデータ転送を実際に行いました。

2日目は、本社の方から社会の厳しさや、コミュニケーション能力の大切さ、多くの情報を身につけ自分の力量を増やしていく事など、将来ためになる事を教えていただきました。今後の自分、今の自分をもう少し変えてみようと思いました。

この2日間、企業で仕事の楽しさや厳しさを、勉強の大切さも学ぶことができました。

共同産業(株)へ・岡崎巨乙  
1日目は、仕事をする上で注意すべきことや、様々な専門的な知識を教  
えていただきました。

「命綱は、付けたことを忘れて歩いたら引っかけて危ない」と教えていただいたので、作業をするうちに教えられたことをすっかり忘れてしまい、十回くらいつまずいてしまいました。また、足場を歩いたり、上り下りしたりしているときに頭をぶつけて



しまい、「ヘルメットがあつてよかった!」と思うことが多々ありました。この時、仕事場の危険さとヘルメットのありがたさを改めて痛感しました。

2日目は周南市の「栄谷大橋耐震補強工事現場」に行き、その後には富田の「6・9号線他街路築造工事現場」に行きました。その現場では光波距離計やレベルを使用した丁張測量をしました。光波距離計は初めて使いましたが、丁寧に教えてくださり、使い方をとても早く習得することができました。

現場の方々には仕事を行う前に「危険予知活動表」を弑職、大工などで分担して現場の危険なところや、その対処法などを再確認して取り組んでいるということを知り、命に関わる仕事は始まる前からしっかりと知っているのだなと思いました。

今回の現場実習で現場の雰囲気も少しも慣れることができました。この実習体験を進路決定に役立てたり、将来の職業で活かしていきたいです。





山口県立山口農業高等学校  
環境科学科・参加生徒20名

池田建設工業(株)・木橋竜三

1日目は、熊ヶ追地区ため池工事をして  
いる現場に行きました。そこでは、斜面に  
かけてあったブルーシートの片付けをして、  
斜面の木や枝、土の取り除きをしました。  
そのあと、7月28日の豪雨災害のために、  
ため池の水路に流れてきた土を取り除きま  
した。建設業は予想以上に大変で、とても  
体にくる仕事なんだと学びました。

2日目は、前日に行った現場で、トータ  
ルステーションによる測量をした後、嘉年  
にある十種ヶ峰に行き、災害縦横断測量を  
しました。嘉年に行くときの行き帰りで、  
先の豪雨災害の傷跡を見、会社に帰って、  
災害縦横断測量のデータをもとに、CAD  
による図の作成をしました。

3日目は、道路の舗装工事の見学や現場  
の測定、写真の撮影、看板などの回収をし  
ました。何気なく見る道路の舗装工事を間  
近で見ると、どのように舗装されているのか  
を学ぶことができました。

4日目は、あいにくの朝から雨が降って  
いたので、会社でCADによる図の作成の  
練習をしました。学校で使ったことのある  
JWCADを使用して、試行錯誤をして作成  
をしました。図の作成はとても難しく、ど

こを図っても、指定した数値を出すとい  
うが大変だということを感じました。

明和技術コンサルタント(株)へ・河野良亮

先日のゲリラ豪雨で河川の災害の現場で  
ある萩の須佐に生き、ポールを立て、被災  
した河川の横断面などの写真を撮りました。  
現場に行くと最初に驚いたことは、被災  
した河川でした。ひとつ踏み外せば、足場  
が崩れて河川に落ちてしまうような場所が  
たくさんあり、いつもこういう場所で仕事  
をしているというのを聞き、改めて驚き  
ました。河川の水かさが増えたり減ったり  
するので、河川に入るのも危険でした。し  
かし、今回担当してくれた中村さんは、い  
とも簡単に河川に入り、ポールを立ててい  
ました。仕事に対する思いがすごいものな  
のだと感じました。

私は今回4日間行っただけでもきつかつ  
たのに、中村さ  
ん達は一ヶ月く  
らい前から猛暑  
の中、現場でこ  
んな作業をして  
いたことを聞く  
と圧巻の一言で  
した。また現場  
の須佐までは会  
社から2時間は  
かかっています  
た。行き帰りで  
4時間車を運転  
して、夜まで作業をすることを考えると、  
正直今の私にはとてもじゃないけど無理だ  
と思いました。自分の甘さがよくわかりま  
した。私たちは学校に行き、座って授業を  
受けることができ、夜には家に帰ってい  
ることに比べるととても楽に感じてしま  
うほどでした。それくらい、仕事は大変だ  
なということを感じました。

今回、インターシップに行ったことは、  
自分のことを見つめなおす、いい機会にな  
りました。



防長建設工業(株)へ・堤麗威

インターシップを終えてみて、感じたこ  
とはまず、お金をかせぐことの難しさです。  
今回、4日間の間、一日も欠かさず工事現  
場に足を運ばせてもらったのは、すごく良  
い体験になりました。

工事現場では、  
ブルドーザー、  
ショベルカー、  
クレーン車、を  
はじめ様々な機  
械を使用してい  
て、つい先日小  
型フォークリフ  
ト講習で使用し  
たものもあり、  
工事現場に親近  
感が湧きました。

山口大学実習

棟A改修その他工事の現場では、工事現場  
の道具をあつかう人たちの表情や技術の高  
さに驚きました。それまでは、朗らかにふ  
るまっていた方も機械に乗るとその表情は  
一変し、真剣になっていました。また、安  
全の確認なども入念に行い繰り返し行って  
いました。

県鴻城高等学校防球ネット改修の現場へ  
連れて行ってもらった際は、機械を使って、  
30メートルもある防球ネットをつなぎとめ  
ている作業が、とても印象的でした。パッ  
クネットやブルペンを作るのに、深く大き  
な穴を開けて、測量機器を使用して、寸法  
をすごく細かく測り、図面どおりに、丈夫  
で強固な基礎をつくっており、基礎の大切  
さがわかりました。自分も囲いの中にコン  
クリートを入れる作業をすしだけ手伝わ  
せていただきましたが、パイプレータとい  
う振動を発生させる機械を使用して、コン  
クリートを固める作業でした。何回かに分  
けて、この作業を行うので大変な作業です。  
4日間、とても充実した日々を過ごすこ  
とができました。



2013年度インターシップ実施企業26社(参加生徒数 35名)

- 田布施農工高等学校 環境土木科
- 井森工業(株)
- (株)浜田組
- トオル電気(株)
- 末長建設工業(株)
- (株)大池組
- 兼本建設(株)
- 共同産業(株)
- (有)興洋建設
- 洋林建設(株)
- (株)測量事務所
- (有)泉土木コンサルタント
- (株)ソイル・ブレン
- 山口農業高等学校 環境科学科
- 石山建設(株)
- 山口建設(株)
- (株)技工回
- シマダ(株)
- (株)宗像建設
- 池田建設工業(株)
- 成長建設(株)
- 澤田建設(株)
- 防長建設工業(株)
- 明和技術コンサルタント(株)
- (株)アサヒコンサル
- (株)リクチコンサルタント
- (株)山口建設コンサルタント
- (株)三建調査設計



(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社) 山口県建設業協会

事業等の名称	イメージアップ広報誌の発行
1. 実施時期 1月(年1回)	2. 実施場所 山口県内
3. 対象者(参加見込又は参加者数)	現場見学会の参加者、会員企業、関係団体、イベント参加者等の1000人以上に配布
4. 共催・単独等の状況	単独
5. 事業等の内容	地元の建設企業が行うボランティアや災害復旧等の社会貢献活動を中心とした一般向けの建設業イメージアップ広報誌「Pillar(ピラー)」を作成し、現場見学会や地域イベント等で広く配布する。
6. 期待される効果	建設業界のイメージアップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	内容の選定に苦慮している
8. その他	参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

# 15 Pillar

ピラー

わたしたちがつくり守る — やまぐちのインフラストラクチャー



平成25年度 建設業イメージアップポスター 最優秀作 サビエル高等学校・大窪知花さんの作品

特集 / 「災害時における中国地方整備局所管施設の災害応急対応業務に関する協定」を締結

／ 災害復旧活動に尽力！ 初動10日間で秋・山口支部の会員企業49社延べ3237人参加

イベント / 楽しいイベントで建設業をもっと身近に！ 受賞報告 / 建設業社会貢献活動功労者表彰等

けんせつウーマン 現場見学会 インターンシップ

(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社)山口県建設業協会

事業等の名称	中学生ブリッジコンテストの実施
1. 実施時期 8月(年1回)	2. 実施場所 山口県JR徳山駅
3. 対象者(参加見込又は参加者数) 中学生、高校生等50名程度	4. 共催・単独等の状況 山口県立徳山商工高校
5. 事業等の内容	橋に興味がある中学生を一般公募し、申込者に対して、初日は構造理解や設計図作成のための講義を受けて頂き、バルサ材を使って橋の作成を行う。2日目はブリッジコンテストとして、自作した橋のプレゼンテーションを行い、強度、重量、デザイン性の総合得点で競い合い、入選者を決める。
6. 期待される効果	参加した中学生のみならず、サポート役の高校生も含め、魅力あるものづくりを体験して頂き、土木建築への関心を高め、土木系学科への進学率を高める。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	参加者が山口県東部地区に偏っており、募集定員も少ないので、将来は全県的なイベントに発展させていきたい。
8. その他	参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号5頁

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

地域交流

中学生ブリッジコンテスト/(一社)山口県建設業協会  
いきいきのびのび ながとふるさとまつり/長門支部

楽しいイベントで建設業をもっと身近に!

ものづくりの楽しさを体感!  
「中学生ブリッジコンテスト」  
開催!!

オリジナルの「橋」を製作し、デザイン・軽さ(経済性)・強さ、そしてプレゼンテーション力を競い合う「中学生ブリッジコンテスト」を、8月23・24日の2日間、徳山駅ビル2階・市民多目的広場にて開催しました。(山口県立徳山商工高等学校主催、(一社)山口県建設業協会・(一社)中国建設弘済会共催)



このコンテストは中学生に「ものづくり」の楽しさを体験してもらい、建設業、また土木・建築系専攻科のある実業高校への興味関心を持つ契機としていただくほか、サポートする高校生の企画力や創造性を育てることを目的に、昨年から実施しています。2回目となった今回は、公募に応募された中学生14名が参加され、徳山商工高等学校の生徒17名がサポートにつきました。

1日目は製作日、橋の構造を学び、軽量の木材であるバルサ材を使用して基本の模型をつくれた後、規程の時間内にオリジナルの橋を製作しました。

2日目はいよいよコンテストです。中学生一人ひとりが、設計コンセプトや工夫した点など作品のプレゼンテーションを行い、デザイン、質量、強度について審査が行われました。

参加者のリピーターもあり、作品は昨年以上にどれも創意工夫に溢れ、審査員をうならせる激戦となった今回の大会。最大5キロメートルでは、4キロまではピクともしななかった橋が、5キロで突然崩れ落ちたり、木材にヒビが入る音をたてながらも、最後まで荷重に耐え、製作者のガッツポーズが見られたりと、大変盛り上がりました。

見事優勝した岩国市立本郷中学校3年の川崎泰菜さんは「とても嬉しいです。丁寧に作業をしたのがよかったのかなと思います」と笑顔で話してくれました。また参加した中学生からは「高校生のおかげでとても楽しく橋をつくることができた」、「来年もまた参加したい」と感想が述べられ、サ



創意工夫が溢れるさまざまなオリジナル橋



をいう姿も見られました。

大会会長を務められた徳山商工高等学校・河村隆校長にお話を伺うと「中学生の自由な発想から作られる橋は、どれも独創的で驚かされました。また橋を造る際の真剣な眼差しに、今後ものづくりを担っていく若者達を頼もしく思いました」と述べられていました。

河村校長



実行委員長である徳山商工高等学校・川崎主税先生は「2回目の開催でしたが参加者も増えリピーターも出るなど、ものづくりの楽しさが徐々に広がっているのを感じています。サポートする

川崎先生



側の高校生達も、中学生へのアドバースだけでなく、コンテストの運営にも積極的に関わり、それぞれの成長がありました。この成果を次回に繋げていきたいです」と話しておられました。

インフラ整備の花形でもある「橋」。参加した生徒の皆さんがものづくりの楽しさを感じ、本物の橋をつくる未来が楽しみです。



(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社) 山口県建設業協会

事業等の名称	地域イベントでのPR活動の実施
1. 実施時期 10～11月(年3回)	2. 実施場所 山口県下関市、岩国市、長門市
3. 対象者(参加見込又は参加者数) 一般人1500名程度	4. 共催・単独等の状況 国土交通省、山口県土木建築部等地域により協力あり
5. 事業等の内容 支部主催の地域イベントにおいて、一般の方に対する建設業のイメージアップ活動として、建設機械体験搭乗及び写真撮影会、建設機械ラジコンを使った操作やクレーンゲーム、パネル展示等を行う。参加者には社会貢献や災害復旧活動等のチラシ及び広報誌を配布している。	6. 期待される効果 建設業界のイメージアップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 現在13支部中3支部だけとなっているが、今後拡大していきたい。	8. その他 参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号6頁

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。



10月27日(日)、長門市東深川で行われた「第29回 いきいきのびのびなごとふるさとまつり」に、長門支部の若手を中心とした有志の会員が参加し、建設業のPRに努めました。

今回が2度目の参加となる長門支部では、10社から2名ずつ合計20名が運営にあたり、昨年同様「防災・重機体験コーナー」を設置。前回人気だった「土嚙づくり体験」や、本物のパワーショベルを操縦する「重機体験コーナー」に加え、国土交通省の協力を頂き「除雪車の展示・乗車体験」や「凍結防止剤散布車」の展示を行いました。

巨大な作業車は、子供はもちろん大人にも大人気で、高さ3mの除雪車の運転席から楽しそうに手を振ったり、凍結防止剤散布車の細部まで興味深く眺める姿が見



「いきいきのびのびなごとふるさとまつり」で建設業をPR!

印象に残っていますね。実際に作業中の車を見かけたときに、自分が乗った作業車だと身近に感じてもらえたら嬉しいですね」と話されています。

藤原康史萩出張所長



ものが多いですが、本物で体験できるのは強いです。

また、国土交通省萩国道出張所の藤原康史所長さんは「建設業をPRする際に、展示など見るだけといったものが多くありますが、本物で体験できるのは強いです。」と話されています。

安藤繁之さん



人気がありますね。

今回の発起人である長門支部で若手を中心とした有志の会代表である安藤繁之さん(安藤建設株式会社)にお話を伺うと、「昨年の人気を受けて、今回はスタッフを増員しました。やはり働く車は人気がありますね。たくさんの子供達が嬉しそうに参加してくれるので、スタッフのみならず自然と笑顔になります。私達の仕事は普段馴染みのない方も多いと思いますので、こういったイベントは知って頂く良い機会です。今後とも色々な情報発信をしていければと思います」と意気込みを語られました。



岩国支部「岩国祭」



下関支部「長府企業フェスタ」

平成25年度の建設業PRイベント活動

平成25年度の建設業PRイベント活動一覧

支部名	参加イベント	活動内容	実施日
下関	第11回長府企業フェスタ	「重機で遊ぼう!」「道路豆知識クイズ」等	10月5日、6日
岩国	第57回岩国祭	「けんせつきかい体験コーナー」	10月20日
長門	第29回いきいきのびのびなごとふるさとまつり	「防災・重機体験コーナー」「除雪車の展示乗車体験」等	10月27日

(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社) 山口県建設業協会

事業等の名称	建設業イメージアップポスターの作成配布
1. 実施時期 11月(年1回)	2. 実施場所 山口県内
3. 対象者(参加見込又は参加者数) 高校生 120名程度	4. 共催・単独等の状況 単独
5. 事業等の内容 高校生を対象にした建設業イメージアップポスターを募集し、最優秀作品を大型ポスターにして、県内全ての高校や関係団体に配布する。 更に入選作品については安全大会で掲示し、協会広報誌やホームページにも活用する。	6. 期待される効果 建設業界のイメージアップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 生徒数減少により、応募が少なくなっている。	8. その他 参考資料：山口県建設業協会イメージアップ広報誌ピラー15号8頁

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。



# 建設業イメージアップポスター

(一社)山口県建設業協会では、毎年7月から8月の夏休みにかけて、建設産業界の発展・振興及び建設業のイメージアップを図るため、「魅力ある建設業、希望あふれる建設業、将来の夢」を託したイメージアップポスターを県内の高等学校の生徒から広く募集しております。

審査では、入賞として、最優秀1点、優秀3点、佳作6点の計10点を選定しています。入賞者には、表彰状と副賞(カタログギフト)を贈呈しております。

26年度も下記のとおり、実施いたしますので、ふるってご参加をお願いいたします。なお、参加賞として、全員に500円相当の品物を贈呈いたします。



山口県建設業労働災害防止大会で入賞作品を発表

## 建設業イメージアップポスター募集要領

**後援** 山口県、山口県教育委員会

**募集対象** 公・私立高等学校の生徒及び県立総合支援学校の高等部の生徒

**応募方法** 画用紙(4ツ切り **たて**描き)、学校でまとめて提出(学校用参加者名簿)1名1点のみ、**図案等の意図を添付(参加者用名札「図案の意図」)**

**内容** 魅力ある建設業、希望あふれる建設業、将来への夢等を託したポスターとします。例えば、人物を主体としたもの、機器と人物、建設機械、建物を描いたもの等建設業に関係する図案であれば何でも結構です。また、キャッチフレーズを是非入れて下さい。ただし、**建築という言葉の使用は不可です。(建築協会と混同するため)**

**入賞** 最優秀1点、優秀3点、佳作6点(**表彰状と副賞(カタログギフト)を贈呈。なお、応募者全員に参加賞があります**)

**募集締切** 毎年**9月10日まで(必着)**

**送付先** 〒753-0074 山口市中央4-5-16 商工会館4階 (一社)山口県建設業協会まで

**その他** 応募作の著作権は(一社)山口県建設業協会に帰属するものとします。なお、応募作品は、原則としてお返しいたしません。

### 平成25年度 応募状況

学校名	応募数
山口県立岩国工業高等学校	11
山口県立田布施農工高校	10
山口県立光ヶ丘高等学校	4
山口県立徳山商工高等学校	64
山口県立山口農業高等学校	4
山口県立萩商工高等学校	42
山口県立奈古高等学校	16
山口県立下関中央工業高等学校	1
サビエル高等学校	1
合計	153

### 平成25年度 受賞者

賞	学年・生徒氏名	学校名
最優秀	1年・大窪 知花	サビエル高等学校
優秀	2年・寺山 真生	山口県立萩商工高等学校
優秀	2年・古田 ゆう	山口県立奈古高等学校
優秀	1年・波多野 亮	山口県立萩商工高等学校
佳作	1年・松尾 一希	山口県立萩商工高等学校
佳作	2年・有田海奈都	山口県立徳山商工高等学校
佳作	1年・小林 愛実	山口県立岩国工業高等学校
佳作	1年・村田 寛明	山口県立山口農業高等学校
佳作	1年・新井 貴太	山口県立田布施農工高等学校
佳作	2年・長尾美来伊	山口県立奈古高等学校

(別添様式)

## 平成26年度 建設産業魅力発信(担い手確保・育成)取組概要

機関・団体等の名称

(一社) 山口県建設業協会

事業等の名称	高校生に対する資格取得支援(建設業経理事務士)
1. 実施時期 8～1月(年2回)	2. 実施場所 山口県下関市、周南市
3. 対象者(参加見込又は参加者数) 高校生30名程度	4. 共催・単独等の状況 (一財)建設業振興基金
5. 事業等の内容 高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。	6. 期待される効果 入職率アップ
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 現在県下1校のみの開催だが、今後拡大していきたい。	8. その他 参考資料なし

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいで結構です。

( 別添様式 )

## 平成26年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

やまぐち建設21の会

事業等の名称	山口大学学生との意見交換会（仮称）
1. 実施時期 未定	
2. 実施場所 山口大学	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） 学生	
4. 共催・単独等の状況 単独	
5. 事業等の内容 本会員（主に若手経営者）と学生との意見交換	
6. 期待される効果 地元建設業を理解する事での県内企業の若手技術者の確保	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 新規取り組みの為、開催時期の決定が課題	
8. その他 ①H26. 4 発足の山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会および山口県建設業協会からの依頼事項への協力 H26. 6 「山口県県政放送」でのインタビュー依頼協力 H26. 7 「建設業若手サポートセミナー」での講師依頼協力 H26. 9 同協議会第2回作業部会への参加 H26. 10 「建設業魅力発信交流会」での講師依頼協力 その他意見交換の実施 ②中国地方建設青年交流会での他県との情報共有の実施	

- ※ ・資料があれば添付してください。  
・様式の修正、既存の資料を活用していただいて結構です。